

H6studio

Handy Recorder



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください

©2025 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

白黒端末では正しく表示できません。

オペレーションマニュアルについて

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。
本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

- Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
- Mac、macOS、iPadおよびLightningは、Apple Inc. の商標です。
- iPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- UltraSync BLUEはATOMOS社／Timecode Systems社の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ズームはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- microSDXCロゴは、SD-3C LLCの商標です。



- USB Type-Cは、USB Implementers Forumの商標です。
- 他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ズームは一切の責任を負いません。

目次

オペレーションマニュアルについて.....	2
H6studioの概要.....	6
XYH-5sの紹介.....	6
収録例.....	7
録音から編集まで高音質を実現.....	10
各部の役割.....	14
表示される画面について.....	19
録音の流れ.....	31
準備する.....	32
microSDカードをセットする.....	32
電源をセットする.....	33
入力機器を接続する.....	35
電源をON/OFF する.....	40
ガイド音を設定する（初回起動時）.....	42
表示言語を設定する（初回起動時）.....	43
日付形式を設定する（初回起動時）.....	43
日時を設定する（初回起動時）.....	45
電池の種類を選択する（初回起動時）.....	47
誤操作を防止する（ホールド機能）.....	48
入力設定をする.....	49
録音するトラックを有効にする.....	49
入力ゲインと全体の音量を調整する.....	50
マイクカプセルの入力をモノラルに変更する.....	51
プラグインパワーを使用する.....	53
入力レベルを設定する（マイク/ライン）.....	54
ファンタム電源を設定する.....	55
ノイズを軽減する（低域カット）.....	57
Advanced Limiterを設定する.....	58
ステレオリンクを設定する.....	60
ゲインノブリンクを設定する.....	62
出力設定をする.....	64
ライン出力レベルを調節する.....	64
ライン出力にリミッターをかける.....	66
録音する.....	67
入力音をモニターする.....	67
録音の設定をする.....	69
録音する.....	80
録音を一時停止する.....	82
録音中にマークを付加する.....	82
録音中のファイルをゴミ箱（TRASHフォルダー）に移動する.....	83

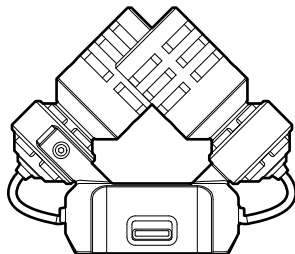
ホーム画面の表示を切り替える.....	84
再生する.....	85
再生する.....	85
各トラックの音量バランスを調節する.....	87
連続再生を設定する（再生モード）.....	88
再生時の音量を自動調整する.....	89
再生速度を変更する.....	90
指定した範囲を繰り返し再生する（A-Bリピート）.....	91
ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）.....	93
再生中のファイルをゴミ箱（TRASHフォルダー）に移動する.....	96
再生画面の表示を切り替える.....	97
ファイルを管理する.....	98
H6studioのフォルダー・ファイル構成.....	98
ファイルを確認する.....	101
オーディオインターフェースとして使用する.....	102
Windowsの場合.....	102
パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する.....	102
入力設定やモニター調整をする.....	106
出力設定をする.....	107
オーディオインターフェースとして使用しながらH6studio本体にも録音する場合は.....	110
パソコンまたはスマートフォン／タブレットとの接続を解除する.....	111
パソコンなどにファイルを転送する.....	112
パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する.....	112
パソコンまたはスマートフォン／タブレットとの接続を解除する.....	114
microSDカードを管理する.....	115
microSDカードを初期化する.....	115
microSDカードをテストする.....	116
ゴミ箱（TRASHフォルダー）のファイルを削除する.....	119
タイムコードを使う.....	120
タイムコードについて.....	120
UltraSync BLUEと接続する.....	122
各種設定を行う.....	125
表示言語を設定する.....	125
日時を設定する.....	126
日付形式を設定する.....	128
ディスプレイの明るさを設定する.....	130
電池の種類を選択する.....	131
ディスプレイの省電力設定をする.....	133
電源を自動でOFFする時間を設定する.....	134
ガイド音（アクセシビリティ）.....	136
ガイド音を設定する（アクセシビリティ）.....	136
ガイド音の音量を設定する.....	138
ガイド音の情報を確認する.....	140
ガイド音をショートカット操作でON/OFFする.....	141

ガイド音をインストールする.....	141
工場出荷時の状態に戻す.....	142
ファームウェアを管理する.....	143
ファームウェアのバージョンを確認する.....	143
ファームウェアをアップデートする.....	144
スマートフォン／タブレットからH6studioを操作する.....	145
タイムコード情報を確認する.....	147
スマートフォン／タブレットと接続を解除する.....	147
H6studioの最新情報を確認する.....	148
オプションマイクカプセルを使用する.....	149
SSH-6eを使用する.....	149
SSH-6eのモードを設定する.....	150
SSH-6eのノイズを軽減する（低域カット）.....	152
SSH-6eのAdvanced Limiterを設定する.....	153
EXH-6eを使用する.....	155
EXH-6eの入力を有効にする.....	156
EXH-6eのステレオリンクを設定する.....	157
EXH-6eのノイズを軽減する（低域カット）.....	159
EXH-6eのAdvanced Limiterを設定する.....	160
EXH-6eのA&B ゲインノブリンクを設定する.....	162
付録.....	164
故障かな？と思う前に.....	164
H6studioメタデータ一覧.....	167
ミキサーブロックダイアグラム.....	171
仕様.....	173

H6studioの概要

XYH-5sの紹介

H6studioには、XYマイクカプセル（XYH-5s）が付属しています。



特徴

XYH-5sは大口径ダイヤフラムを採用したXYステレオマイクカプセルです。

左右のダイヤフラムを内側に向かい合わせることで、ワイドな收音範囲をカバーしながらセンター定位の音源もしっかりと捉えることが可能です。

また、收音ポイントがほぼ同一になるため、L/Rのチャンネル間に位相差が生じることもありません。

自然な奥行きと広がりを持った立体的なサウンドで、特定の音源を狙った近～中距離の録音に最適です。

例：ソロ演奏、室内楽、ライブリハーサル、フィールドレコーディングなど

収録例

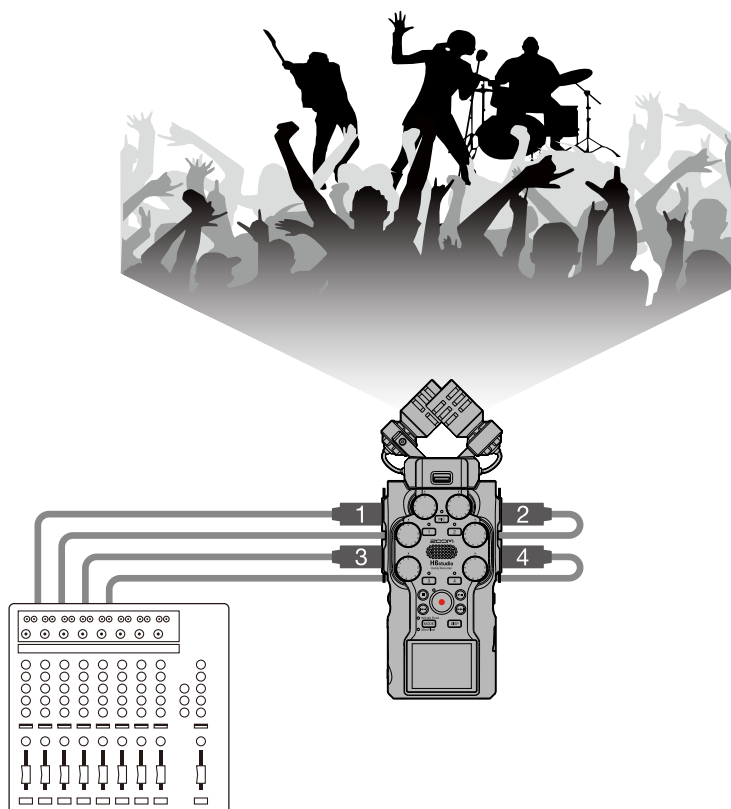
例1：弾き語り演奏の録音の場合

H6studioのマイクカプセルを使用して楽器の演奏音を録音し、外部マイクを使用してボーカルの音声を録音します。



例2：コンサート録音の場合

H6studioのマイクカプセルを使用して演奏音や歓声を録音し、ミキサーでミキシングされたステレオ音声や、各チャンネル音声を個別に録音します。



例3：ポッドキャスティングでライブストリーミングする場合

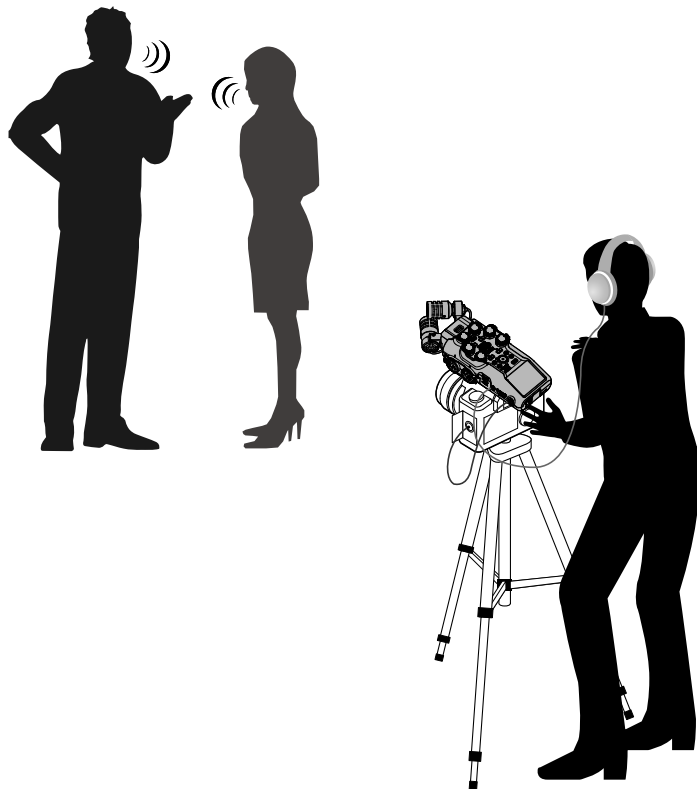
H6studioと外部マイクを使用して、リアルタイムで音声を配信します。（→[オーディオインターフェースとして使用する](#)）

リアルタイムで音声を配信しながら、H6studioでの録音を同時に行うこともできます。（→[オーディオインターフェースとして使用しながらH6studio本体にも録音する場合は](#)）



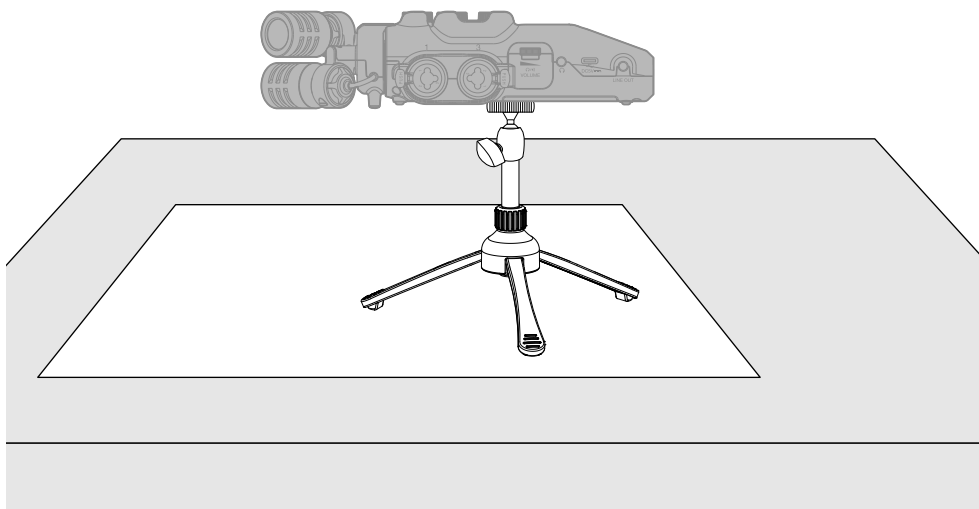
例4：動画撮影する場合

H6studioとカメラを使用して、音声と映像を同時に収録します。



HINT

H6studioのマイクカプセルで録音する場合、机の上にH6studioを直接置くと反射音が干渉してサウンドが不鮮明になる原因になります。三脚などを使用して、机から離して設置することをお勧めします。また机の反射音を抑えるには、ハンカチなどを敷くのも効果的です。



録音から編集まで高音質を実現

H6studioはデュアルADコンバータ回路の搭載と32-bit float WAVファイルへの対応により、録音からDAWなどのソフトウェアでの編集に至るまで最高の音の品質を保つことができます。

録音

デュアルADコンバータ回路により、ゲイン調節なしで大きな音から小さな音まで録音が可能です。



DAWなどのソフトウェアでの編集

32-bit float WAVファイル形式で録音されるので、録音時の音質が編集時も保たれます。



HINT

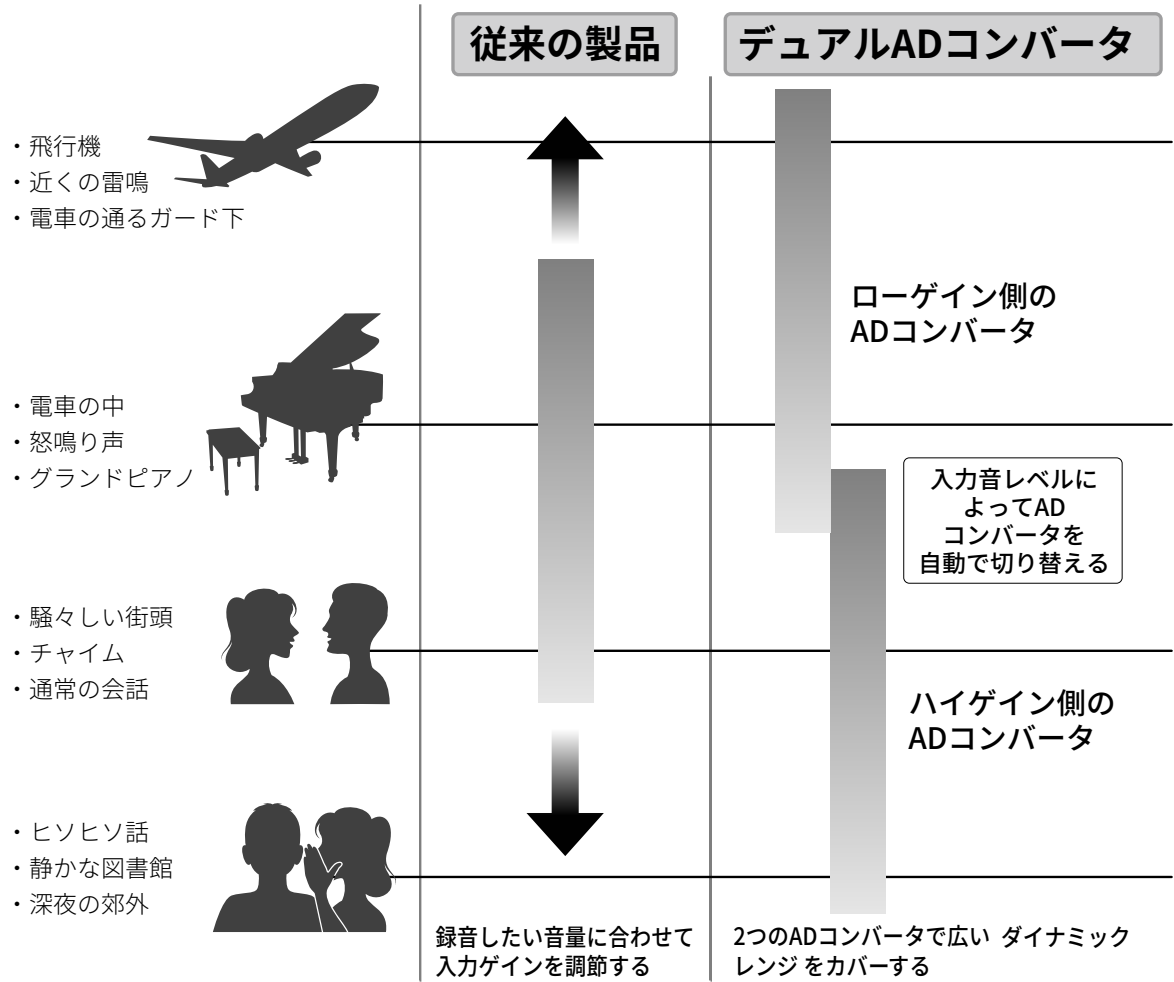
従来の16/24-bit WAVファイル形式での録音も可能です。（→[RECモードを設定する](#)）

デュアルADコンバータ回路について

H6studioは1つのインプット回路に対し、入力ゲインの異なる2つのADコンバータを搭載しています。この仕組みにより、従来必要不可欠であった録音時のゲイン調節を行わずに高品質な録音を行うことが可能です。

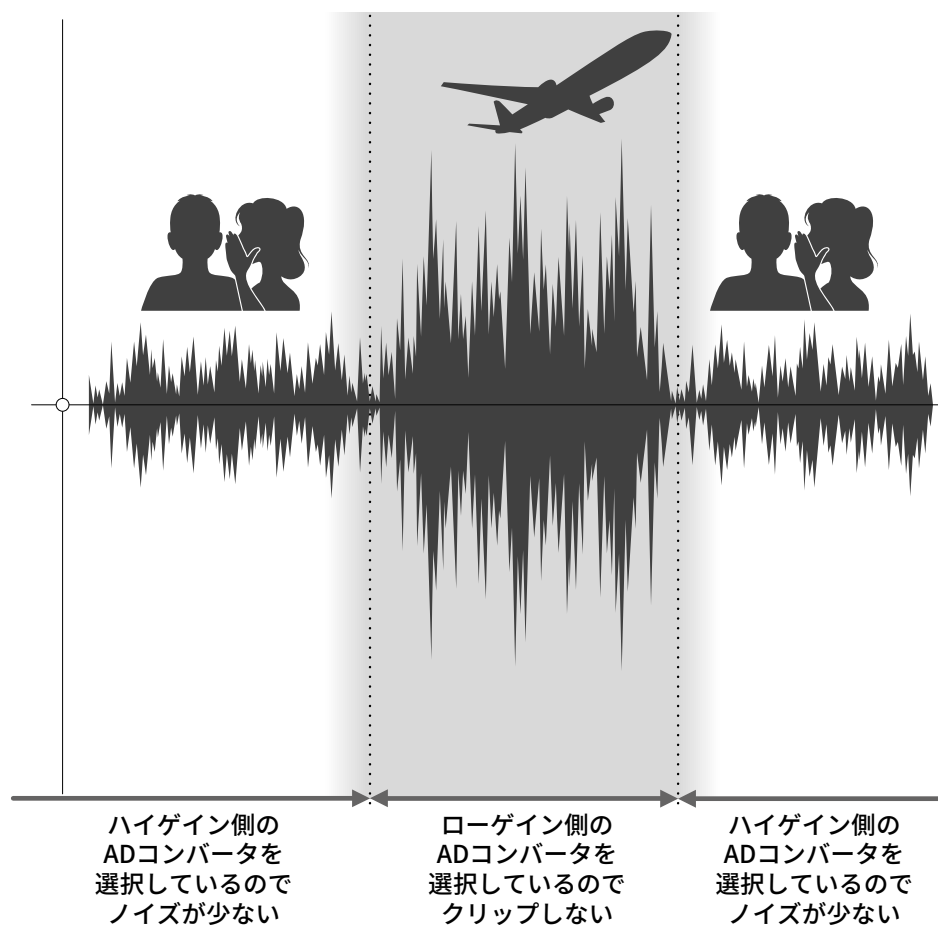
圧倒的なダイナミックレンジを実現

2つのADコンバータを組み合わせることで、1つのADコンバータでは実現できなかった幅広いダイナミックレンジを実現しています。



2つのADコンバータの切り替え

H6studioは2つのADコンバータのデータを常に監視し、最適な録音結果が得られるように自動でADコンバータの選択を行います。



32-bit float WAVファイルについて

32-bit float WAVファイルは、従来の16/24-bit WAVファイルに比べて以下のような特長があります。これらの特長により、録音後のDAWなどのソフトウェアでの編集でも録音時の音の品質を保つことができます。

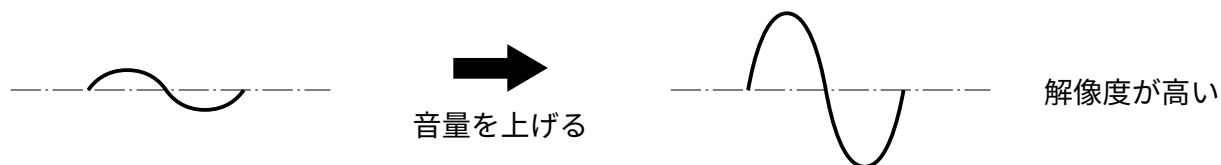
解像度の違い

32-bit float WAVファイルは、小さな音でも高い解像度を保つことができるという特長を持っています。そのため録音後に小さな音を大きくする編集を行っても音の品質が失われません。

■ 16/24-bit WAV



■ 32-bit float WAV



クリップの違い

32-bit float WAVファイルは、録音後の編集によりH6studioの出力やDAWアプリケーションでクリップしたように聴こえる波形もWAVデータはクリップしていないので、音量を下げることでクリップの無い波形に復元することができます。

■ 16/24-bit WAV



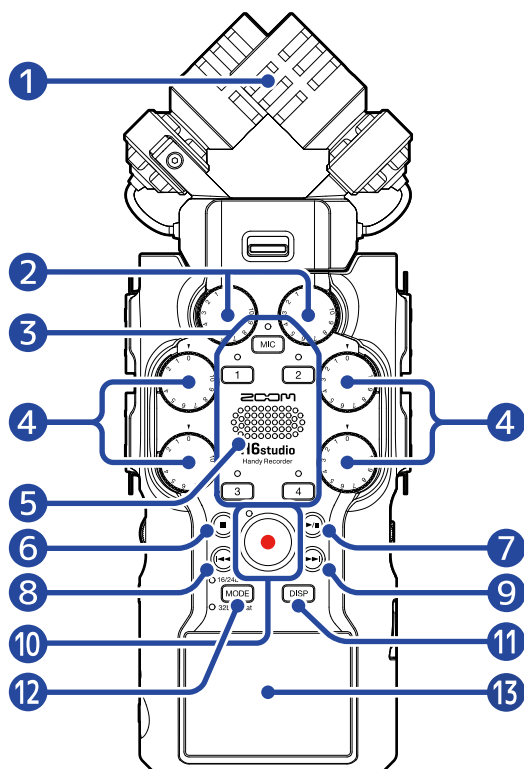
■ 32-bit float WAV



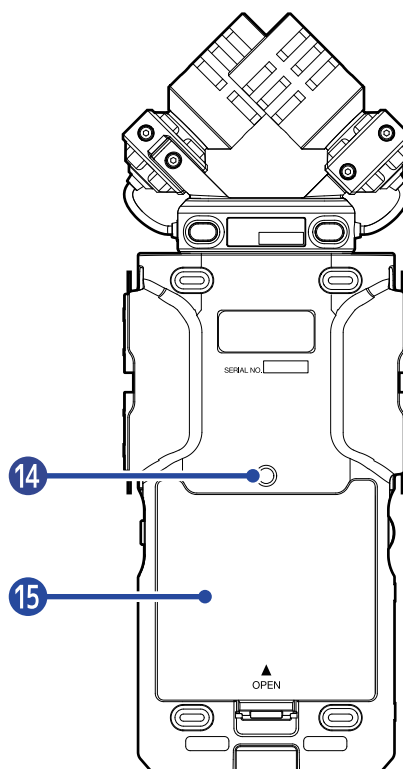
各部の役割

本体正面／背面

■ 本体正面



■ 本体背面



① マイクカプセル (XYH-5s)

指向性マイクを交差させて配置したステレオマイクです。自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドで録音できます。(→ [XYH-5sの紹介](#))

② MIC GAINノブ

マイクの入力音量を調節します。

③ トラックキー／ステータスインジケータ

トラックキーを押してインジケータを赤に点灯させると、そのトラックが録音対象となります。

④ INPUT 1 (2/3/4) GAINノブ

INPUT1 (2/3/4) の入力音量を調節します。

⑤ スピーカー

ファイルを再生すると、ここから音声が出力されます。

ヘッドフォン端子にヘッドフォンが接続されていると、スピーカーから音声は出力されません。

⑥ STOPキー

録音／再生を停止します。

[再生画面](#)や各種設定画面を表示しているときに押すと、[ホーム画面](#)に戻ります（一部画面をのぞく）。

⑦ PLAY/PAUSEキー

ファイルの再生または一時停止を行います。

8 REWキー

再生／一時停止中に、前のファイル／ファイルの先頭／前のマークに移動します。

長押しすると、早戻しします。

各種設定画面を表示しているときに押すと、1つ前の画面に戻ります（一部画面をのぞく）。

9 FFキー

再生／一時停止中に、次のファイル／次のマークに移動します。

長押しすると、早送りします。

10 RECキー／インジケータ

録音を開始します。録音中はインジケータが点灯します。

録音中に押すと、録音を停止します。

11 DISPLAYキー

[ホーム画面](#)または[再生画面](#)の表示を「レベルメーターのみ」、「波形のみ」または「レベルメーターと波形」の中から切り替えます。（→[ホーム画面の表示を切り替える](#)、[再生画面の表示を切り替える](#)）

12 REC モードキー／インジケータ

RECモードを変更するときに押します。

「16/24bit Fixed」モード時はキーの上側のインジケータが、「32bit Float」モード時はキーの下側のインジケータが点灯します。（→[RECモードを設定する](#)）

13 ディスプレイ

各種情報を表示します。

14 三脚取り付けネジ穴

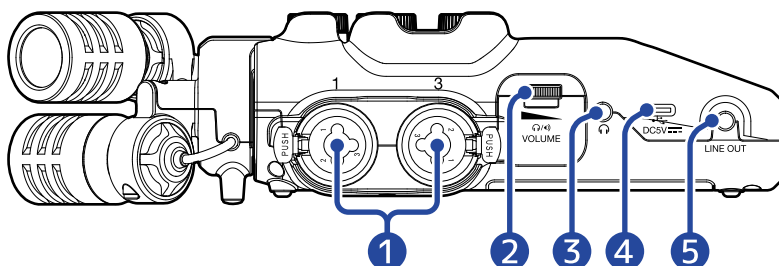
三脚などにH6studioを取り付けるために使用します。

15 電池カバー

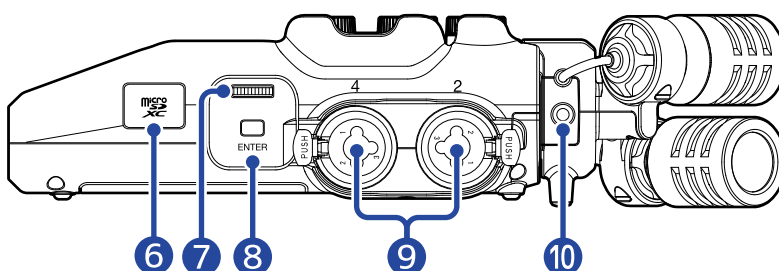
単三電池の取り付け／取り外しを行うときに開けます。（→[電池を入れる](#)）

本体左側面／右側面

■ 本体左側面

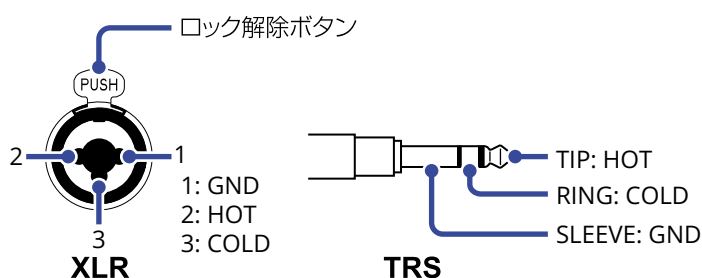


■ 本体右側面



① INPUT 1、INPUT 3端子

マイクや楽器を接続します。XLR/TRSプラグに対応しています。
XLRプラグを外すときは、端子のロック解除ボタンを押しながら抜いてください。



② VOLUMEダイヤル

内蔵スピーカーやヘッドフォンから出力される音量を調節します。

③ ヘッドフォン端子

ヘッドフォンに音声を出力します。

④ USB端子 (Type-C)

パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続してH6studioをオーディオインターフェースとして使用したり、ファイル転送機能として使用できます。

USBバスパワー動作に対応しています。

データ転送に対応したUSBケーブルを使用してください。

⑤ LINE OUT端子

外部機器に音声を出力します。

⑥ microSDカードスロット

microSDカードを挿入します。

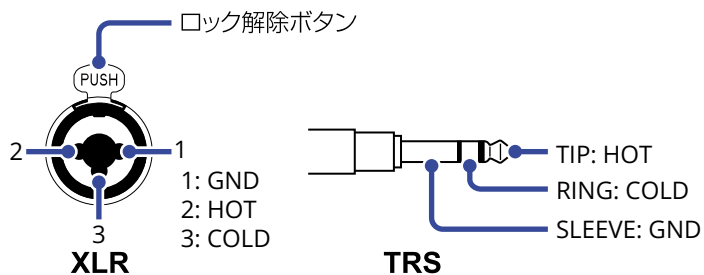
7 セレクトダイヤル
項目を選択します。

8 ENTERキー
項目を決定します。

9 INPUT 2、INPUT 4端子

マイクや楽器を接続します。XLR/TRSプラグに対応しています。

XLRプラグを外すときは、端子のロック解除ボタンを押しながら抜いてください。

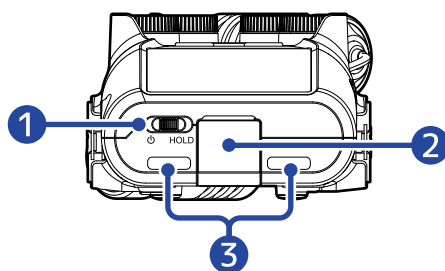


10 MIC/LINE IN端子（プラグインパワー対応）

外部マイクやライン機器を接続すると、XYマイクの代わりに録音することができます。

プラグインパワー方式のマイクにも対応しています。

本体底面



① 電源／HOLDスイッチ

電源をON/OFFしたり、キー操作を無効にします。

② REMOTE端子

専用アダプター（ZOOM BTA-1など）を接続して以下のことができます。

- 「ZOOM Handy Control & Sync」を使って、iPhone/iPadからワイヤレスでH6studioを操作する
- ATOMOS社／Timecode Systems社のUltraSync BLUEと接続し、H6studioの録音ファイルにタイムコードを記録する

③ ストラップ穴

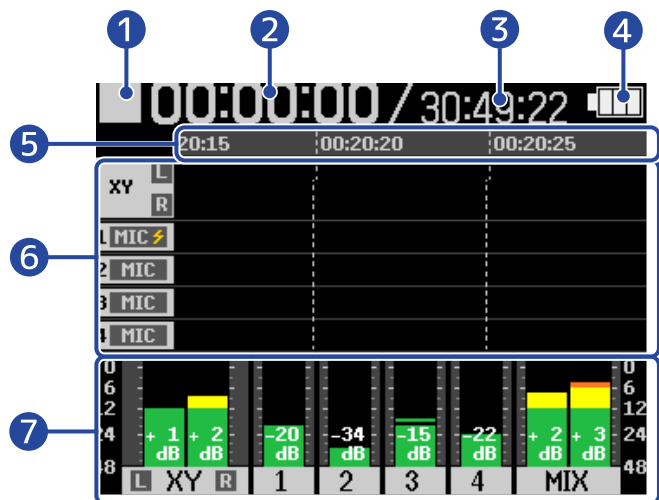
ストラップを取り付けます。

表示される画面について

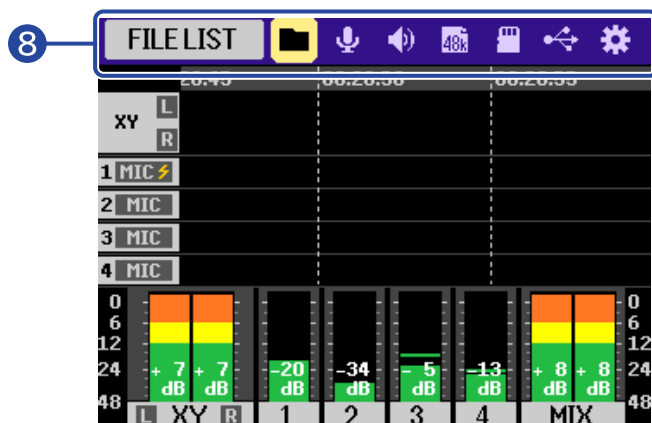
ここではH6studioのディスプレイに表示される画面について説明します。

ホーム画面

H6studioの電源を入れたときにディスプレイに表示される画面です。録音状況や入力される信号の波形など、H6studioの状態を表示します。



メニューバーが表示されている場合



1 ステータスアイコン

録音状況をアイコンで表示します。

- : 停止中
- : 録音中
- ■ : 録音一時停止中

2 録音経過時間

現在の録音経過時間を表示します。

3 録音可能時間

現在の録音可能時間を表示します。

4 電池残量表示

電池動作時に表示します。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか（→[電池を入れる](#)）、ACアダプター（→[ACアダプターを接続する](#)）またはモバイルバッテリー（→[その他の電源について](#)）を接続してください。

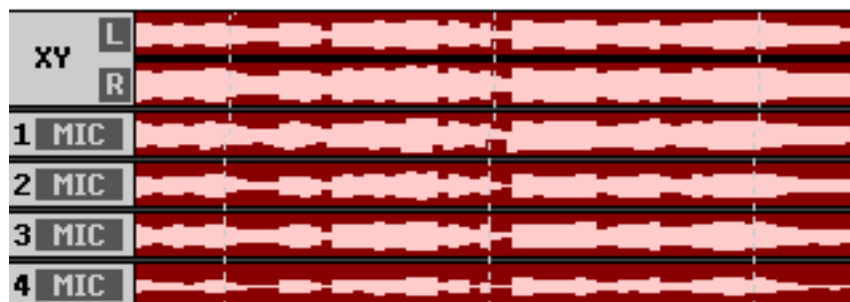


5 時刻表示

現在の時刻を表示します。

⑥ 波形表示 (MIC (マイクカプセル)、INPUT 1/2/3/4)

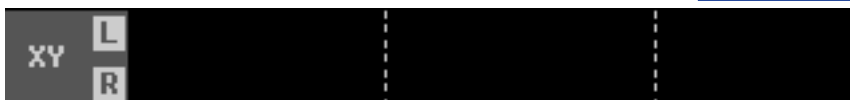
各トラックに録音される信号の波形を表示します。



入力の種類は各波形表示の左端に表示されます。

- **XY** **L** **R** : マイクカプセルのL、R
- **1** **MIC** ⚡ : INPUT1 (入力レベル設定がマイクでファンタム設定がONのとき)
- **2** **LINE** : INPUT2 (入力レベル設定がラインでファンタム設定がOFFのとき)
- **3** **MIC**
4 **MIC** : INPUT3/4 (入力レベル設定がマイクでトラックがステレオのとき)

トラックがOFFの場合は下記の表示になります。 (→[録音するトラックを有効にする](#))



トラックがステレオの時は下記の表示になります。 (→[ステレオリンクを設定する](#))



⑦ レベルメーター表示 (MIC (マイクカプセル)、INPUT 1/2/3/4、ステレオミックス)

各トラックに入力される信号の音量を表示します。

RECモードが「16/24bit Fixed」のときに入力される信号がクリップすると、レベルメーターの上部にクリップインジケータが表示されます。 (→[RECモードを設定する](#))

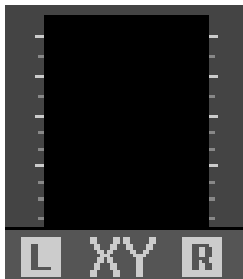
レベルメーターの下部にはピーク値を表示します。

ステレオミックストラックは設定により表示されない場合もあります。 (→[ミックスファイルの録音設定をする](#))

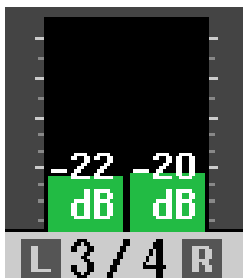
入力の種類は各レベルメーター表示の下側に表示されます。

- **L** **XY** **R** : マイクカプセルのL、R
- **1** : INPUT1
- **2** : INPUT2
- **L** **3/4** **R** : INPUT3/4 (トラックがステレオのとき)

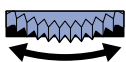
トラックがOFFの場合は下記の表示になります。 (→[録音するトラックを有効にする](#))



トラックがステレオの時は下記の表示になります。（→[ステレオリンクを設定する](#)）

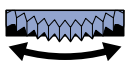


8 メニューバー



（セレクトダイヤル）を操作することで画面の上部にメニューバーが表示されます。

簡単な操作で入出力設定や録音設定、本体設定などを行う各種設定画面へと移動できるよう、各種設定項目をアイコンで表示しています。



（セレクトダイヤル）でアイコンを選択し、（ENTERキー）を押すと下記操作を行うことができます。

■ 録音待機中



メニューバーの左端には現在選択中の項目名が表示されます。

-  「FILE LIST」：microSDカード内のファイルを確認することができるファイルリスト画面を表示します。（→[ファイルリスト画面](#)）
-  「INPUT」：入力に関する設定画面を表示します。（→[入力設定をする](#)）
-  「OUTPUT」：出力に関する設定画面を表示します。（→[出力設定をする](#)）
-  「REC」：録音に関する設定画面を表示します。（→[録音の設定をする](#)）
-  「SD CARD」：microSDカードに関する設定画面を表示します。（→[microSDカードを管理する](#)）
-  「USB」：H6studioをパソコンまたはスマートフォン／タブレットに接続して、microSDカード内のファイルの確認や移動をしたり、オーディオインターフェースの設定画面を表示します。（→[パソコンなどにファイルを転送する](#)、[オーディオインターフェースとして使用する](#)）
-  「SYSTEM」：日時設定やディスプレイ設定など各種本体設定画面を表示します。（→[各種設定を行う](#)）

■ 録音中



メニューバーの左端には現在選択中の項目名が表示されます。

-  「MARK」：録音中のファイルにマークを付加します。（→[録音中にマークを付加する](#)）
-  「OUTPUT」：出力に関する設定画面を表示します。（→[出力設定をする](#)）
-  「TRASH」：録音中のファイルをゴミ箱に移動します。（→[録音中のファイルをゴミ箱（TRASH フォルダー）に移動する](#)）

HINT

- [再生画面](#)や各種設定画面を表示しているときは、（STOPキー）、（DISPキー）、（MODEキー）を押すとホーム画面に移動できます。各種設定画面からすばやくホーム画面を表示したい場合に便利な機能です（一部、ホーム画面に移動できない画面もあります）。
 - 録音待機中に（STOPキー）を長押しするか、（GAINノブ）を操作するとクリップインジケータを消灯します。
-

再生画面

ホーム画面表示中に (▶/⏸) (PLAY/PAUSEキー) で再生を開始すると、ディスプレイに表示される画面です。

再生時間や録音ファイルの波形など、H6studioの再生状態を表示します。



① ステータスアイコン

再生状況をアイコンで表示します。

- ▶ : 再生中
- ⏸ : 一時停止中
- ◀ : 早戻し中
- ▶▶ : 早送り中

② 再生時間

再生開始から経過した時間を表示します。

③ ファイルの長さ

現在再生中のファイルの長さを表示します。

④ 電池残量表示

電池動作時に表示します。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか (→[電池を入れる](#))、ACアダプター (→[ACアダプターを接続する](#)) またはモバイルバッテリー (→[その他の電源について](#)) を接続してください。



⑤ 波形表示 (MIC (マイクカプセル)、INPUT 1/2/3/4)

再生している録音ファイルの波形を表示します。

また、マークの位置を確認することもできます。 (→[録音中にマークを付加する](#))

入力の種類は各波形表示の左端に表示されます。

- XY L R : マイクカプセルのL、R
- 1 : INPUT 1

- **2** : INPUT 2
- **3** : INPUT 3
- **4** : INPUT 4

⑥ 再生位置バー

現在の再生位置が表示されます。

⑦ マークバー

再生するファイルに付加されたマークが表示されます。

⑧ レベルメーター表示 (MIC (マイクカプセル)、INPUT 1/2/3/4、ステレオミックス)

各トラックの音量を表示します。

入力の種類は各レベルメーター表示の下側に表示されます。

- **L XY R** : マイクカプセルのL、R
- **1** : INPUT 1
- **2** : INPUT 2
- **3** : INPUT 3
- **4** : INPUT 4

トラックがOFFの場合は、波形がグレーで表示されます。

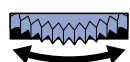


⑨ フェーダー

各トラックの音量を調節します。(→[各トラックの音量バランスを調節する](#))

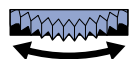
現在のフェーダー値は画面の左上に表示されます。

⑩ メニューバー



(セレクトダイヤル) を操作することで画面の上部にメニューバーが表示されます。

簡単な操作で出力設定やリピート設定など行う各種設定画面へと移動できるよう、各種設定項目をアイコンで表示しています。



(セレクトダイヤル) でアイコンを選択し、 (ENTERキー) を押すと下記操作を行うことができます。

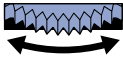


メニューバーの左端には現在選択中の項目名が表示されます。

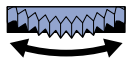
-  「FILE LIST」: microSDカード内のファイルを確認することができるファイルリスト画面を表示します。(→[ファイルリスト画面](#))

-  「AB REPEAT」：リピート再生の開始位置と終点位置を設定します。（→[指定した範囲を繰り返し再生する（A-Bリピート）](#)）
 -  「OUTPUT」：出力に関する設定画面を表示します。（→[出力設定をする](#)）
 -  「OPTION」：再生オプション画面を表示します。（→[連続再生を設定する（再生モード）](#)、[再生時の音量を自動調整する](#)、[再生速度を変更する](#)）
 -  「EXPORT」：再生しているファイルの形式などを変更してファイルを書き出します。（→[ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）](#)）
 -  「TRASH」：再生中のファイルをゴミ箱に移動します。（→[再生中のファイルをゴミ箱（TRASH フォルダー）に移動する](#)）
-

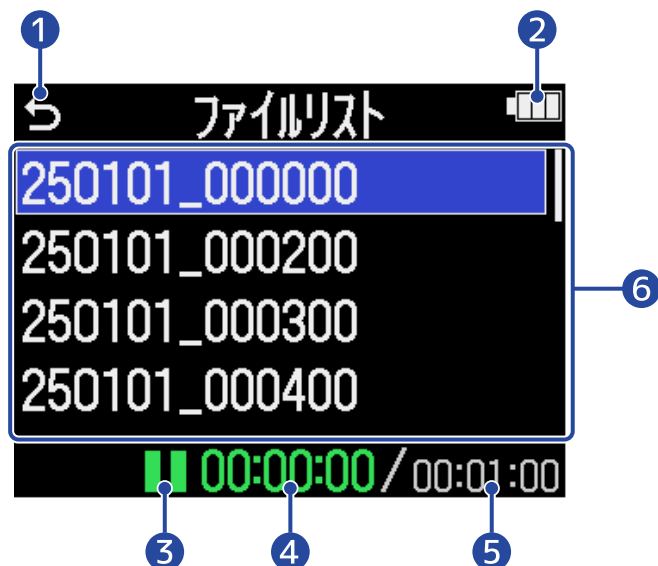
HINT

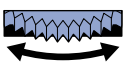
-  （STOPキー）を押すと、再生を停止して[ホーム画面](#)に移動します。
 - [ファイルリスト画面](#)表示中は、 （セレクトダイヤル）でメニューバーの  「PLAY VIEW」を選択して  （ENTERキー）押すと、[再生画面](#)を表示できます。
-

ファイルリスト画面

ホーム画面、再生画面表示中に  (セレクトダイヤル) で  「FILE LIST」を選択して  (ENTERキー) を押すと表示されます。

microSDカード内のファイルがディスプレイにリスト表示され、microSDカードの内容確認やファイルの再生、ゴミ箱への移動などを行います。



①   (セレクトダイヤル) で選択して  (ENTERキー) を押すと、[ホーム画面](#) または [再生画面](#) に戻ります。

② 電池残量表示

電池動作時に表示します。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか (→[電池を入れる](#))、ACアダプター (→[ACアダプターを接続する](#)) またはモバイルバッテリー (→[その他の電源について](#)) を接続してください。



③ ステータスアイコン

再生状況をアイコンで表示します。

-  : 再生中
-  : 一時停止中
-  : 早戻し中
-  : 早送り中

④ 再生時間

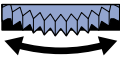
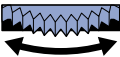
再生開始から経過した時間を表示します。

5 ファイルの長さ

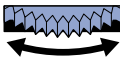
現在選択中のファイルの長さを表示します。

6 ファイルリスト

microSDカード内のファイルをリスト表示します。

-  (セレクトダイヤル) でファイルを選択できます。
- ファイルが多くディスプレイ内に収まりきらないときは、右端にスクロールバーが表示されます。
-  (セレクトダイヤル) でファイルを選択して  (ENTERキー) を押すと、画面上部にメニューバーが表示されます。

メニューバー

 (セレクトダイヤル) で設定項目を選択し、 (ENTERキー) を押すと下記操作を行うことができます。



メニューバーの左端には現在選択中の項目名が表示されます。

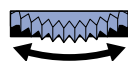
-  「BACK」：メニューバーが消え、再びファイルを選択できます。
-  「PLAY VIEW」：選択中のファイルの再生画面を表示します。（→[再生画面](#)）
-  「TRASH」：選択中のファイルをゴミ箱に移動します。（→[再生中のファイルをゴミ箱（TRASH フォルダー）に移動する](#)）

HINT

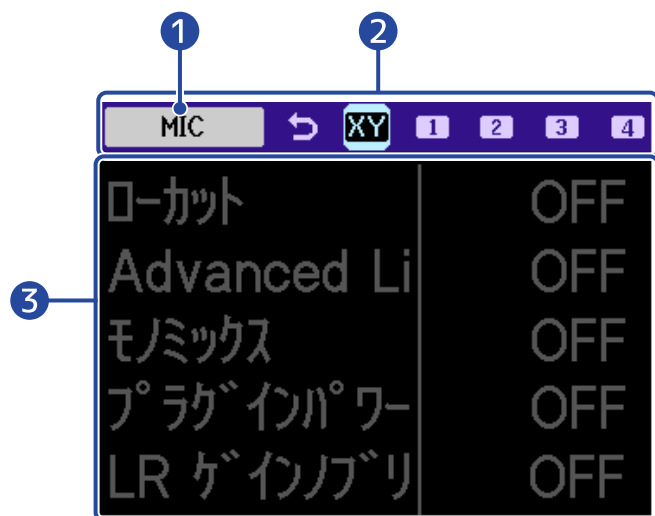
 (STOPキー) を押すと、[ホーム画面](#)に戻ります。

入力設定画面

入力に関する設定を行う画面です。



(セレクトダイヤル) で設定項目や設定値を選択して、 (ENTERキー) を押して決定します。



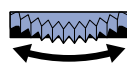
設定したい入力を選択後



① 設定を行う入力名

② メニューバー

設定する入力をアイコンで表示しています。



(セレクトダイヤル) で入力を選択して  (ENTERキー) を押すと、選択した入力の設定を行うことができます。



メニューバーの左端には現在選択中の項目名が表示されます。

-  「BACK」 : [ホーム画面](#)に戻ります。
-  「MIC」 : マイクカプセルを設定します。
-  「INPUT 1」、 「INPUT 2」、 「INPUT 3」、 「INPUT 4」 : INPUT 1/2/3/4を設定します。

③ 設定項目

④ 電池残量表示

電池動作時に表示します。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか (→[電池を入れる](#))、ACアダプター (→[ACアダプターを接続する](#)) またはモバイルバッテリー (→[その他の電源について](#)) を接続してください。

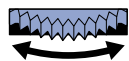


HINT

⏏ (STOPキー) を押すと、[ホーム画面](#)に戻ります。

その他設定画面

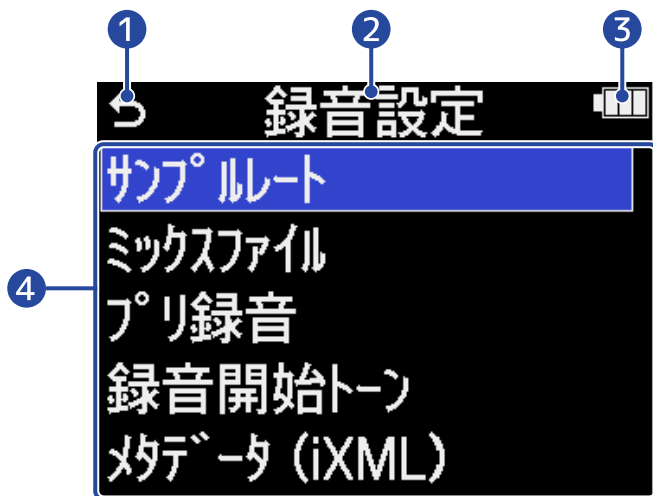
出力、録音、SDカード、USB、本体に関する設定を行う画面です。



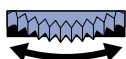
(セレクトダイヤル) で設定項目や設定値を選択して、



(ENTERキー) を押して決定します。



1



(セレクトダイヤル) で選択して



(ENTERキー) を押すと、[ホーム画面](#)に戻ります。

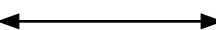
2 設定画面のタイトル

3 電池残量表示

電池動作時に表示します。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか (→[電池を入れる](#))、ACアダプター (→[ACアダプターを接続する](#)) またはモバイルバッテリー (→[その他の電源について](#)) を接続してください。



満



空

4 設定項目

録音の流れ

以下のような流れで録音を行います。

録音前の準備

- microSDカードをセットする (→[microSDカードをセットする](#))
- 電源をセットする (→[電池を入れる](#)／→[ACアダプターを接続する](#))
- INPUTにマイクなどを接続する (→[入力機器を接続する](#))
- 電源をONにする (→[電源を入れる](#))
- 入力に関する設定をする (→[入力設定をする](#))
- 録音に関する設定をする (→[録音の設定をする](#))

録音する

-  (RECキー) で録音開始、 (RECキー) または  (STOPキー) で停止する (→[録音する](#))

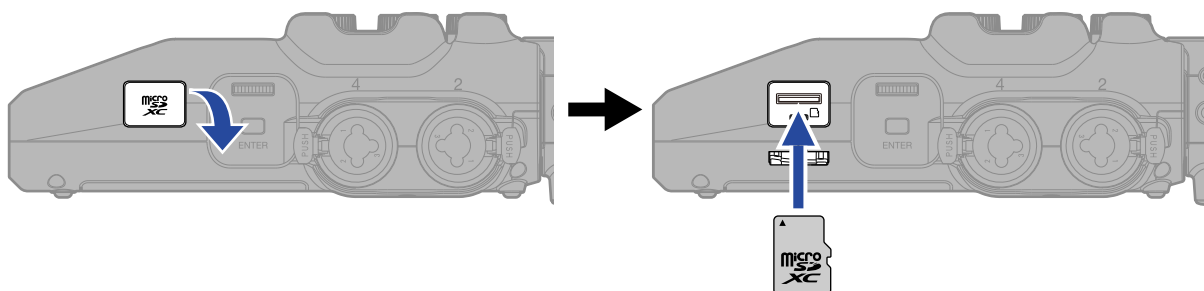
再生して確認する

-  (PLAY/PAUSEキー) で再生、 (STOPキー) で停止する (→[再生する](#))

準備する

microSDカードをセットする

1. 電源OFFの状態でmicroSDカードスロットカバーを開き、microSDカードのロゴ側を上にしてスロットの奥まで差し込む

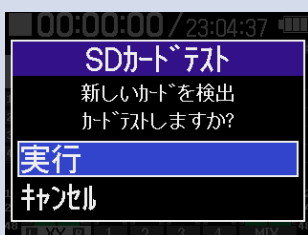


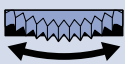
microSDカードを取り出すときは、microSDカードを一度スロットの奥に押し込んでから引き抜きます。

2. microSDカードスロットカバーを閉じる

NOTE

- microSDカードの抜き差しは、必ず電源をOFFにした状態で行ってください。電源がONの状態で行うと、データが破損するおそれがあります。
- microSDカードを抜き差しするときは、microSDカードの向きや裏表に注意してください。
- microSDカードがH6studioにセットされていないと、録音や再生はできません。
- H6studioで初めて使うカードをセットした場合、SDカードテスト画面が表示されます。



 (セレクトダイヤル) で「実行」を選択して  (ENTERキー) を押すとSDカード画面が表示されますので、SDカードのテストを行ってください。 (→[microSDカードをテストする](#))

- 対応する記録メディアは下記のとおりです。

- microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード

動作確認済みmicroSDカードはZOOMのWEBサイト(zoomcorp.com/help/h6studio)で確認してください。

電源をセットする

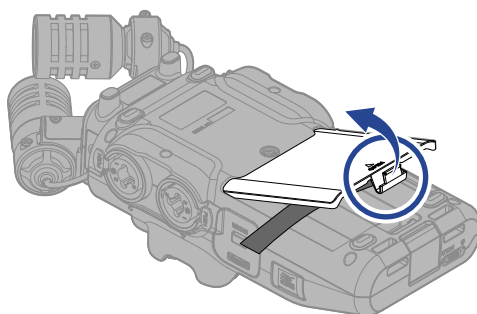
H6studioはUSB端子に接続された電源（ACアダプター、USBバスパワー、モバイルバッテリー）、電池のいずれかで動作することができます。

電源はUSB端子に接続された電源＞電池の順に優先されます。

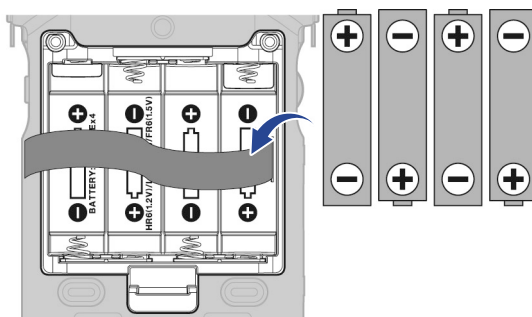
電池を入れる

H6studioを電池で駆動する場合は、単三電池を4本使用します。

1. 電源OFFの状態で、つまみを上に押し上げながら電池カバーを開ける



2. 単三電池を4本入れる 電池リボンを下に敷いてください。



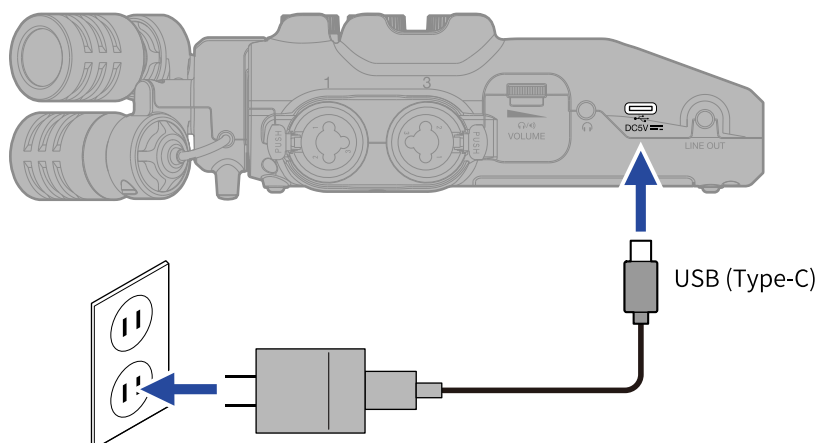
3. 電池カバーを閉じる

NOTE

- アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。
- 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。（→[電池の種類を選択する](#)）
- 電池残量がなくなったときは、すぐに電源をOFFにし、新しい電池と交換してください。電池残量は電池で動作中常に表示されます。

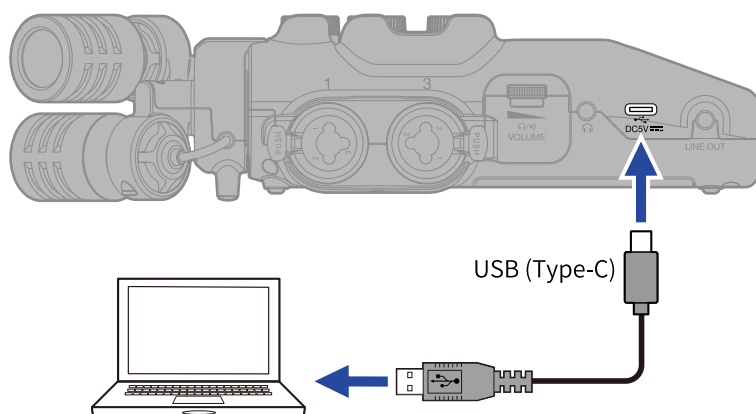
ACアダプターを接続する

USB端子（Type-C）に専用のACアダプター（AD-17）のケーブルを接続して、ACアダプターをコンセントに接続します。



その他の電源について

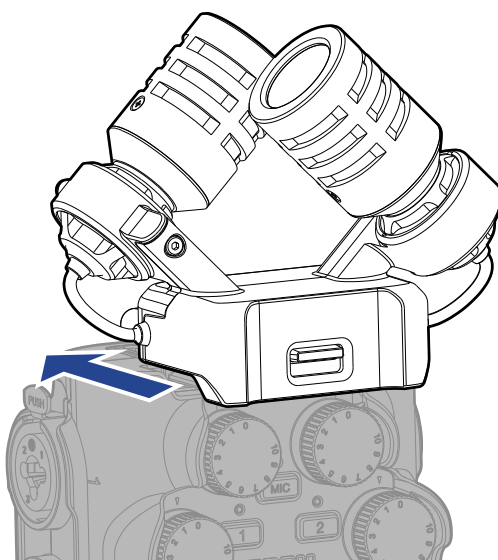
USB端子（Type-C）にパソコンを接続すると、USBバスパワーでH6studioを駆動することができます。また、市販の5Vモバイルバッテリーで駆動させることもできます。



入力機器を接続する

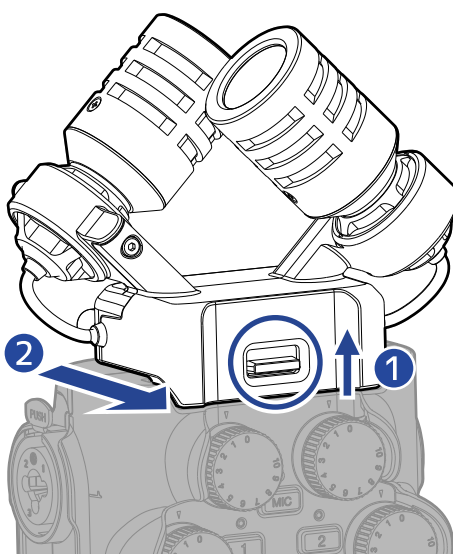
マイクカプセルを取り付ける

1. マイクカプセルをH6studioに取り付ける
マイクカプセルの突起部分をH6studioの溝に当てて、カチッと音がするまで差し込んでください。



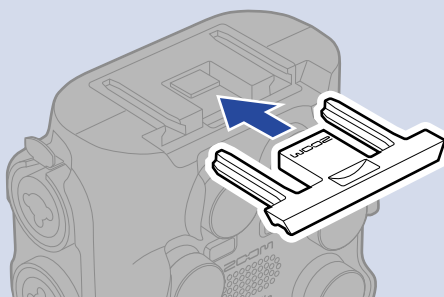
マイクカプセルを取り外す

1. マイクカプセルロックキーを上を押しながら (1)、マイクカプセルを手前にスライドして外す (2)



NOTE

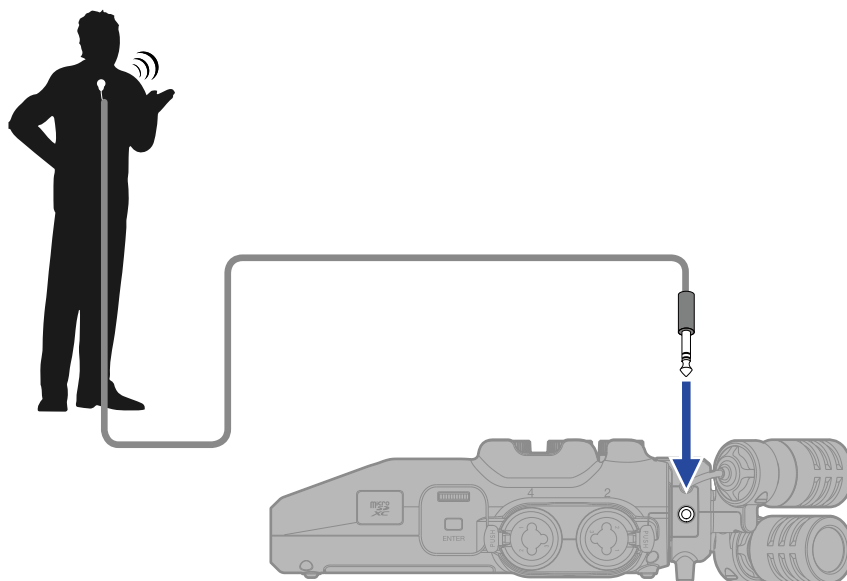
- 取り外すときは無理な力を加えないでください。マイクおよび本体が破損する恐れがあります。
- マイクカプセルの取り付け／取り外しは、必ず電源をOFFにした状態で行ってください。
- マイクカプセルを取り付けずにH6studioを使用する場合は、同梱のマイク端子カバーを取り付けてください。



MIC/LINE IN端子にラベリアマイクなどを接続する

H6studioに付属のマイクカプセル（XYH-5s）には、外部マイクやライン機器を接続できるMIC/LINE IN端子が用意されています。

プラグインパワー対応のマイクに電源を供給することもできます。



NOTE

- ラベリアマイクを使用する場合はプラグインパワーを設定してください。（→[プラグインパワーを使用する](#)）
- MIC/LINE IN端子を使用する場合、XYH-5sのマイクを使用することはできません。

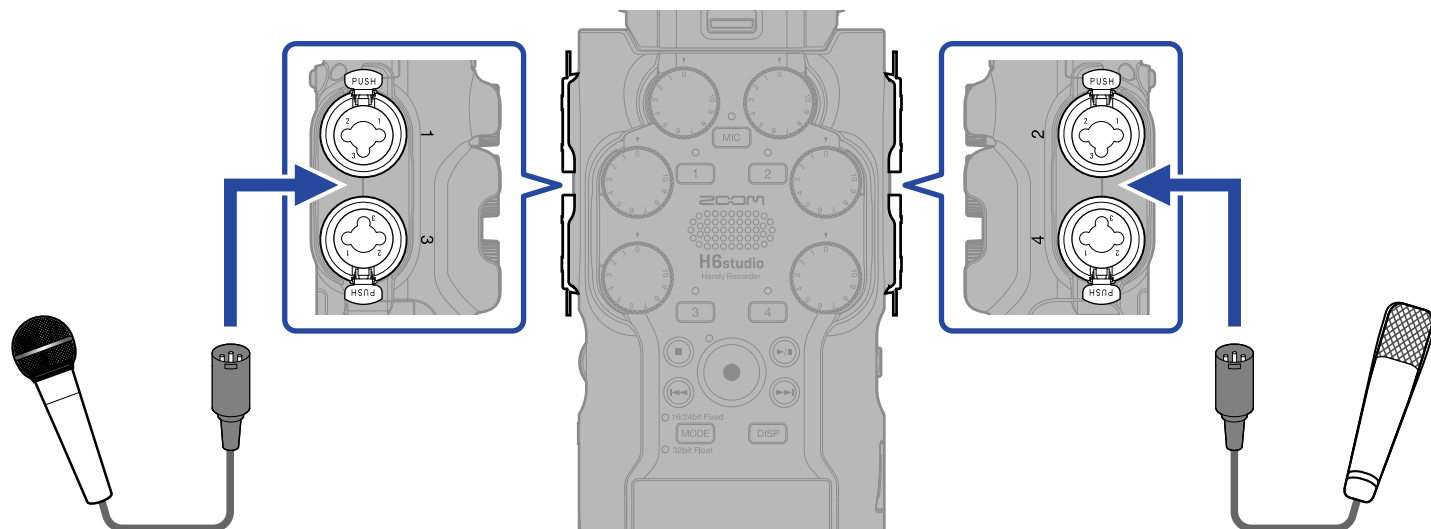
INPUT 1/2/3/4にマイクなどを接続する

H6studioはマイクカプセルからの入力の他に、INPUT 1/2/3/4からの入力を備えており、合わせて最大6チャンネルの入力が可能です。

INPUT 1/2/3/4にはマイクやミキサーなどを接続することができます。

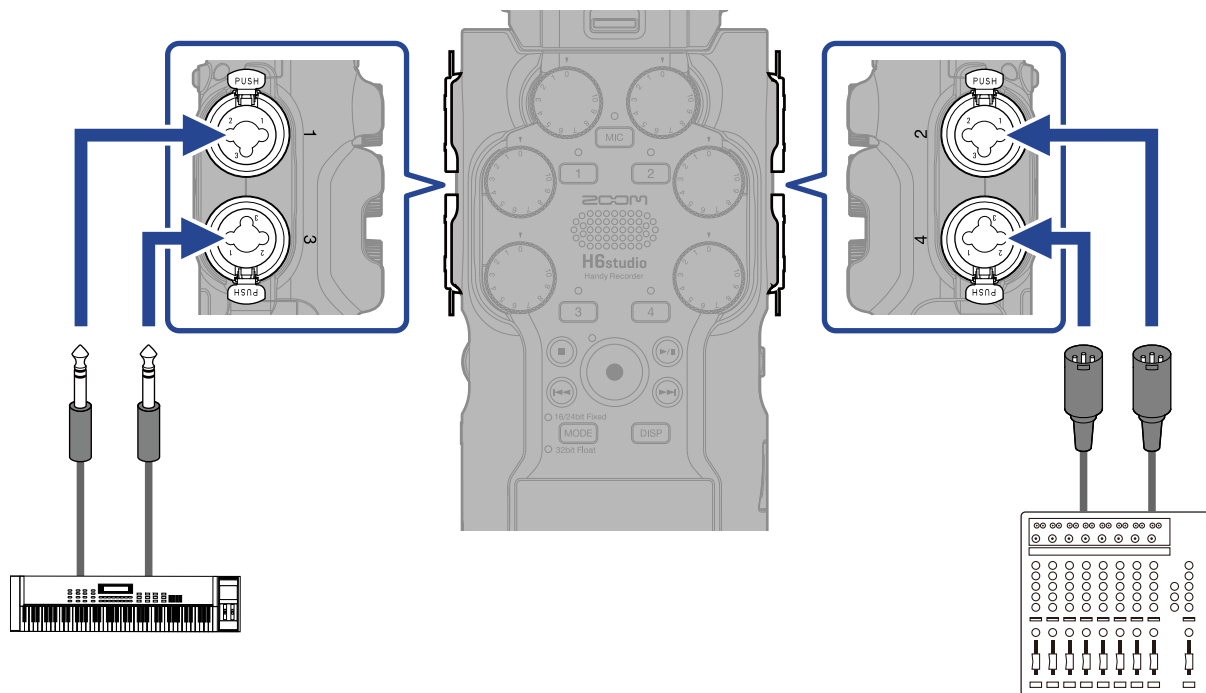
■ マイクの接続

ダイナミックマイク、コンデンサーマイクを接続する場合は、XLRプラグをINPUT 1/2/3/4に接続します。



- メニューから入力レベルの設定を「マイク」にしてください。（→[入力レベルを設定する（マイク/ライン）](#)）
- コンデンサーマイクにはファンタム電源（+48 V）を供給することもできます。（→[ファンタム電源を設定する](#)）
- マイクを取り外すときは、端子のロック解除ボタンを押しながらXLRプラグを抜いてください。

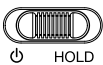
■ ラインレベル出力機器の接続

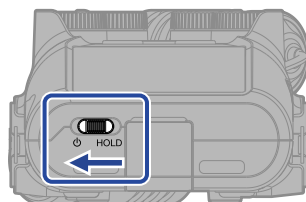


- メニューから入力レベルの設定を「ライン」にしてください。（→[入力レベルを設定する（マイク/ライン）](#)）
- パッシブタイプのギターやベースの入力には対応していません。この場合は、ミキサーやエフェクターを通して接続してください。

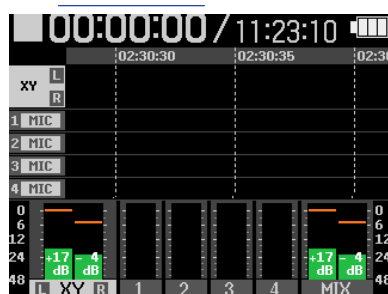
電源をON/OFF する

電源を入れる

1. ディスプレイに表示が出るまで、（電源／HOLDスイッチ）を「」側（INPUT 1/INPUT 3端子側）にスライドする



ディスプレイに起動画面が表示された後、[ホーム画面](#)が表示されます。



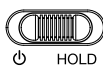
ご購入後初めて電源をONにした場合、またはH6studioを工場出荷時の状態に戻したときは、ガイド音の設定、ディスプレイの表示言語や日時を設定する画面が表示されますので、各設定を行ってください。

（→[ガイド音を設定する（初回起動時）](#)、[表示言語を設定する（初回起動時）](#)、[日付形式を設定する（初回起動時）](#)、[日時を設定する（初回起動時）](#)、[電池の種類を選択する（初回起動時）](#)）

NOTE

- H6studioは、操作をしない状態で一定時間が経過した場合に、自動的に電源が切れるように設定できます。（→[電源を自動でOFFする時間を設定する](#)）
- 「SDカードがありません」と表示されたら、microSDカードが正しくセットされているか確認してください。（→[microSDカードをセットする](#)）
- 「不正なSDカード」と表示されたら、フォーマットが不正です。microSDカードを初期化するか、別のmicroSDカードをセットしてください。（→[microSDカードを初期化する](#)、[microSDカードをセットする](#)）

■ 電源を切る

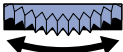
1. ディスプレイに「設定保存中」と表示されるまで、（電源／HOLDスイッチ）を「」側（INPUT 1/INPUT 3端子側）にスライドする
ディスプレイの表示が消え、電源がOFFになります。

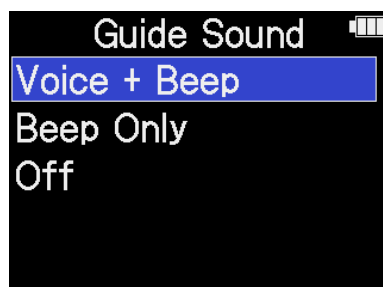
NOTE

- 「設定保存中」と表示されている間に、H6studioの現在の設定が保存されます。「設定保存中」と表示されている間はACアダプターや電池を抜かないでください。
- 録音中は電源を切ることができません。録音を停止してから電源を切ってください。

ガイド音を設定する（初回起動時）

ご購入後初めて電源をONにした場合、またはH6studioを工場出荷時の状態に戻したときは、ディスプレイにガイド音の設定画面が表示されますので、ガイド音を設定します。

1. （セレクトダイヤル）で設定項目を選択して、（ENTERキー）を押す



設定値	説明
Voice + Beep	インストールした言語で設定項目を音声で読み上げ、エラーメッセージや録音開始／停止、音量変更などを知らせるビープ音を鳴らします。お買い上げ時は英語がインストールされていますが、お好みの言語をインストールして読み上げることができます。（→ ガイド音をインストールする ）
Beep Only	エラーメッセージや録音開始／停止、音量変更などを知らせるビープ音を鳴らします。音声読み上げは行いません。
OFF	ガイド音をOFFにします。

ガイド音の設定が確定し、表示言語を設定する画面が表示されますので、表示言語を設定してください。（→[表示言語を設定する（初回起動時）](#)）

NOTE

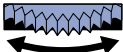
ガイド音の音量を調節することもできます。（→[ガイド音の音量を設定する](#)）

HINT

- ガイド音の設定は後からシステム設定画面で変更することもできます。（→[ガイド音を設定する（アクセシビリティ）](#)）
- [ホーム画面](#)で （ENTERキー）を長押しすることで、ガイド音を即座にON/OFFすることもできます。（→[ガイド音をショートカット操作でON/OFFする](#)）

表示言語を設定する（初回起動時）

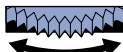
ご購入後初めて電源をONにした場合、またはH6studioを工場出荷時の状態に戻したときは、ガイド音を設定した後に表示言語の設定画面が表示されますので、ディスプレイに表示される言語を設定します。

1. （セレクトダイヤル）で表示言語を選択して、（ENTERキー）を押す



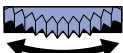
ディスプレイに表示される言語が確定し、日付形式を設定する画面が表示されますので、日付形式を設定してください。（→[日付形式を設定する（初回起動時）](#)）

HINT

- 表示言語の設定は後からシステム設定画面で変更することもできます。（→[表示言語を設定する](#)）
- （セレクトダイヤル）で  を選択して （ENTERキー）を押すと、前の設定画面に戻ります。

日付形式を設定する（初回起動時）

ご購入後初めて電源をONにした場合、またはH6studioを工場出荷時の状態に戻したときは、表示言語を設定した後に日付形式の設定画面がディスプレイに表示されますので、日付形式を設定します。
録音ファイルに記録される日付は、ここで選択した日付形式で記録されます。

1. （セレクトダイヤル）で日付形式を選択して、（ENTERキー）を押す
設定される日付形式の具体例が、現在の日付設定で画面下部に表示されます。



設定値	説明
YYMMDD	年、月、日の順で表示します。
MMDDYY	月、日、年の順で表示します。

設定値	説明
DDMMYY	日、月、年の順で表示します。

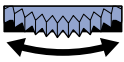
日付形式が確定し、日時を設定する画面が表示されますので、日時を設定してください。（→[日時を設定する（初回起動時）](#)）

HINT

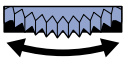
- 日付形式の設定は後からシステム設定画面で変更することもできます。（→[日付形式を設定する](#)）
- （セレクトダイヤル）で  を選択して （ENTERキー）を押すと、前の設定画面に戻ります。

日時を設定する（初回起動時）

ご購入後初めて電源をONにした場合、またはH6studioを工場出荷時の状態に戻したときは、日付形式を設定した後に日時の設定画面がディスプレイに表示されますので日時を設定します。日時は録音ファイルに記録されます。

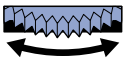
1. （セレクトダイヤル）で設定したい項目を選択して、（ENTERキー）を押す



2. （セレクトダイヤル）で数値を変更して、（ENTERキー）を押す



3. 手順1、2を繰り返して、日時を設定する

4. すべての項目を設定したら、（セレクトダイヤル）で **OK** を選択して、（ENTERキー）を押す



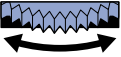
日時が確定し、電池の種類を設定する画面が表示されますので、電池の種類を設定してください。（→[電池の種類を選択する（初回起動時）](#)）

NOTE

長期間ACアダプターや電池から電源が供給されない状態が続いて、日時保持用の電源を消費しきった場合、本体に記憶した情報がリセットされます。

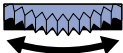
電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、再度設定してください。

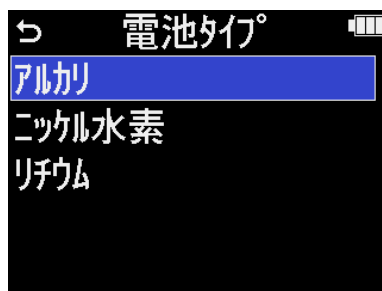
HINT

- 日時の設定は後からシステム設定画面で変更することもできます。（→[日時を設定する](#)）
 - （セレクトダイヤル）で  を選択して （ENTERキー）を押すと、前の設定画面に戻ります。
-

電池の種類を選択する（初回起動時）

ご購入後初めて電源をONにした場合、またはH6studioを工場出荷時の状態に戻したときは、日時を設定した後に電池の種類の設定画面がディスプレイに表示されますので、ディスプレイに電池残量を正確に表示するために、H6studioで使用する電池の種類を正しく選択します。

1. （セレクトダイヤル）で電池の種類を選択して、（ENTERキー）を押す



設定値	説明
アルカリ	アルカリ乾電池
ニッケル水素	ニッケル水素蓄電池
リチウム	リチウム乾電池

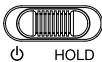
初回起動時の設定が終わり、[ホーム画面](#)が表示されます。

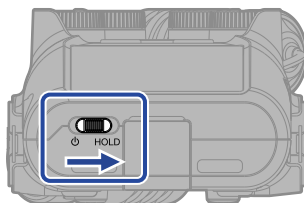
HINT

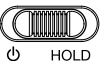
- 電池の種類の設定は後からシステム設定画面で変更することもできます。（→[電池の種類を選択する](#)）
- （セレクトダイヤル）で  を選択して （ENTERキー）を押すと、前の設定画面に戻ります。

誤操作を防止する（ホールド機能）

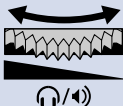
誤操作を防止するために、ホールド機能を使用してH6studioのキー操作を無効にできます。

1. （電源／HOLDスイッチ）を「HOLD」側（INPUT 2/INPUT 4端子側）にスライドする
ホールド機能がONになり、すべてのキーによる操作が無効になります。



ホールド機能を解除するには、（電源／HOLDスイッチ）をスライドし、中央の位置に戻します。

NOTE

ホールド機能がONの状態でも （VOLUMEダイヤル）での音量操作は可能です。



入力設定をする

録音するトラックを有効にする

録音するトラックをMIC（マイクカプセル）、INPUT 1/2/3/4の中から選択します。

1. ホーム画面 で録音したいトラックのトラックキーを押す
選択したトラックのステータスインジケーターが赤く点灯します。



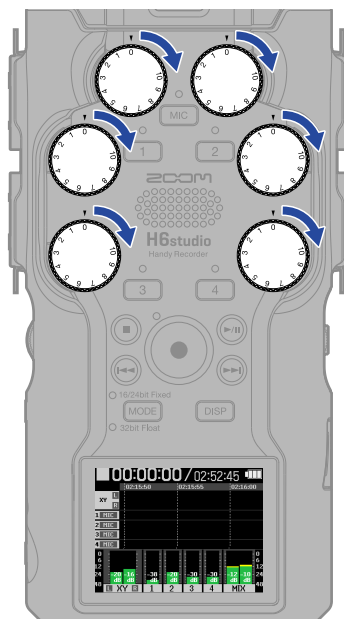
- **MIC** : マイクカプセル
- **1**、**2**、**3**、**4** : INPUT 1/2/3/4

NOTE

ステレオリンクされているトラックは、どちらかのキーを押すことで両方のトラックを選択できます。

入力ゲインと全体の音量を調整する

各トラックの  (GAINノブ) を用いて、入力ゲインと全体の音量バランスを調節します。

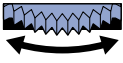


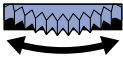
NOTE

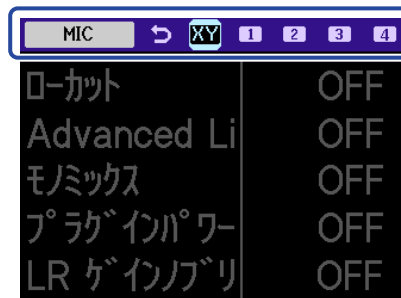
-  (GAINノブ) での音量調節は、モニター音と録音データに反映されます。
- RECモードが「16/24bit Fixed」の場合、最大音量時のレベルメーターが-12 dB辺りになるよう調節してください。録音レベルが0 dBに達すると、クリップインジケータが点灯します。点灯したクリップインジケータは  (STOPキー) を長押しするか、 (GAINノブ) を操作すると消灯します。
- 32bit Floatを選択している場合、ハードウェアでクリップすると、ステータスインジケータが点滅します。入力の設定の「マイク/ライン」を「マイク」にしている場合、「ライン」に設定することでハードウェアでクリップすることを避けることができます。
- 録音中でも  (GAINノブ) を操作して、音量を調節することができます。

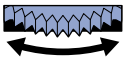
マイクカプセルの入力をモノラルに変更する

マイクカプセルの入力を1つにミックスしてモノラル音声として扱います。

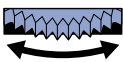
1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

2.  (セレクトダイヤル) で  「マイク」を選択して、 (ENTERキー) を押す



3.  (セレクトダイヤル) で「モノミックス」を選択して、 (ENTERキー) を押す



4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す



「ON」を選択すると、マイクカプセルの入力がモノラルになります。

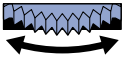
NOTE

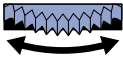
録音ファイルの形式も同様に切り替わります。（→[フォルダー・ファイル構成](#)）

- 「ON」に設定したとき：モノラルファイル
- 「OFF」に設定したとき：ステレオファイル
- ヘッドホン端子やLINE OUT端子から出力される音声と、オーディオインターフェース動作の音声も同様に切り替わります。

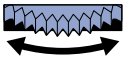
プラグインパワーを使用する

プラグインパワーに対応しているマイクをMIC/LINE IN端子に接続する場合は、次の設定を行います。

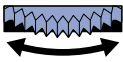
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で  「マイク」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「プラグインパワー」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）で「ON」を選択して、（ENTERキー）を押す

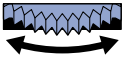


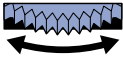
NOTE

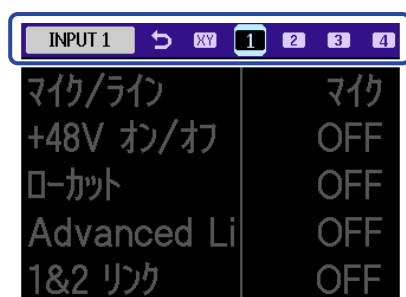
プラグインパワーに対応しているマイクカプセルを接続した場合のみ、設定できます。

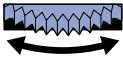
入力レベルを設定する（マイク/ライン）

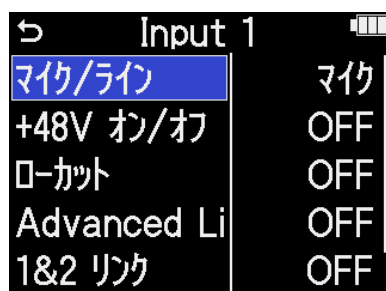
H6studioのINPUT 1/2/3/4は、接続する機器に応じて入力レベルを設定できます。

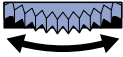
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

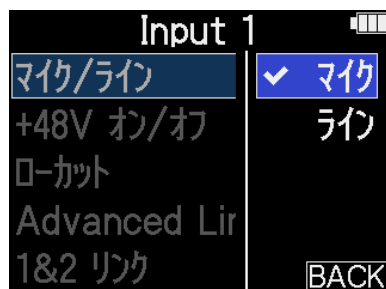
2. （セレクトダイヤル）で入力レベルを設定したい入力を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「マイク/ライン」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）で「マイク」または「ライン」を選択して、（ENTERキー）を押す



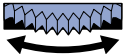
項目名	説明
マイク	マイクなどの入力レベルの低い機器を接続するときに選択します。
ライン	ラインレベル出力機器を接続するときに選択します。 「マイク」を選択したときに比べて入力レベルが20 dB減衰します。

ファンタム電源を設定する

H6studioのINPUT 1/2/3/4はファンタム電源に対応し、+48 Vの電源を供給できます。ファンタム電源が必要なコンデンサーマイクを接続したときは、ファンタム設定をONにしてください。

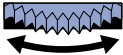
各入力ごとにON/OFFできます。

1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

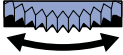
2.  (セレクトダイヤル) でファンタム電源を設定したい入力を選択して、 (ENTERキー) を押す

INPUT 1	
マイク/ライン	マイク
+48V オン/オフ	OFF
ローカット	OFF
Advanced Li	OFF
1&2 リンク	OFF

- 、、、 : INPUT 1/2/3/4

3.  (セレクトダイヤル) で「+48V オン/オフ」を選択して、 (ENTERキー) を押す

Input 1	
マイク/ライン	マイク
+48V オン/オフ	OFF
ローカット	OFF
Advanced Li	OFF
1&2 リンク	OFF

4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す

Input 1	
マイク/ライン	✓ OFF
+48V オン/オフ	ON
ローカット	
Advanced Lir	
1&2 リンク	BACK

NOTE

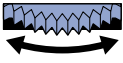
ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、ファンタム設定をONにしないでください。機器が破損することがあります。

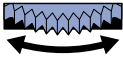
HINT

ファンタム電源とは、一部のコンデンサーマイクなど、外部電源で動作する機器に電力を供給する機能です。
+ 48 V が一般的です。

ノイズを軽減する（低域カット）

低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で低域カットを設定したい入力を選択して、（ENTERキー）を押す

MIC	
MIC  1 2 3 4	
ローカット	OFF
Advanced Li	OFF
モニタックス	OFF
プラグインパワー	OFF
LR ゲインバリ	OFF

-  : MIC（マイクカプセル）
- 、、、 : INPUT 1/2/3/4

3. （セレクトダイヤル）で「ローカット」を選択して、（ENTERキー）を押す

MIC	
MIC 	
ローカット	OFF
Advanced Li	OFF
モニタックス	OFF
プラグインパワー	OFF
LR ゲインバリ	OFF

4. （セレクトダイヤル）でカットする周波数を選択して、（ENTERキー）を押す

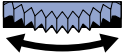
MIC	
MIC 	
ローカット	✓ OFF
Advanced L	80Hz
モニタックス	160Hz
プラグインパワー	240Hz
LR ゲインバリ	BACK

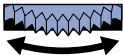
ローカットはOFF／80 Hz／160 Hz／240 Hzの中から選択して設定できます。

Advanced Limiterを設定する

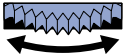
各トラックに対してリミッターのON/OFFができます。

H6studioでは最大レベルを先読みすることで歪まないように最適化されたリミッターを設定できます。

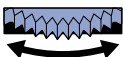
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）でAdvanced Limiterを設定したい入力を選択して、（ENTERキー）を押す

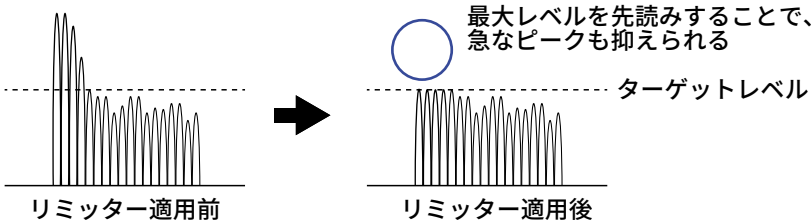
MIC	
ローカット	OFF
Advanced Li	OFF
モノミックス	OFF
プラグインパワー	OFF
LR ゲインバリ	OFF

3. （セレクトダイヤル）で「Advanced Limiter」を選択して、（ENTERキー）を押す

MIC	
ローカット	OFF
Advanced Li	OFF
モノミックス	OFF
プラグインパワー	OFF
LR ゲインバリ	OFF

4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す



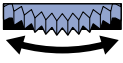
設定値	説明
OFF	リミッターがかかりません。
ON	リミッターがかかります。 最大レベルを先読みすることで、歪まないように最適化されたリミッターです。 レシオは∞:1となり、内部的なヘッドマージンが増加します。 

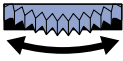
NOTE

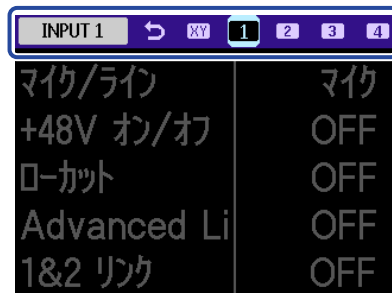
サンプルレートが192 kHzのときは、リミッターは使用できません。 (→[サンプルレートを設定する](#))

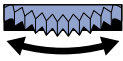
ステレオリンクを設定する

ステレオリンクすることにより、INPUT 1と2、3と4の入力信号をステレオ音声として扱うことができます。

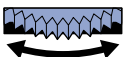
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）でステレオリンクを設定したい入力（（1）（（3）または（2）（（4）））を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「1&2 リンク」または「3&4 リンク」を選択して、（ENTERキー）を押す



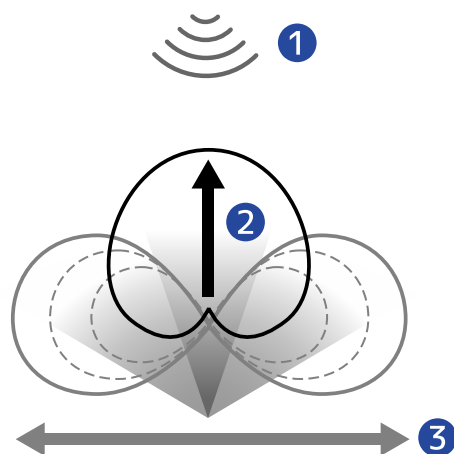
4.  (セレクトダイヤル) で設定したい項目を選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
OFF	入力信号をモノラル音声として扱います。
ステレオ	INPUT 1と2、3と4の入力信号をステレオ音声として扱います。 INPUT 1(3)がLチャンネル、INPUT 2(4)がRチャンネルとなります。
MS	INPUT 1/2/3/4の入力信号をMS方式で収音したステレオ音声として扱います。 INPUT 1(3)をMid、INPUT 2(4)をSideとしてMS処理した音声を録音します。
MS Raw	INPUT 1/2/3/4の入力信号をMS方式で収音したステレオ音声として扱います。 MS処理前のMidの音声、Sideの音声を、それぞれステレオファイルのLch、Rchに録音します。 録音後のポストプロダクションにてサイドレベルを変更する場合に便利な設定です。

HINT

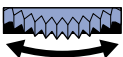
- MS方式とは、MidマイクとSideマイクで構成される収音方式です。
- Midマイクは正面中央の音を、Sideマイクは左右の音をとらえ、ステレオに変換して録音します。このときSideマイクの録音レベルを調節することでステレオ幅を変更することができます。
- Mid、Sideのバランスは各トラックの  (GAINノブ) で調節してください。INPUT 1(3) GAINノブでMid、INPUT 2(4) GAINノブでSideを調節できます。その際は、1&2(3&4)ゲインノブリンクをOFFにしてください。 ([→ゲインノブリンクを設定する](#))

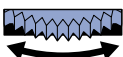


- ① 音源
- ② Midマイク
- ③ Sideマイク

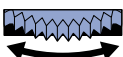
ゲインノブリンクを設定する

H6studioでは、マイクカプセルのLチャンネルとRチャンネル、または、INPUT 1(3)とINPUT 2(4)のゲインをリンクするかどうかを設定できます。

1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

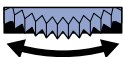
2.  (セレクトダイヤル) でゲインノブリンクを設定したい入力を選択して、 (ENTERキー) を押す

MIC	
☐-カット	OFF
Advanced Li	OFF
モノミックス	OFF
プラグインパワー	OFF
LR ゲインノブ	OFF

3.  (セレクトダイヤル) で「LR ゲインノブリンク」または「1&2(3&4) ゲインノブリンク」を選択して、 (ENTERキー) を押す

MIC	
☐-カット	OFF
Advanced Li	OFF
モノミックス	OFF
プラグインパワー	OFF
LR ゲインノブ	OFF

Input 1	
+48V オン/オフ	OFF
☐-カット	OFF
Advanced Li	OFF
1&2 リンク	OFF
1&2 ゲインノブ	OFF

4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す

MIC	
☐-カット	OFF
Advanced Li	✓ ON
モノミックス	
プラグインパワー	
LR ゲインノブ	BACK

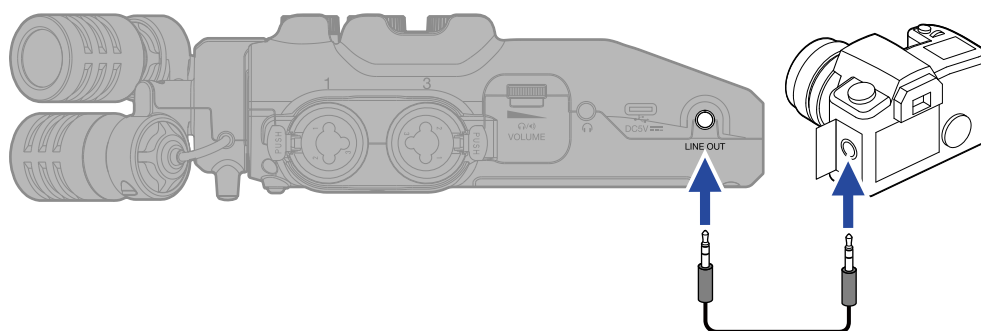
設定値	説明
OFF	マイクカプセルのLチャンネルとRチャンネル、または、INPUT 1(3)とINPUT 2(4)のゲインをリンクしません。 • マイクカプセル 左側のMIC GAINノブでLチャンネルのゲイン、右側のMIC GAINノブでRチャンネルのゲインを調節します。 • INPUT 1/2/3/4 INPUT 1(3) GAINノブでINPUT 1(3)のゲイン、INPUT 2(4) GAINノブでINPUT 2(4)のゲインを調節します。
ON	マイクカプセルのLチャンネルとRチャンネル、または、INPUT 1(3)とINPUT 2(4)のゲインをリンクします。 • マイクカプセル 左側のMIC GAINノブで設定したゲインがLチャンネルとRチャンネルの両方に適用されます。 • INPUT 1/2/3/4 INPUT 1(3) GAINノブで設定したゲインがINPUT 1(3)とINPUT 2(4)の両方に適用されます。

出力設定をする

ライン出力レベルを調節する

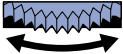
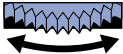
外部機器へのライン出力レベルを調節します。

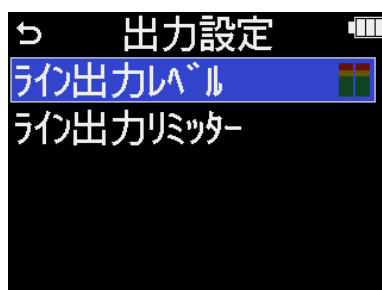
1. 外部機器の入力ゲインを最小にする
2. 外部機器の外部マイク端子と、H6studioのLINE OUT端子をオーディオケーブルで接続する

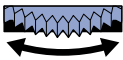


HINT

外部機器への出力が不要なときは、接続ケーブルをLINE OUT端子から外しておくと、電池持続時間を長くすることができます。

3. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「OUTPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
出力設定画面が表示されます。
4.  (セレクトダイヤル) で「ライン出力レベル」を選択して、 (ENTERキー) を押す



5.  (セレクトダイヤル) でライン出力レベルを調節して、 (ENTERキー) を押す
出力レベルメーターを確認しながら調節することができます。



HINT

- 「Mute」、または-40 ～ +40の範囲で調節できます。
- 「Mute」を選択した場合、LINE OUT端子からの出力はミュートされます。

6. H6studioからテストトーンを出力して出力レベルを調節するときは  (PLAY/PAUSEキー) を押す
外部機器のオーディオメーター (レベルメーター) を確認しながら、音声信号のレベルが-20 dB程度になるように、外部機器の入力ゲインを調節します。



HINT

テストトーンは、1 kHz -20 dBFSのサイン波です。

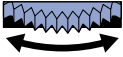
7. 外部機器の入力ゲイン調節が終わったら、 (ENTERキー) を押す
テストトーンの再生を終了します。

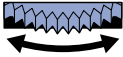
NOTE

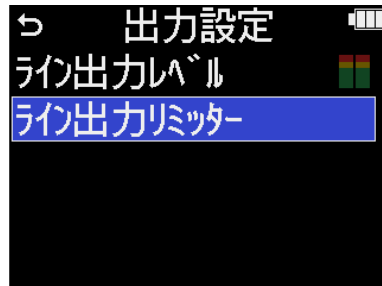
- 外部機器の操作方法については、使用する外部機器の取扱説明書を参照してください。
- 外部機器のオートゲインコントロール機能がオンになっている場合は、オフにしてください。
- ここで調節したレベルは、録音される音声とヘッドフォン端子、USB端子から出力される音声のレベルには影響しません。

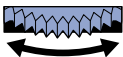
ライン出力にリミッターをかける

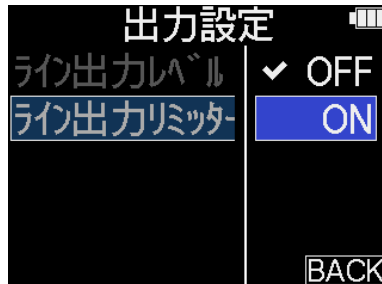
ライン出力にリミッターをかけることでレベルが高すぎる信号を抑えることができ、ライン出力端子に接続した機器を保護できます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「OUTPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
出力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ライン出力リミッター」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「ON」を選択して、（ENTERキー）を押す



NOTE

サンプルレートが192 kHzのときは、リミッターは使用できません。（→[サンプルレートを設定する](#)）

録音する

H6studioで録音すると、選択されたすべてのトラックが個別に録音されます。また、すべての信号をミックスしてステレオ化したステレオファイルも同時に録音できます。

ステレオファイルは、（GAINノブ）で調節したバランスで録音されます。（→[入力ゲインと全体の音量を調整する](#)）

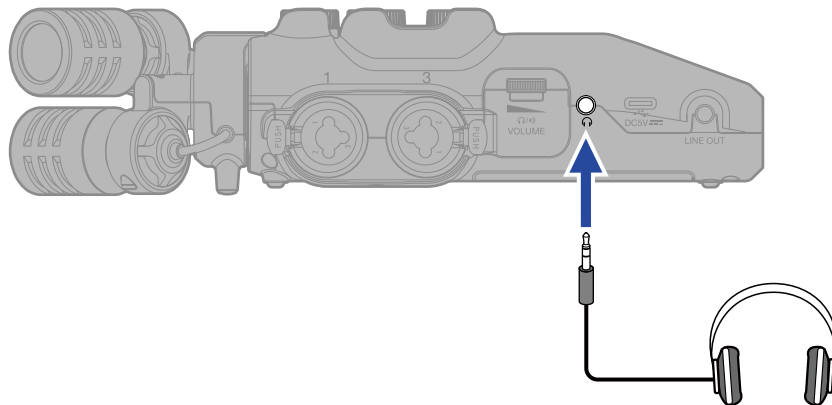
NOTE

- ミックスされたステレオファイルが録音されないように設定できます。また、その他の設定によっても、ステレオファイルが録音されないことがあります。（→[ミックスファイルの録音設定をする](#)）
- 録音されるファイルについて詳しくは、「[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#)」を参照してください。

入力音をモニターする

ヘッドフォンなどを使用して入力音をモニターし、音量を調節します。

1. ヘッドフォンなどをヘッドフォン端子に接続する



2. （VOLUMEダイヤル）でヘッドフォンなどの音量を調節する

VOLUME

音量調節中はディスプレイに音量が表示されます。



NOTE

- ヘッドフォン端子からの出力音量は、GAINノブでの音量調節によっても変化します。ヘッドフォンの音量調節は、入力のミックスレベルを調節した後で行ってください。（→[入力ゲインと全体の音量を調整する](#)）
- 内蔵スピーカーは録音時のモニタリングには使用できません。

HINT

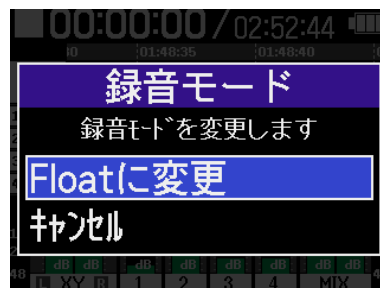
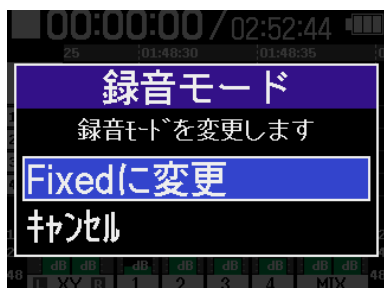
- ヘッドフォンでのモニターが不要なときは、ヘッドフォンをヘッドフォン端子から外しておくと、電池持続時間を長くすることができます。
- 各入力の音量を個別に調節することもできます。（→[入力ゲインと全体の音量を調整する](#)）

録音の設定をする

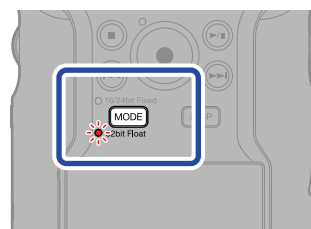
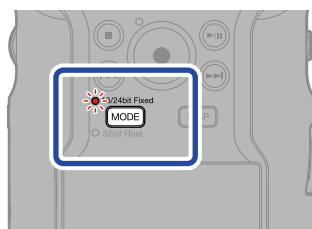
RECモードを設定する

H6studioでは録音するファイルを16/24-bit Fixedまたは32-bit Float から選択できます。

1. H6studio本体の  (RECモードキー) を押す
2. 「Fixedに変更」または「Floatに変更」を選択する



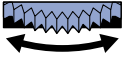
3. 選択したい設定値のインジケータが点灯しているのを確認する

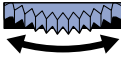


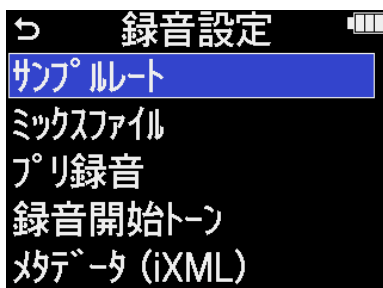
設定値	説明
32bit Float	オーディオファイルがクリップすることはありません。
16/24bit Fixed	録音ファイルのデータサイズは小さくなりますが、クリップしないように録音レベルの調節が必要です。（→ 入力ゲインと全体の音量を調整する ）

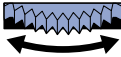
サンプルレートを設定する

録音するファイルのサンプルレートを設定します。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「サンプルレート」を選択して、（ENTERキー）で決定する



3. （セレクトダイヤル）でサンプルレートを選択して、（ENTERキー）で決定する



以下のサンプルレートから選択できます。

44.1 kHz／48 kHz／96 kHz／192 kHz

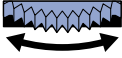
NOTE

サンプルレートが192 kHzのときは、リミッターは使用できません。（→[Advanced Limiterを設定する](#)）

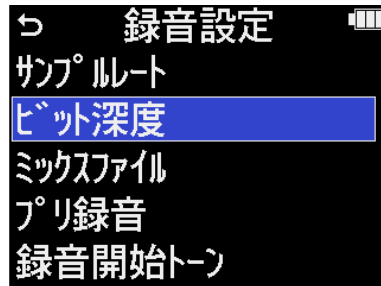
ビット深度を設定する

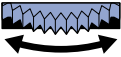
録音するファイルのビット深度を設定します。

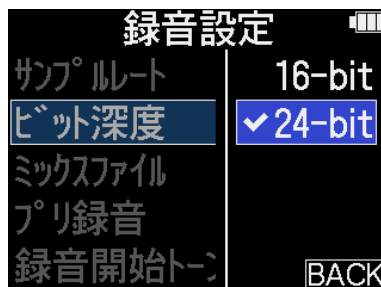
RECモードが「16/24bit Fixed」のときのみ設定できます。（→[RECモードを設定する](#)）

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ビット深度」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）でビット深度を選択して、（ENTERキー）で決定する



以下のビット深度から選択できます。

16-bit/24-bit

NOTE

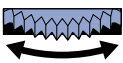
RECモードが「32bit Float」のときは、ビット深度は32-bit floatのみにになります。

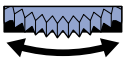
ミックスファイルの録音設定をする

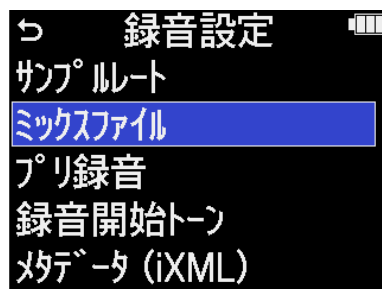
H6studioは、各トラックの音声を個別に録音する他、それらをステレオミックスしたファイルを録音します。SDカードの容量節約のためにステレオミックスしたファイルの録音を無効にすることもできます。

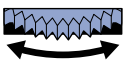
NOTE

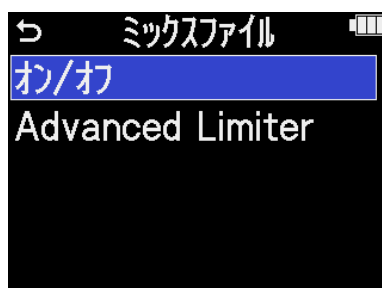
- ミックスファイルの録音設定を「ON」にしても、以下の場合はミックスファイルが録音されません。
 - サンプリングレートが192 kHzの場合
 - 1つのファイルしか作成されない場合（例えば、録音するトラックが1トラックのみの場合や、ステレオリンク設定された2トラックのみの場合）
- ミックスされた192 kHzのステレオファイルを作成したい場合は、エクスポートを行ってください。（→[ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）](#)）

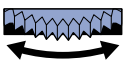
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

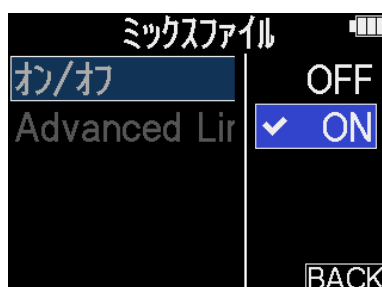
2. （セレクトダイヤル）で「ミックスファイル」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「オン／オフ」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）で「ON」または「OFF」を選択して、（ENTERキー）で決定する

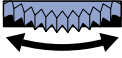


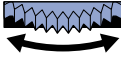
設定値	説明
OFF	ステレオミックスしたファイルを録音しません。
ON	ステレオミックスしたファイルを録音します。

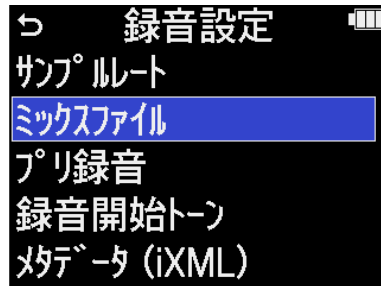
ミックスファイルのAdvanced Limiterの設定をする

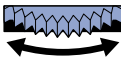
ミックスファイルに対してリミッターのON/OFFができます。

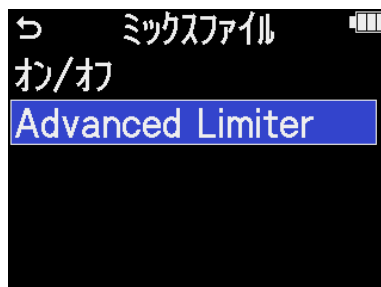
H6studioでは最大レベルを先読みすることで歪まないように最適化されたリミッターを設定できます。

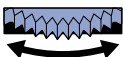
1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「REC」を選択して、 (ENTERキー) を押す
録音設定画面が表示されます。

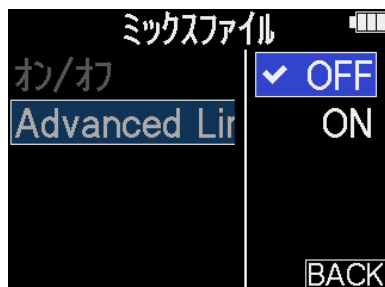
2.  (セレクトダイヤル) で「ミックスファイル」を選択して、 (ENTERキー) を押す

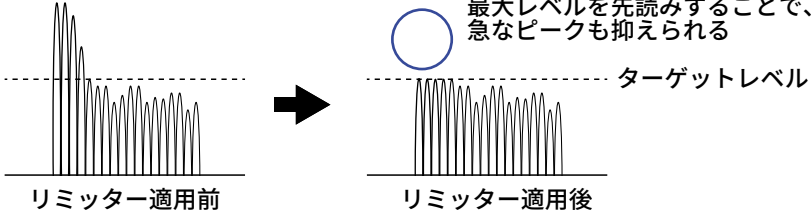


3.  (セレクトダイヤル) で「Advanced Limiter」を選択して、 (ENTERキー) を押す



4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) で決定する



設定値	説明
OFF	リミッターがかかりません。
ON	リミッターがかかります。 最大レベルを先読みすることで、歪まないように最適化されたリミッターです。 レシオは∞:1となり、内部的なヘッドマージンが増加します。 

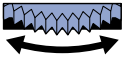
NOTE

サンプルレートが192 kHzのときは、リミッターは使用できません。 (→[サンプルレートを設定する](#))

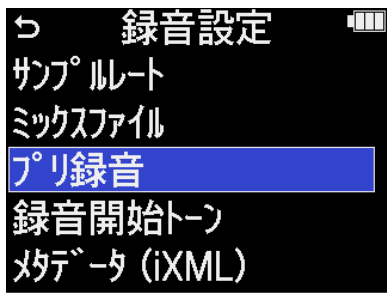
時間をさかのぼって録音する（プリ録音）

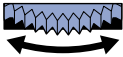
入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、（RECキー）操作によって録音開始した時点から最大6秒までさかのぼって録音（プリ録音）できます。

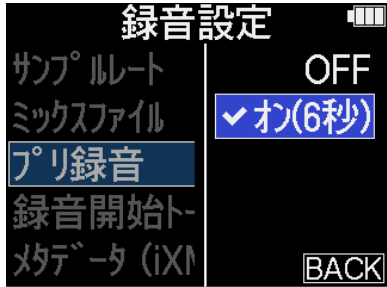
（RECキー）操作が遅れてしまった場合などに役に立ちます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「プリ録音」を選択して、（ENTERキー）で決定する



3. （セレクトダイヤル）で「オン」を選択して、（ENTERキー）で決定する



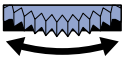
「オン」に設定したときにさかのぼれる時間は、サンプルレートの設定（→[サンプルレートを設定する](#)）によって変わります。

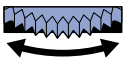
サンプルレート	プリ録音時間
44.1 kHz	6秒
48 kHz	6秒
96 kHz	3秒
192 kHz	1秒

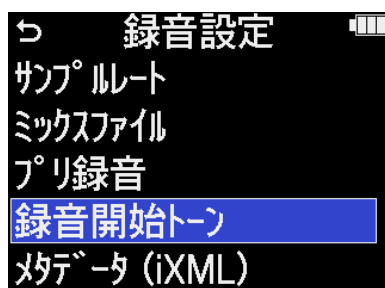
録音開始トーンを有効にする

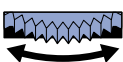
録音開始時に、出力端子（ヘッドフォン端子およびLINE OUT端子）から0.5秒間のトーン信号（録音開始トーン）を鳴らすことができます。

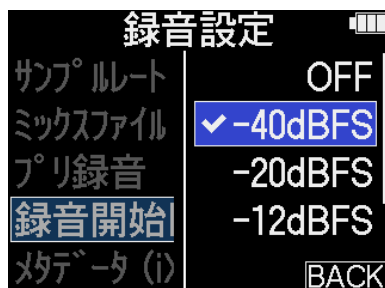
録音開始トーンは録音ファイルにも書き込まれるため、動画の音声をH6studioで録音する場合、カメラ側にH6studioの出力信号を入力しておくことで、動画との位置合わせが簡単になります。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「録音開始トーン」を選択して、（ENTERキー）で決定する



3. （セレクトダイヤル）で録音開始トーンの音量を選択して、（ENTERキー）で決定する

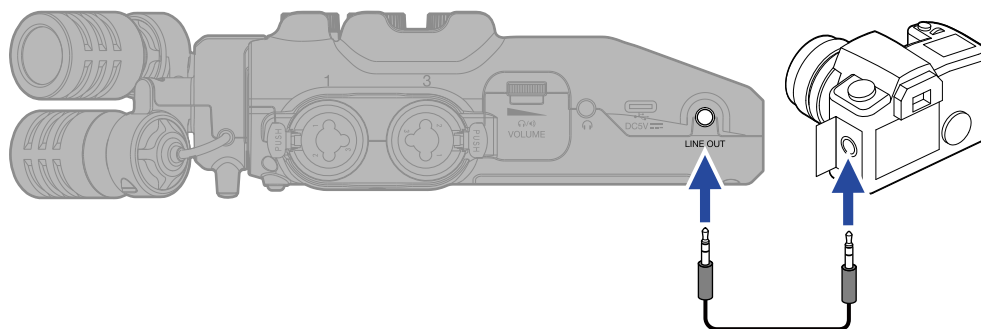


以下の音量から選択できます。

OFF／-40 dBFS／-20 dBFS／-12 dBFS／-6 dBFS

「OFF」を選択すると、録音開始トーンは再生されません。

4. カメラの入力端子とH6studioのLINE OUT端子をステレオミニジャックケーブルで接続する

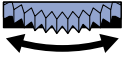


NOTE

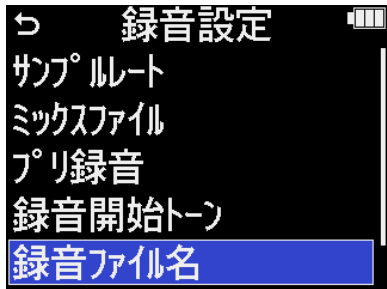
ヘッドフォンなどで入力音をモニターしている場合は、音量に注意してください。

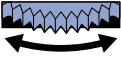
録音ファイル名の形式を設定する

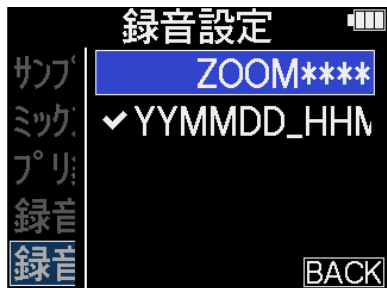
録音ファイル名の形式を設定します。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「録音ファイル名」を選択して、（ENTERキー）で決定する



3. （セレクトダイヤル）でファイル名の付け方を選択して、（ENTERキー）で決定する

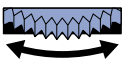


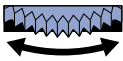
設定値	説明
ZOOM****	「ZOOM****.wav」（****は0001から始まる連番）という形式でファイル名が付けられます。 例：「ZOOM0001_Mic.wav」
YYMMDD_HHMMSS	「年月日-時分秒」という形式でファイル名が付けられます。 例：2025年1月15日9時25分30秒に録音開始した場合 「250115_092530_Mic.wav」

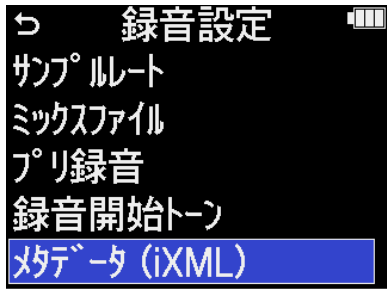
NOTE
「YYMMDD_HHMMSS」に設定した場合、ファイル名に付けられる「年月日」は、「日付形式」の設定に従います。（→[日付形式を設定する](#)）

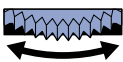
録音ファイルにメタデータ（iXMLチャンク）を書き込む

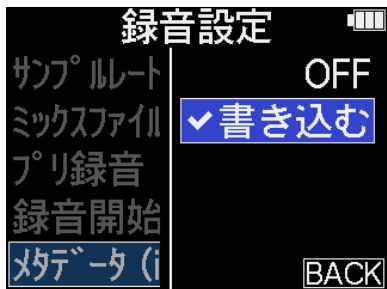
さまざまな関連情報（メタデータ）が記録されるiXMLチャンクを、録音するファイルに書き込むことができます。（→[WAVファイルのiXMLチャンクに埋め込まれるメタデータ](#)）

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「REC」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「メタデータ（iXML）」を選択して、（ENTERキー）で決定する



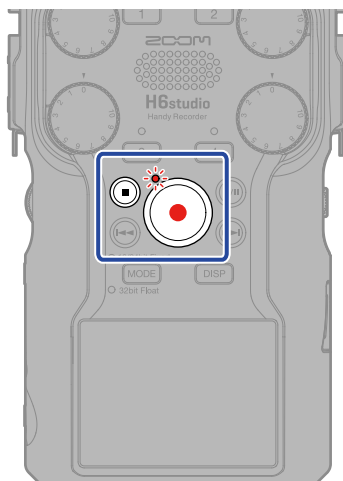
3. （セレクトダイヤル）で「書き込む」または「OFF」を選択して、（ENTERキー）で決定する



設定値	説明
OFF	録音ファイルにメタデータ（iXMLチャンク）を追加しません。
書き込む	録音ファイルにメタデータ（iXMLチャンク）を追加します。

NOTE
アプリケーションによっては、情報が埋め込まれたファイルを扱えないものもあります。お使いのアプリケーションでファイルに関する問題が生じた場合、メタデータの書き込み設定をOFFにすると状況が改善することがあります。

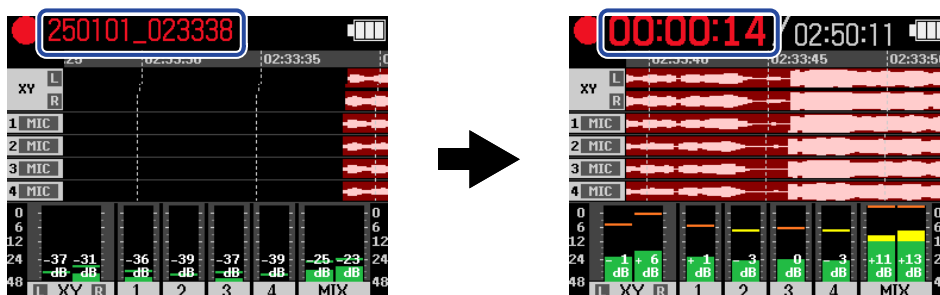
録音する



1. ホーム画面で を押す

RECインジケータが赤く点灯し、ディスプレイに録音するファイルのファイル名が表示され、録音を開始します。

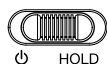
録音中は録音経過時間が表示されます。



NOTE

ファイル名は「日付_時分秒」となります（「[日時を設定する](#)」で設定した日時が反映されます）。「日付」については「[日付形式を設定する](#)」で設定した順番で数値で表示されます。ファイル名について詳しくは「[録音ファイル名について](#)」を参照してください。

2. 停止するには （RECキー）または （STOPキー）を押す



（電源/HOLDスイッチ）を「HOLD」側（INPUT 2/INPUT 4端子側）にスライドすることで、録音中の誤操作を防止することができます。（→[誤操作を防止する（ホールド機能）](#)）

NOTE

録音中にファイルサイズが2 GBを超えたときは、新しいファイルが自動的に作成され録音は継続されます。このとき、2つのファイル間に音飛びは発生しません。

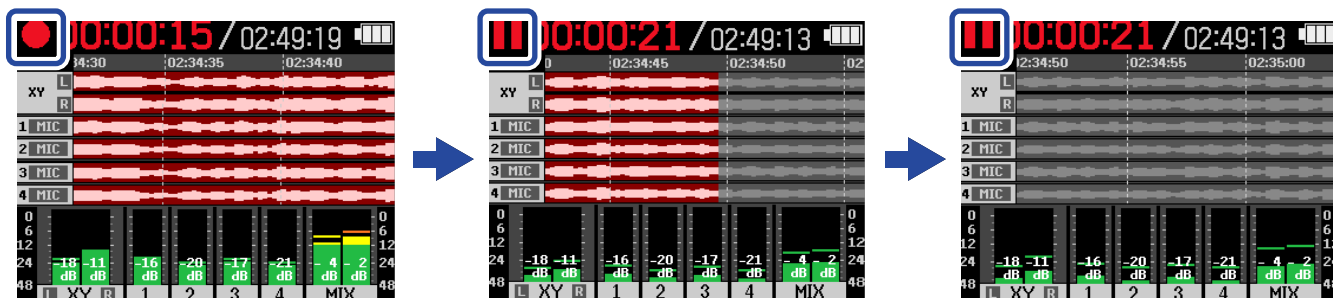
HINT

- 録音中に  (セレクトダイヤル) でメニューバーの  「MARK」を選択して、 (ENTER キー) を押すことでマークを付加することができます。(→[録音中にマークを付加する](#))
マークは1ファイルに最大99個つけられます。
 - 録音中は一定時間ごとにファイルが自動保存されます。録音中に電源遮断などの問題が発生した場合でも、該当ファイルをH6studioで再生することにより、正常なファイルとして復帰させることができます。
-

録音を一時停止する

録音を一時停止することで、録音したくない区間のmicroSDカード容量を節約することができます。

1. 録音中に  (PLAY/PAUSEキー) を押す
録音を一時停止します。



録音を再開するときは、再度  (PLAY/PAUSEキー) を押します。

NOTE

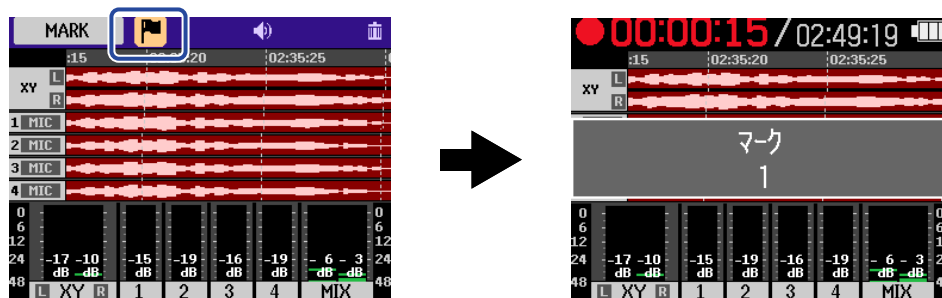
録音を再開した箇所には自動的にマークが付加されます。

録音中にマークを付加する

録音中のファイルにマークを付加することができます。

付加したマークは再生画面に表示され、 (REWキー) /  (FFキー) でマークを付けた場所に再生位置を移動できます。

1. 録音中に  (セレクトダイヤル) でメニューバーの  「MARK」を選択して、 (ENTERキー) を押す
現在の録音経過時間の位置にマークが付加されます。

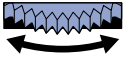


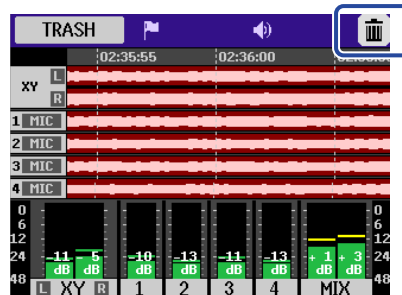
NOTE

1つのファイルに対してマークは最大99個まで付加できます。

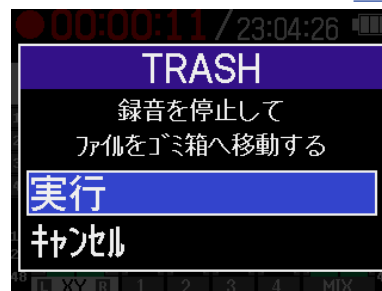
録音中のファイルをゴミ箱（TRASHフォルダー）に移動する

録音中のファイルをゴミ箱に移動することができます。録音が失敗したなど感じた場合などに便利な機能です。

1. 録音中に （セレクトダイヤル）でメニューバーの  「TRASH」を選択して、（ENTERキー）を押す



2. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す
録音を停止し、録音中のファイルはゴミ箱へ移動されます。（→[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#)）



「キャンセル」を選択して （ENTERキー）を押すと、操作をキャンセルし録音を続けます。

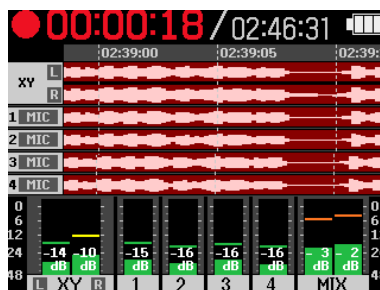
NOTE

- ゴミ箱に移動したファイルはSDカードに作成されたTRASHフォルダー内に保存されていますが、H6studioでファイル情報を確認したり再生することはできません。パソコンまたはスマートフォン／タブレットに接続して、パソコンまたはスマートフォン／タブレットで確認、再生を行ってください。（→[パソコンなどにファイルを転送する](#)）
- ゴミ箱内のファイルは、まとめて削除することができます。（→[ゴミ箱（TRASHフォルダー）のファイルを削除する](#)）

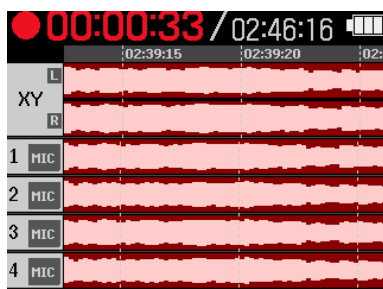
ホーム画面の表示を切り替える

 (DISPLAYキー) を押すたびに、[ホーム画面](#)の表示が下記のように切り替わります。

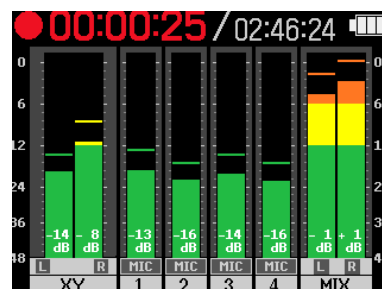
レベルメーターと波形



波形のみ

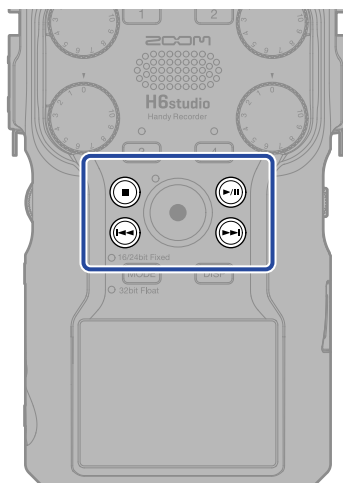


レベルメーターのみ



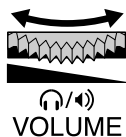
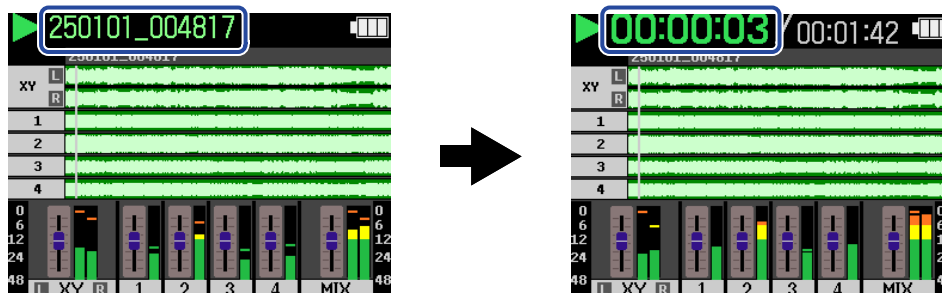
再生する

再生する



1. ホーム画面で (PLAY/PAUSEキー) を押す

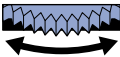
ディスプレイに再生画面が表示され、最後に録音したファイルの再生を開始します。
再生開始時はファイル名が表示され、再生中は再生時間が表示されます。



でヘッドフォンまたはスピーカの音量を調節します。各トラックごとに音量調節することでも

きます。(→[各トラックの音量バランスを調節する](#))

再生ファイルの選択は、 (REWキー) /  (FFキー) で行います。

再生画面表示中は、メニューバーのアイコンを  (セレクトダイヤル) で選択して  (ENTER
キー) を押すと、各設定画面を表示します。(→[再生画面](#))

2. (STOPキー) を押す

再生を停止し、[ホーム画面](#)に戻ります。

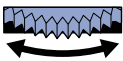
NOTE

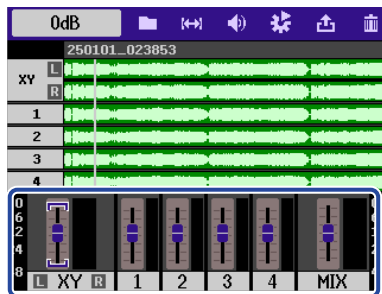
- 再生画面やファイルリスト画面ではファイルフォルダー内すべてのファイルを1つのファイルとして扱います。例えば「250101_000000_Tr1.wav」、「250101_000000_Tr2.wav」という2つのファイルがファイルフォルダー内に作成された場合でも、「250101_000000」という1つのファイルとして表示されます。このファイルを選択して削除の操作を行なった場合、ファイルフォルダー内のすべてのファイルが削除されます。
(→[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#))
- OFF状態のトラックはエクスポート時に使用されません。

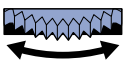
HINT

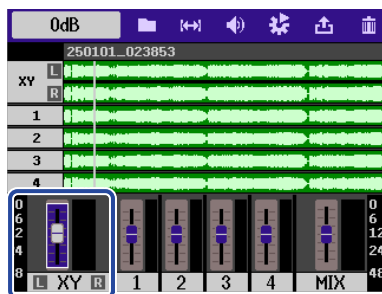
トラックキー 、、、、 を押すと、再生しているトラックをON/OFFすることができます。ステータスインジケーターが点灯しているトラックが再生されます。この操作は、録音されているトラックにのみ有効です。

各トラックの音量バランスを調節する

1. [再生画面](#)で  (セレクトダイヤル) で音量を調節したいトラックのフェーダーを選択して、 (ENTERキー) を押す



2.  (セレクトダイヤル) で音量を調節して、 (ENTERキー) を押す



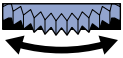
3. 手順1、2を繰り返して、全体の音量バランスを調節する

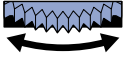
NOTE

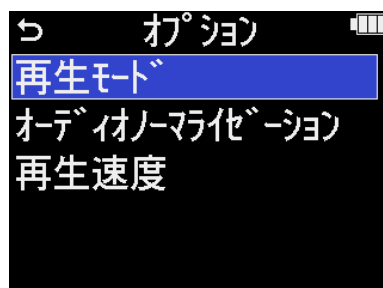
-  (STOPキー) を押すと、[ホーム画面](#) に戻ります。
- 再生中のミキサーでの音量調整は、エクスポートするときに作成されるファイルに反映することができます。ただし、ステレオミックストラックの音量調整はモニター音にのみ反映されます。(→[ファイルの形式を変更して書き出す \(エクスポート\)](#))

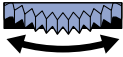
連続再生を設定する（再生モード）

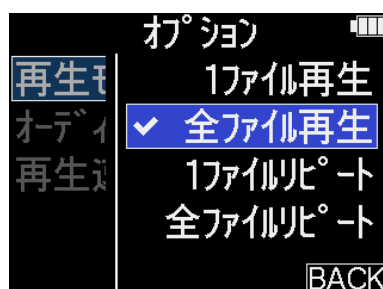
ファイルの再生が終了したとき、連続して次のファイルを再生するように設定できます。

1. 再生画面で、（セレクトダイヤル）で  「OPTION」を選択して、（ENTERキー）を押す

2. （セレクトダイヤル）で「再生モード」を選択して、（ENTERキー）を押す



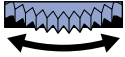
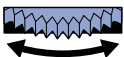
3. （セレクトダイヤル）で再生モードを選択して、（ENTERキー）を押す

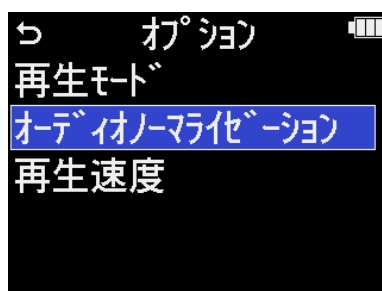


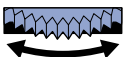
設定値	説明
1ファイル再生	ファイルの再生が終わると、停止します。
全ファイル再生	ファイルの再生が終わると、次のファイルを連続して再生します。 ファイル名順にファイルを再生し、最後のファイルを再生した後、停止します。
1ファイルリピート	ファイルの再生が終わると、同じファイルを繰り返し再生します。
全ファイルリピート	ファイルの再生が終わると、次のファイルを連続して再生します。 ファイル名順にファイルを再生し、最後のファイルを再生した後、先頭のファイルに戻って再生します。

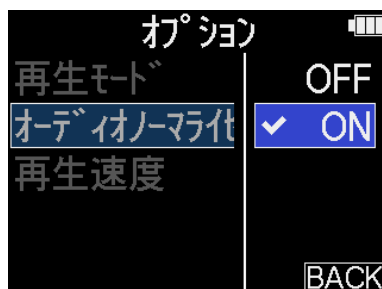
再生時の音量を自動調整する

「オーディオノーマライゼーション」の設定をONにすると、録音レベルの大きさにかかわらず、再生音量をそろえることができます。

1. 再生画面で、（セレクトダイヤル）で「OPTION」を選択して、（ENTERキー）を押す
2. （セレクトダイヤル）で「オーディオノーマライゼーション」を選択して、（ENTERキー）を押す

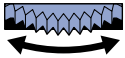


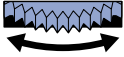
3. （セレクトダイヤル）で「ON」を選択して、（ENTERキー）を押す

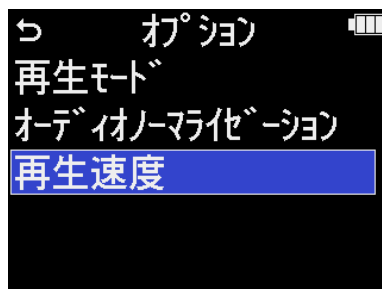


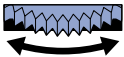
再生速度を変更する

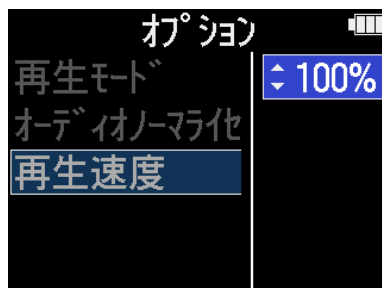
再生速度を変更できます。

1. 再生画面 で、 (セレクトダイヤル) で  「OPTION」を選択して、 (ENTERキー) を押す

2.  (セレクトダイヤル) で「再生速度」を選択して、 (ENTERキー) を押す



3.  (セレクトダイヤル) で再生速度を選択して、 (ENTERキー) を押す

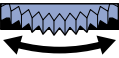


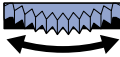
以下の速度から選択できます。

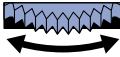
50% (1/2倍速) / 75% / 100% (通常) / 125% / 150% / 200% (2倍速)

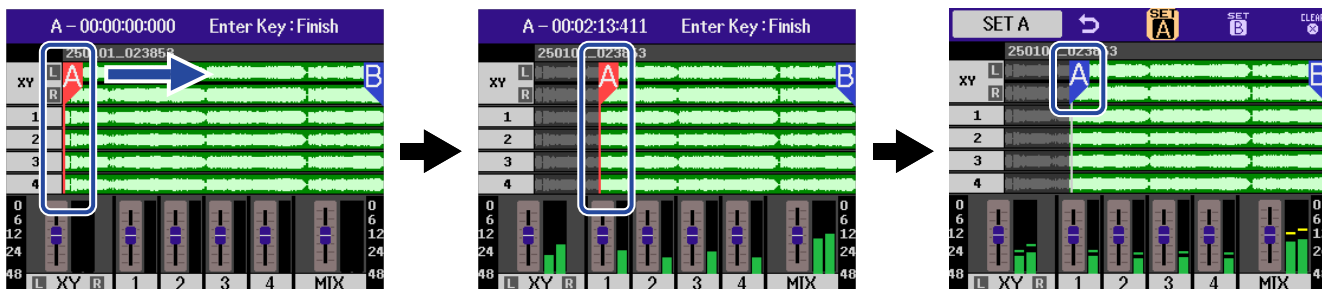
指定した範囲を繰り返し再生する（A-Bリピート）

指定した2点間を繰り返し再生できます。

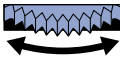
1. 再生画面で、（セレクトダイヤル）で  「AB REPEAT」を選択して、（ENTERキー）を押す

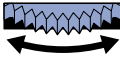
2. （セレクトダイヤル）で  「SET A」を選択して （ENTERキー）を押す

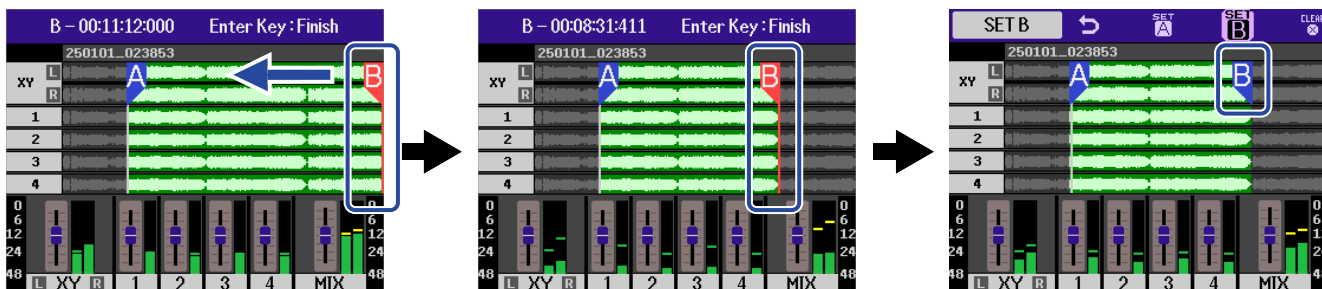
3. （セレクトダイヤル）でA点（再生開始地点）を設定して、（ENTERキー）を押す



（ENTERキー）を押した時点でA点を確定して、「A」が青色に変わります。

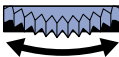
4. （セレクトダイヤル）で  「SET B」を選択して、（ENTERキー）を押す

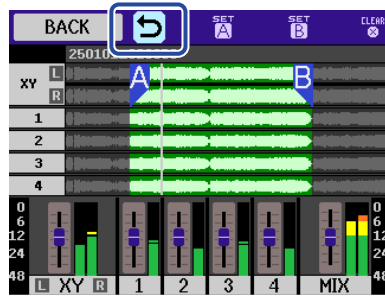
5. （セレクトダイヤル）でB点（再生終了地点）を設定して、（ENTERキー）を押す



・設定を変更したい場合は、手順2～4を繰り返してください。

・（セレクトダイヤル）で  「CLEAR」を選択して （ENTERキー）を押すと、設定地点を消去できます。

6. 設定が終わったら、（セレクトダイヤル）で  「BACK」を選択して、（ENTERキー）を押す



[再生画面](#)に戻ります。

NOTE

- A-Bリピート設定をキャンセルしたい場合、または設定を変更したい場合は、 「CLEAR」を押すと設定をリセットすることができます。
- 「AB REPEAT」で指定した範囲はエクスポート時に反映することもできます。（→[ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）](#)）

HINT

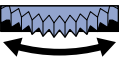
再生中にA点（再生開始地点）やB点（再生終了地点）を移動すると再生開始／終了位置がリアルタイムで更新されるため、再生音を確認しながら設定が行えます。

ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）

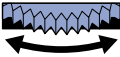
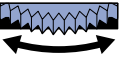
H6studioは録音済みのファイルを別の形式に変換して書き出すことができます。

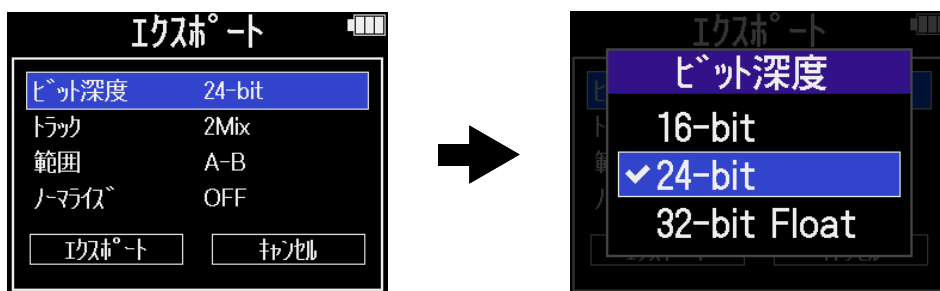
パソコンやスマートフォン／タブレットにH6studioで録音したファイルを取り込む際に、お使いのアプリケーションが32-bit float形式に対応していない場合などに便利です。

また、書き出すトラックを指定したり、トリミングをして必要な箇所のみ書き出したり、ノーマライズ処理を行なって録音ファイルの音量を最適化することもできます。

1. **再生画面**で、（セレクトダイヤル）で  「EXPORT」を選択して、（ENTERキー）を押す
エクスポート画面が表示されます。

2. ビット深度を選択する

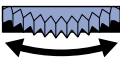
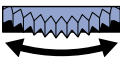
（セレクトダイヤル）で「ビット深度」を選択して （ENTERキー）を押し、（セレクトダイヤル）で形式を選択して （ENTERキー）を押します。

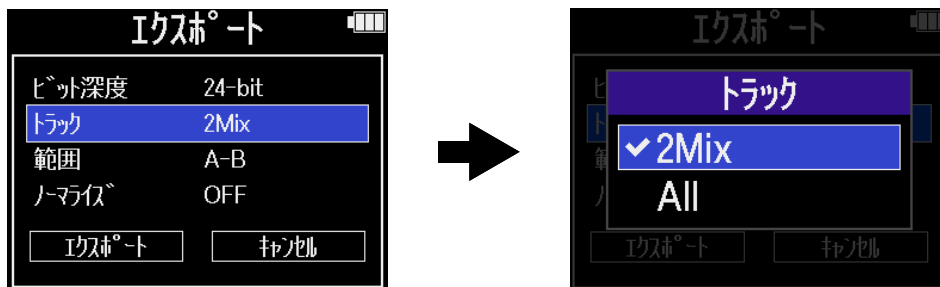


以下の形式から選択できます。

16-bit／24-bit／32-bit Float

3. 書き出すトラックを選択する

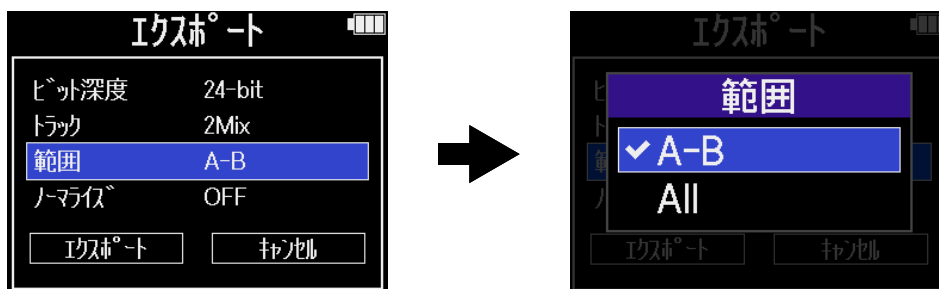
（セレクトダイヤル）で「トラック」を選択して （ENTERキー）を押し、（セレクトダイヤル）で書き出すトラックを選択して （ENTERキー）を押します。



設定値	説明
2Mix	再生中のミキサーでバランスを調節した状態で2ミックスにしたファイルを書き出します。（→ 各トラックの音量バランスを調節する ）
All	すべてのトラックを個別に書き出します。

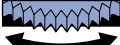
4. 範囲を決めて書き出すかどうか選択する

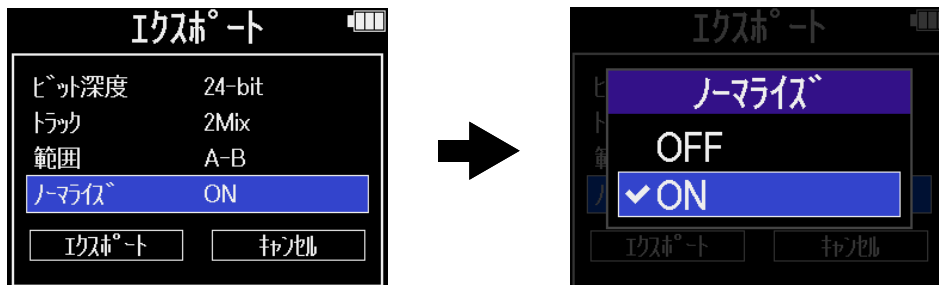
 (セレクトダイヤル) で「範囲」を選択して  (ENTERキー) を押し、 (セレクトダイヤル) で設定を選択して  (ENTERキー) を押します。



設定値	説明
A-B	「 <u>指定した範囲を繰り返し再生する (A-Bリピート)</u> 」で設定した2点間を書き出します。
All	すべての範囲を書き出します。

5. ノーマライズを行うかどうか選択する

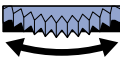
 (セレクトダイヤル) で「ノーマライズ」を選択して  (ENTERキー) を押し、 (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して  (ENTERキー) を押します。

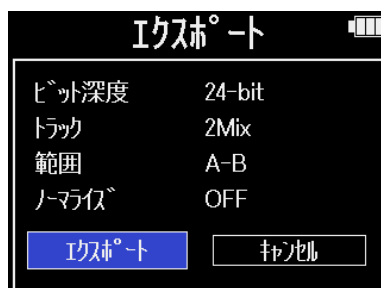


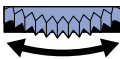
「ON」を選択すると、書き出し時にノーマライズ処理を行います。

NOTE

ノーマライズとは、音声データの最大音量を読み取って、音が歪まない範囲で音量をそろえる機能です。データ上一番大きい音（ピーク）が歪まない最大まで音量が調節されます。

6. すべての設定が終わったら、（セレクトダイヤル）で「エクスポート」を選択して、（ENTERキー）を押す



7. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す



書き出したファイルはExportフォルダ内に保存されます。（→[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#)）

「キャンセル」を選択して （ENTERキー）で決定すると、操作をキャンセルします。

エクスポート実行中にキャンセルする場合は、（ENTERキー）を押します。

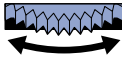
8. エクスポートが終了し「完了」が表示されたら、（ENTERキー）を押す
再生画面に戻ります。

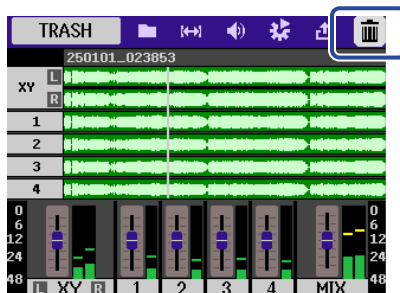
NOTE

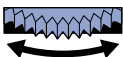
- エクスポートによって作成されたファイルは「××_△△_□□_〇〇.wav」という名前でExportフォルダ内に保存されます。
 - ××：エクスポート処理したファイルがあるファイルフォルダー名
 - △△：トラック名（あり（トラックを「All」選択時）／なし（トラックを「2Mix」選択時））
 - ：ビット深度（16（16-bit選択時）／24（24-bit選択時）／なし（32-bit float選択時））
 - 〇〇：ノーマライズ設定（NORM（ノーマライズオン時）／なし（ノーマライズオフ時））
- Exportフォルダー内のファイルをH6studioで再生することはできません。
- OFF状態のトラックはエクスポート時に使用されません。（→[再生する](#)）
- 再生中のミキサーでの音量調整は、エクスポートするときに作成されるファイルに反映することができます。ただし、ステレオミックストラックの音量調整はモニター音にのみ反映されます。（→[各トラックの音量バランスを調節する](#)）

再生中のファイルをゴミ箱（TRASHフォルダー）に移動する

再生中のファイルをゴミ箱に移動することができます。

1. [再生画面](#)で、（セレクトダイヤル）でメニューバーの  「TRASH」を選択して、（ENTERキー）を押す



2. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択し、（ENTERキー）を押す
再生中のファイルがゴミ箱へ移動されます。（→[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#)）



「キャンセル」を選択して （ENTERキー）を押すと、操作をキャンセルします。

NOTE

- ゴミ箱に移動したファイルはTRASHフォルダー内に保存されていますが、H6studioでファイル情報を確認したり再生することはできません。パソコンまたはスマートフォン／タブレットに接続して、パソコンまたはスマートフォン／タブレットで確認、再生を行なってください。（→[パソコンなどにファイルを転送する](#)）
- ファイルフォルダー内すべてのファイルがゴミ箱に移動するため注意してください。（→[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#)）
- ゴミ箱内のファイルは、まとめて削除することができます。（→[ゴミ箱（TRASHフォルダー）のファイルを削除する](#)）

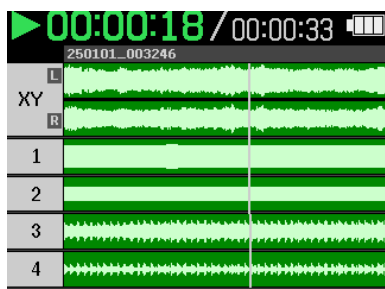
再生画面の表示を切り替える

 (DISPLAYキー) を押すたびに、[再生画面](#)の表示が下記のように切り替わります。

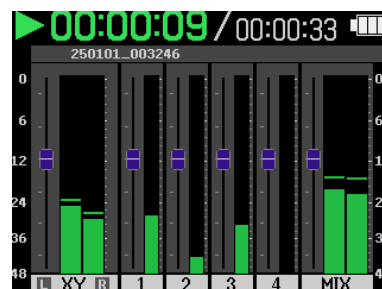
レベルメーターと波形



波形のみ



レベルメーターのみ



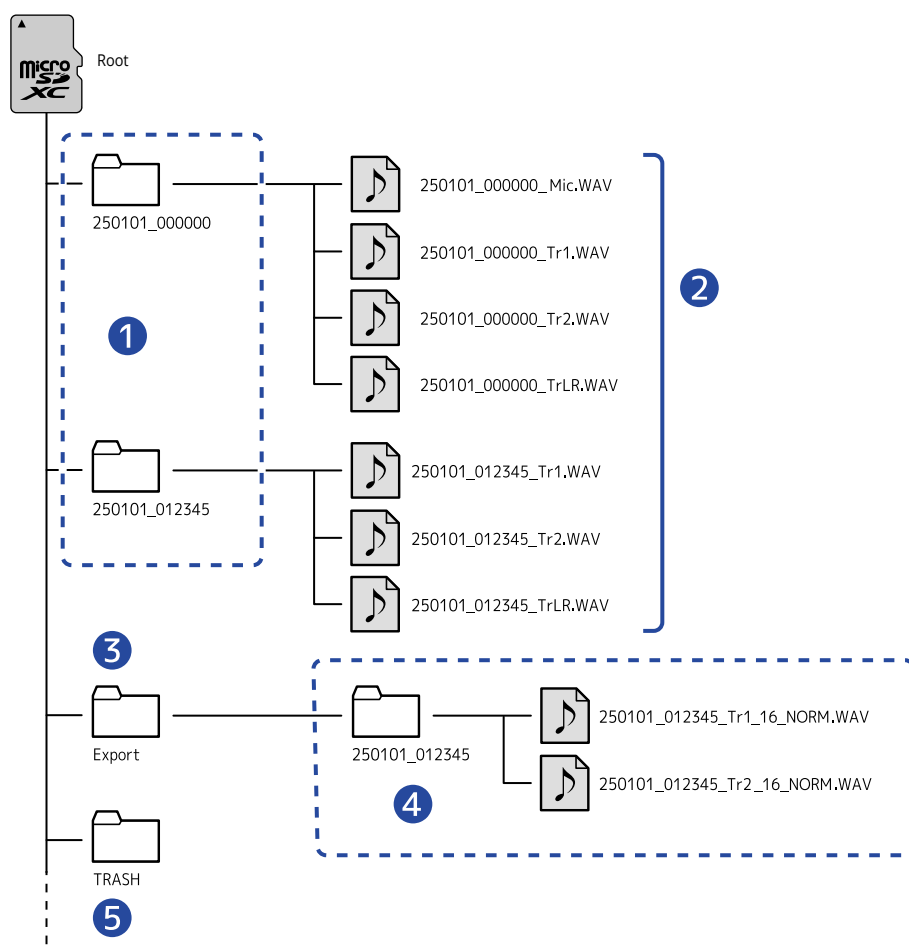
ファイルを管理する

H6studioで作成されたファイルはmicroSDカードに保存されます。
microSDカード内の録音ファイルを確認したり削除をすることができます。

H6studioのフォルダー・ファイル構成

フォルダー・ファイル構成

H6studioで録音すると、microSDカードに次のようなファイルが作成されます。



① ファイルフォルダー

録音を行うたびに作成されます。ファイルフォルダー名は録音ファイル名からトラック名を除いたものとなります。

作成されたモノ／ステレオファイルが保存されます。

② 録音ファイル

H6studioで録音したファイルはmicroSDカードのファイルフォルダーに保存されます。

録音ファイル名については「[録音ファイル名について](#)」を参照してください。

- ・「MIC」（マイクカプセル）入力設定の「モノミックス」が「OFF」の場合、またINPUT 1/2(3/4)がステレオリンク設定されている場合は、ステレオファイルが作成されます。その他の場合にはモノファイルが作成されます。（→[マイクカプセルの入力をモノラルに変更する](#)、[ステレオリンクを設定する](#)）

③ Exportフォルダー

ファイルのエクスポートを実行すると作成されます。エクスポートにより書き出されたファイルはExportフォルダー内に保存されます。（→[ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）](#)）

④ Exportファイル

ファイルのエクスポートを行った場合に作成されるファイルは、Exportフォルダー内にエクスポートを行ったファイルと同名のフォルダに保存されます。（→[ファイルの形式を変更して書き出す（エクスポート）](#)）

⑤ TRASHフォルダー

H6studioにSDカードを挿入することで自動的にTRASHフォルダーが作成されます。TRASHフォルダーに移動する操作を行ったファイルはTRASHフォルダー内に保存されます。（→[録音中のファイルをゴミ箱（TRASHフォルダー）に移動する](#)、[再生中のファイルをゴミ箱（TRASHフォルダー）に移動する](#)）

また、TRASHフォルダー内のファイルは、まとめて削除することができます。（→[ゴミ箱（TRASHフォルダー）のファイルを削除する](#)）

録音ファイル名について

ファイル名は以下の形式で記録されます。

ファイル名の例	説明
250101_000000_Tr1.wav 1 2 3	1 日付 録音した日付が数値で記録されます。 数値は「日付形式を設定する」で設定した順番となります。 2 時間 時、分、秒の数値で記録されます。 3 トラック名 録音に使用されたトラックを表します。 • Mic：マイクカプセルで録音されたファイル • Tr1、Tr2、Tr3、Tr4：トラック1/2/3/4の各トラックで録音されたファイル • TrLR：すべてのトラックをステレオミックスしたファイル
ZOOM****.wav 1	1 通し番号 0001から始まる連番で記録されます。

NOTE

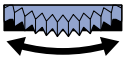
- ファイルサイズが2 GBを超えると、自動的に新しい録音ファイルが作成され録音が継続されます。このとき新しく作成されるファイルフォルダーと録音ファイルの名前は、元の名前の時間の後に「_002」が付いたものとなります。
- 設定によって、すべてのトラックをステレオミックスしたファイルが作成されます。（→[ミックスファイルの録音設定をする](#)）

ファイルを確認する

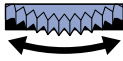
[ファイルリスト画面](#)でmicroSDカード内のファイルを再生しながら確認することができます。
メニューバーを表示すると、選択したファイルの[再生画面](#)を表示したり、選択したファイルをゴミ箱に移動することができます。

1. [ホーム画面](#)または[再生画面](#)で、（セレクトダイヤル）で  「FILE LIST」を選択して、（ENTERキー）を押す
[ファイルリスト画面](#)が表示され、microSDカード内のファイルの一覧が表示されます。



2. （セレクトダイヤル）でファイルを選択して、（ENTERキー）を押す
選択したファイルの操作ができるメニューバーが表示されます。



（セレクトダイヤル）で設定項目を選択し、（ENTERキー）を押すと、各種操作を行えます。（→[ファイルリスト画面](#)）

NOTE

[ファイルリスト画面](#)ではファイルフォルダー内すべてのファイルを1つのファイルとして扱います。例えば「250101_000000_Tr1.wav」、「250101_000000_Tr2.wav」という2つのファイルがファイルフォルダー内に作成された場合でも、[ファイルリスト画面](#)では「250101_000000」という1つのファイルとして表示されます。このファイルを選択しファイルを削除した場合、ファイルフォルダー内のすべてのファイルに対して操作が適用されます。（→[H6studioのフォルダー・ファイル構成](#)）

HINT

（STOPキー）を押すと、ホーム画面に戻ります。（→[ホーム画面](#)）

オーディオインターフェースとして使用する

H6studioへの入力信号をパソコンまたはスマートフォン／タブレットに送ることができ、パソコンまたはスマートフォン／タブレットの再生信号をH6studioから出力することができます。

また、H6studioをオーディオインターフェースとして使用中もH6studioで録音することができます。

Macまたはスマートフォン／タブレットで使用する場合、ドライバは必要ありません。

Windowsで使用する場合はドライバが必要です。

Windowsの場合

1. zoomcorp.com/help/h6studio からパソコンに「H6studio Driver」をダウンロードする

NOTE

最新の「H6studio Driver」は上記WEB サイトからダウンロードできます。

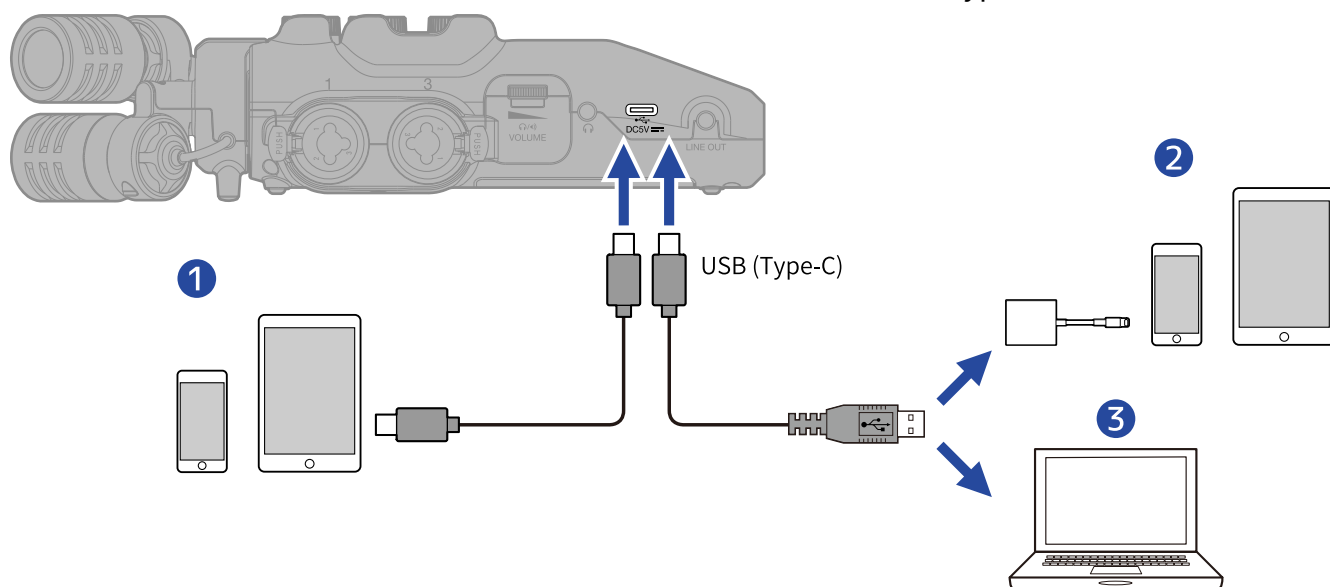
2. インストーラーを起動して、指示に従って「H6studio Driver」をインストールする

NOTE

詳細なインストール手順については、ドライバパッケージに同封されている「InstallationGuide」を参照してください。

パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する

1. H6studioとパソコンまたはスマートフォン／タブレットをUSBケーブル（Type-C）で接続する



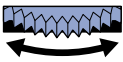
- ① スマートフォン／タブレット（USB Type-C）

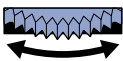
② iPhone/iPad (Lightning)

③ パソコン (Windows/Mac)

NOTE

- データ転送に対応したUSBケーブルをご使用ください。
- Lightning コネクタを搭載したiPhone/iPadと接続するには、Lightning - USB 3カメラアダプタが必要です。
- Type-C - Lightningケーブルでは接続できません。

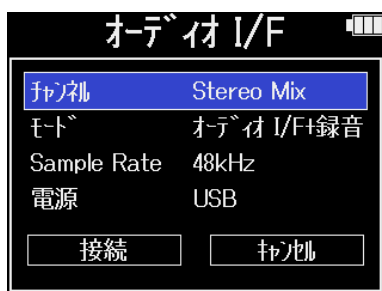
2. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「USB」を選択して、 (ENTERキー) を押す
USB画面が表示されます。

3.  (セレクトダイヤル) で「オーディオ I/F」を選択して、 (ENTERキー) で決定する



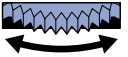
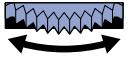
4. パソコンまたはスマートフォン／タブレットへ出力するチャンネルを設定する

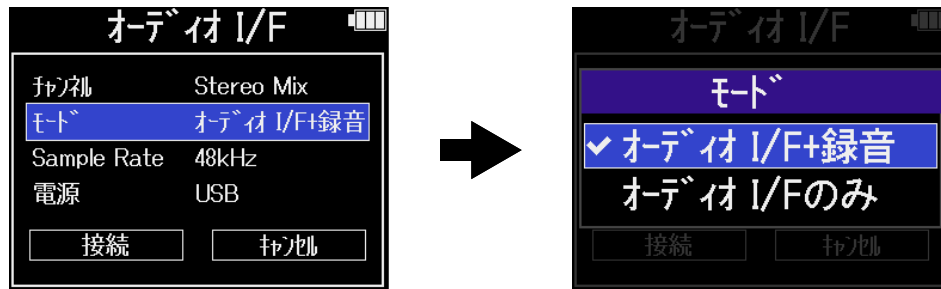
 (セレクトダイヤル) で「チャンネル」を選択して  (ENTERキー) を押し、 (セレクトダイヤル) でチャンネルを選択して  (ENTERキー) を押します。



設定値	説明
Stereo Mix	各入力を  (GAINノブ) で調整した音量バランスでステレオミックスし、パソコンまたはスマートフォン／タブレットに2チャンネル出力します。(→ 入力ゲインと全体の音量を調整する)
Multi Track	各入力を個別でパソコンまたはスマートフォン／タブレットに6チャンネル出力します。

5. H6studioで同時に録音するかどうか設定する

 (セレクトダイヤル) で「モード」を選択して  (ENTERキー) を押し、 (セレクトダイヤル) でモードを選択して  (ENTERキー) を押します。



設定値	説明
オーディオ I/F+録音	H6studioをオーディオインターフェースとして使用中に、H6studio本体で録音／再生ができます。 機能について詳しくは、「 オーディオインターフェースとして使用しながらH6studio本体にも録音する場合は 」を参照してください。
オーディオ I/Fのみ	H6studioをオーディオインターフェースとして使用中に、H6studio本体で録音／再生しません。

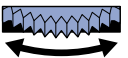
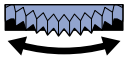
NOTE

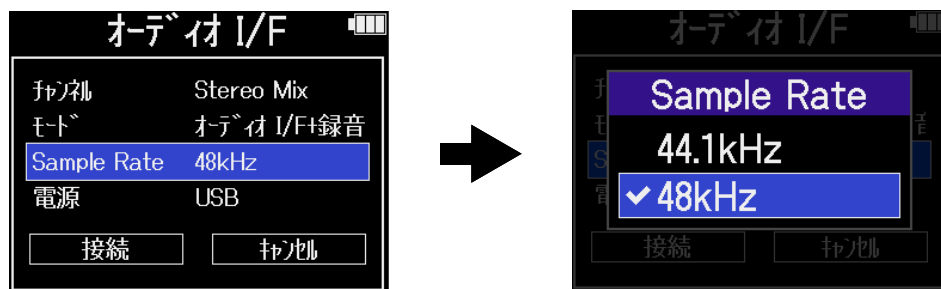
「オーディオ I/Fのみ」を選択した場合は、サンプルレートはパソコンまたはスマートフォン／タブレット側で設定でき、44.1 kHz、48 kHz、96 kHzから選択できます。

HINT

「オーディオ I/F+録音」ではH6studioのサンプルレート設定をパソコンまたはスマートフォン／タブレット側から変更できません。パソコンまたはスマートフォン／タブレット側からサンプルレートを指定する場合は「オーディオ I/Fのみ」を選択してください。

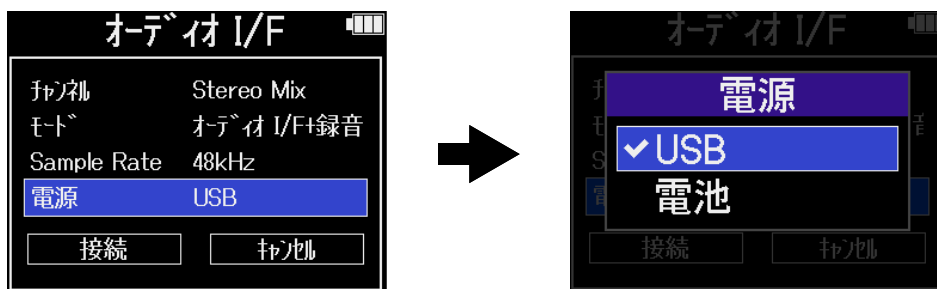
6. サンプルレートを選択する（「モード」を「オーディオ I/F+録音」にした場合）

 (セレクトダイヤル) で「Sample Rate」を選択して  (ENTERキー) を押し、 (セレクトダイヤル) でサンプルレートを選択して  (ENTERキー) を押します。



7. 電源を選択する

 (セレクトダイヤル) で「電源」を選択して  (ENTERキー) を押し、 (セレクトダイヤル) で電源を選択して  (ENTERキー) を押します。



設定値	説明
USB	USBバスパワーで電源が供給されます。
電池	本体の電池を使用します。

NOTE

- ・「USB」を選択するとパソコンからUSBケーブルを通して電源が供給されますが、パソコンのUSBバスパワー給電能力によっては、バスパワーで動作できない場合があります。その場合は「電池」を選択して電池で動作させて接続してください。
- ・「電池」を選択すると外部機器からの電源供給はせずにH6studioに入れた電池での駆動になります。

8. (セレクトダイヤル) で「接続」を選択して、 (ENTERキー) で決定する パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続します。



9. パソコンまたはスマートフォン／タブレットでアプリケーションを起動し、「オーディオ」または「入出力」デバイスとしてH6studioを選択する

NOTE

- ・パソコンの「サウンド」の設定でH6studioが選択できない場合も、32-bit float形式に対応しているアプリケーションの「オーディオ」または「入出力」デバイスとしてH6studioを選択することで32-bit float形式のオーディオインターフェースとして使用できます。
- ・アプリケーションの操作方法については、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

入力設定やモニター調整をする

H6studioをオーディオインターフェースとして使用する場合は、レコーダーとしての使用時と同様の入力設定やモニター調整ができます。

以下の参照先をご覧ください、入力設定やモニター調整を行なってください。

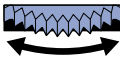
参照先	説明
「録音するトラックを有効にする」	入力をMIC（マイクカプセル）、INPUT 1/2/3/4の中から選択します。
「入力ゲインと全体の音量を調整する」	各トラックの  （GAINノブ）を用いて、入力ゲインと全体の音量バランスを調節します。
「マイクカプセルの入力をモノラルに変更する」	マイクカプセルの入力を1つにミックスしてモノラル音声として扱います。
「プラグインパワーを使用する」	プラグインパワーに対応しているマイクをMIC/LINE IN端子に接続する場合は、プラグインパワー設定をONにしてください。
「入力レベルを設定する（マイク/ライン）」	INPUT 1/2/3/4は、接続する機器に応じて入力レベルを設定できます。
「ファンタム電源を設定する」	INPUT 1/2/3/4はファンタム電源に対応し、+48 Vの電源を供給できます。ファンタム電源が必要なコンデンサーマイクを接続したときは、ファンタム設定をONにしてください。 各入力ごとにON/OFFできます。
「ノイズを軽減する（低域カット）」	低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。 各入力ごとに設定できます。
「Advanced Limiterを設定する」	各トラックに対してリミッターのON/OFFができます。
「ステレオリンクを設定する」	ステレオリンクすることにより、入力信号をステレオ音声として扱うこともできます。 ステレオ設定の場合は、INPUT 1(3)がLチャンネル、INPUT 2(4)がRチャンネルとなります。 MSステレオ設定の場合は、INPUT 1(3)がMid信号、INPUT 2(4)がSide信号となります。Midは正面中央の音を、Sideは左右の音をとらえ、サイドレベルを調節することによって、ステレオ幅を変更することができます。
「ゲインノブリンクを設定する」	マイクカプセルのLチャンネルとRチャンネル、または、INPUT 1(3)とINPUT 2(4)のゲインをリンクするかどうかを設定できます。
「入力音をモニターする」	ヘッドフォンなどを使用して入力音をモニターし、音量を調節します。

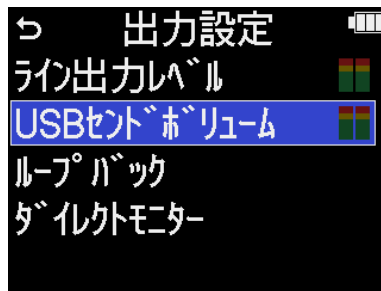
出力設定をする

USB出力レベルを調節する

パソコンやスマートフォン／タブレットに出力するUSB出力レベルを調節します。

1. オーディオインターフェースモード使用時のホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「OUTPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
出力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「USBセンドボリューム」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）でUSB出力レベルを調節して、（ENTERキー）を押す
出力レベルメーターを確認しながら調節することができます。



NOTE

ここでの設定は、録音される音声とヘッドフォン端子、LINE OUT端子から出力される音声のレベルには影響しません。

HINT

- ・「Mute」、または - 40 ～ +40の範囲で調節できます。
- ・「Mute」を選択した場合、USB端子からの出力はミュートされます。

ループバックを設定する

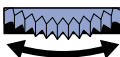
パソコンやスマートフォン／タブレットの再生音とH6studioへの入力音をミックスして、もう一度パソコンやスマートフォン／タブレットに送る（ループバック）ことができます。

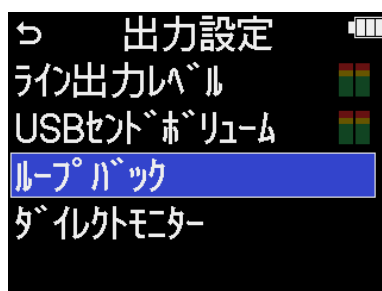
パソコンで再生した音楽にナレーションをつけてパソコンで録音したり、ストリーム配信することができます。

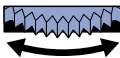
1. オーディオインターフェースモード使用時のホーム画面で、（セレクトダイヤル）

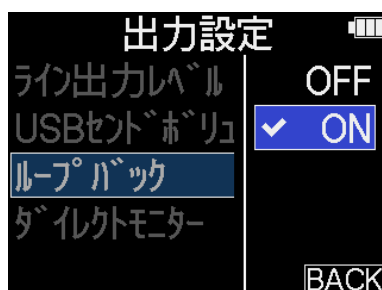
で  「OUTPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す

出力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ループバック」を選択して、（ENTERキー）を押す

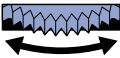


3. （セレクトダイヤル）で「ON」または「OFF」を選択して、（ENTERキー）を押す
「ON」を選択すると、ループバック機能がONになります。

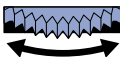


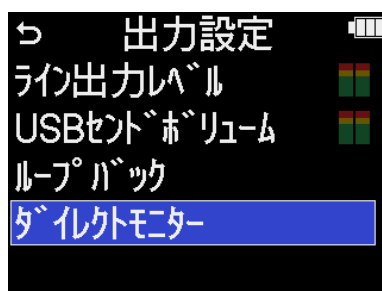
ダイレクトモニターを設定する

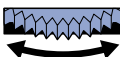
H6studioの入力音をパソコンやスマートフォン／タブレットを経由せずに、H6studioから出力します。これにより遅延のないモニタリングが可能です（ダイレクトモニター機能）。

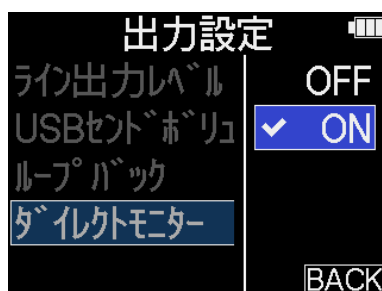
1. オーディオインターフェースモード使用時のホーム画面で、（セレクトダイヤル）で

 「OUTPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
出力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ダイレクトモニター」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「ON」または「OFF」を選択して、（ENTERキー）を押す
「ON」を選択すると、ダイレクトモニター機能がONになります。



オーディオインターフェースとして使用しながらH6studio本体にも録音する場合は

「[パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する](#)」でモードを「オーディオ I/F+録音」に設定すると、オーディオインターフェースとして使用しながらH6studio本体にも録音することができます。その場合は、レコーダーとしての使用時と同様の録音設定ができます。以下の参照先をご覧ください。

参照先	説明
「 RECモードを設定する 」	録音するファイルを16/24-bit Fixedまたは32-bit Float から選択できます。
「 ミックスファイルの録音設定をする 」	SDカードの容量節約のためにステレオミックスしたファイルの録音を無効にすることもできます。
「 ミックスファイルのAdvanced Limiterの設定をする 」	ミックスファイルに対してリミッターのON/OFFができます。
「 時間をさかのぼって録音する（プリ録音） 」	入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、  （RECキー）操作によって録音開始した時点から最大6秒までさかのぼって録音（プリ録音）ができます。
「 録音開始トーンを有効にする 」	録音開始時に、出力端子（ヘッドフォン端子およびLINE OUT端子）から0.5秒間のトーン信号（録音開始トーン）を鳴らすことができます。
「 録音ファイル名の形式を設定する 」	録音ファイル名の形式をZOOM****またはYYMMDD_HHMMSSから選択できます。
「 録音ファイルにメタデータ（iXML チャンク）を書き込む 」	さまざまな関連情報（メタデータ）が記録されるiXMLチャンクを、録音するファイルに書き込むことができます。

NOTE

「[パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する](#)」でモードを「オーディオ I/F+録音」に設定中は下記の設定を変更できません。

- H6studio本体のサンプルレート
- RECモードが「16/24bit Fixed」のときのH6studio本体のビット深度

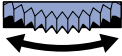
サンプルレートを変更する場合はパソコンまたはスマートフォン／タブレットとの接続を解除し、「[パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する](#)」の手順6で変更してください。

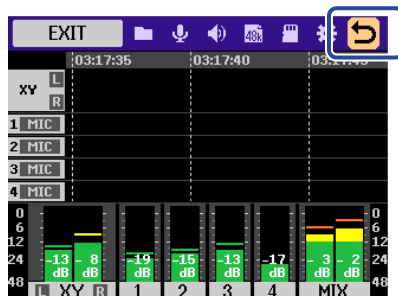
ビット深度を変更する場合は、パソコンまたはスマートフォン／タブレットとの接続を解除してから変更してください。（→[ビット深度を設定する](#)）

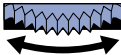
HINT

（PLAY/PAUSEキー）を押すと、[再生画面](#)を表示し録音したファイルの再生ができます。（→[再生する](#)）

パソコンまたはスマートフォン／タブレットとの接続を解除する

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「EXIT」を選択して、（ENTERキー）を押す



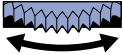
2. （セレクトダイヤル）で「終了」を選択して、（ENTERキー）を押す

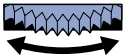


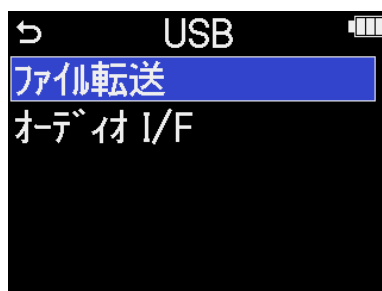
パソコンなどにファイルを転送する

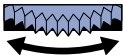
H6studioをパソコンまたはスマートフォン／タブレットに接続して、microSDカード内のファイルの確認や移動ができます。

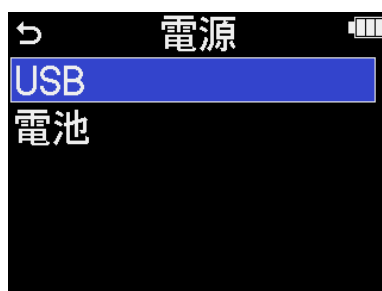
パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続する

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「USB」を選択して、（ENTERキー）を押す
USB画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ファイル転送」を選択して、（ENTERキー）で決定する

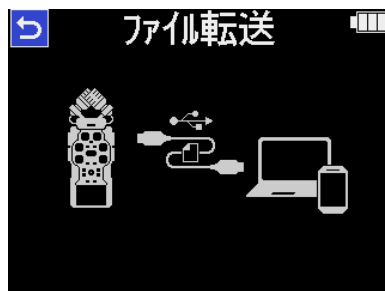


3. （セレクトダイヤル）で電源を選択して、（ENTERキー）で決定する



設定値	説明
USB	USBバスパワーで電源が供給されます。
電池	本体の電池を使用します。

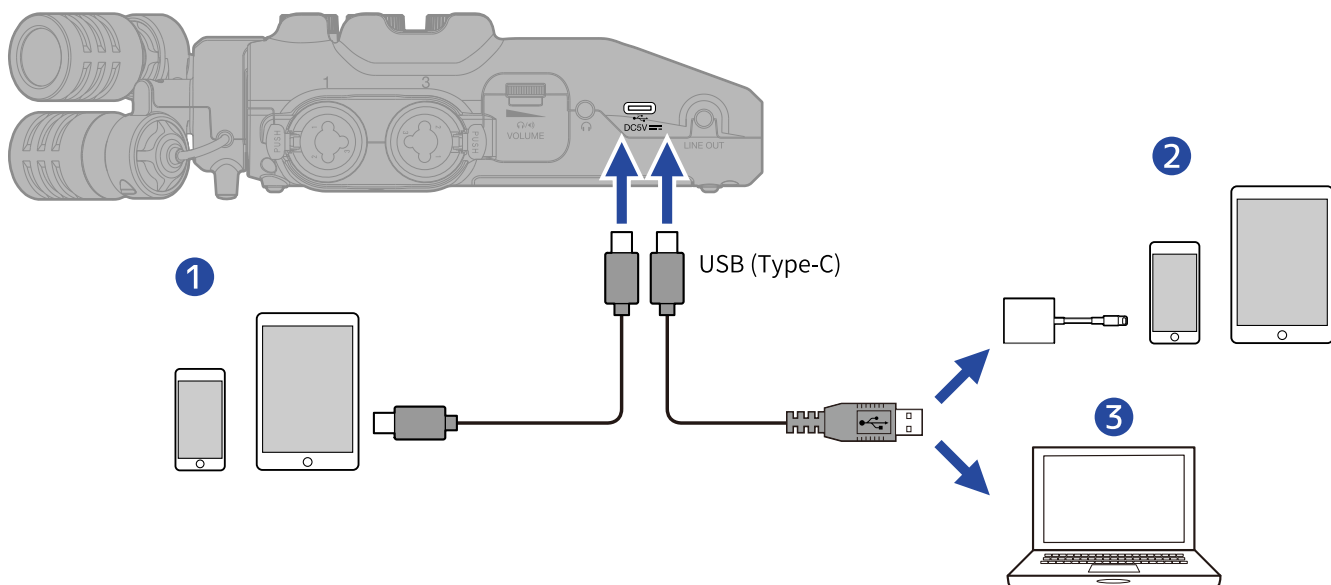
ファイル転送画面が表示されます。



NOTE

- 「USB」を選択するとパソコンからUSBケーブルを通して電源が供給されますが、パソコンのUSBバスパワー給電能力によっては、バスパワーで動作できない場合があります。その場合は「電池」を選択して電池で動作させて接続してください。
- 「電池」を選択すると外部機器からの電源供給はせずにH6studioに入れた電池での駆動になります。

4. H6studioとパソコンまたはスマートフォン／タブレットをUSB ケーブル（Type-C）で接続する



- ① スマートフォン／タブレット（USB Type-C）
- ② iPhone/iPad（Lightning）
- ③ パソコン（Windows/Mac）

NOTE

- データ転送に対応したUSBケーブルをご使用ください。
- Lightning コネクタを搭載したiPhone/iPadと接続するには、Lightning - USB 3カメラアダプタが必要です。

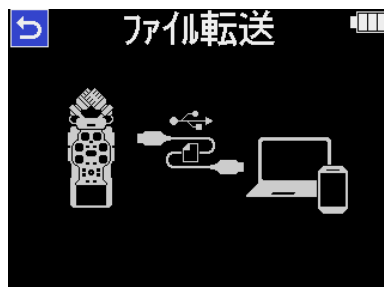
5. パソコンまたはスマートフォン／タブレットでmicroSDカードに保存されているファイル进行操作する

パソコンまたはスマートフォン／タブレットとの接続を解除する

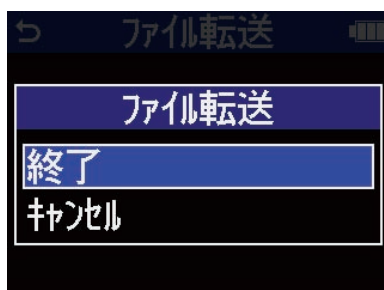
1. パソコンまたはスマートフォン／タブレット側で接続を解除する

- Windows の場合：
「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」でH6studioを選択する
- macOS の場合：
H6studioのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする
- スマートフォン／タブレットの場合：
各機器の取扱説明書を参照してください。

2. (ENTERキー) を押す



3. (セレクトダイヤル) で「終了」を選択して、 (ENTERキー) で決定する

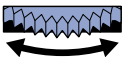


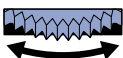
[ホーム画面](#) に戻ります。

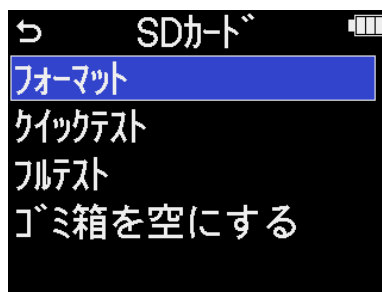
microSDカードを管理する

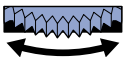
microSDカードを初期化する

microSDカードの性能を最大限に発揮させるため、H6studio用に初期化します。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SDカード」を選択して、（ENTERキー）を押す
SDカード画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「フォーマット」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す



microSDカードが初期化されます。

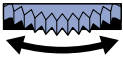
NOTE

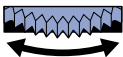
- （RECキー）を押しながら電源を入れることで、microSDカードを初期化する画面を表示することもできます。
- microSDカードを初期化すると、全てのデータが消去されますので、ご注意ください。

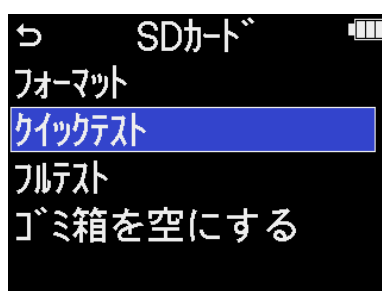
microSDカードをテストする

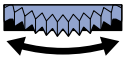
microSDカードの書き込み速度が、H6studioで録音したデータを保存するのに問題ない性能かテストします。短時間で行うクイックテストと、microSDカードの全領域を検査するフルテストがあります。

クイックテストを行う

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SDカード」を選択して、（ENTERキー）を押す
SDカード画面が表示されます。

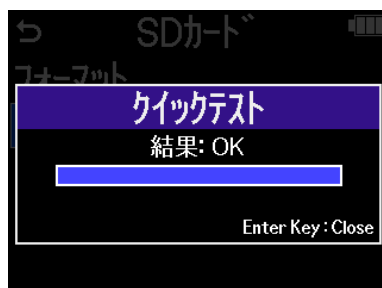
2. （セレクトダイヤル）で「クイックテスト」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す
カードの性能テストが始まります。



テストが終了すると、判定結果が表示されます。



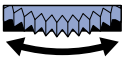
NOTE

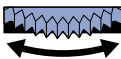
性能テスト判定が「OK」になっても書き込み不良が起きないことを保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

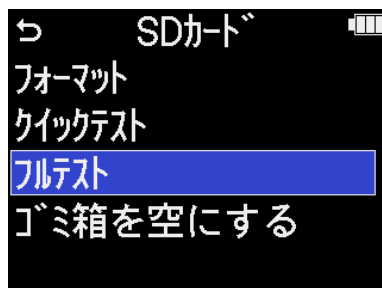
HINT

テストの途中、 (ENTERキー) を押してテストを中止することができます。

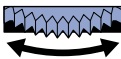
フルテストを行う

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SDカード」を選択して、（ENTERキー）を押す
SDカード画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「フルテスト」を選択して、（ENTERキー）を押す

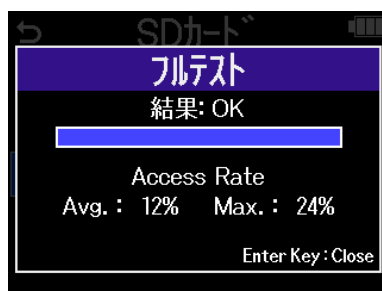


フルテストに必要な所要時間が表示されます。

3. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す
カードの性能テストが始まります。



テストが終了すると、判定結果が表示されます。
アクセスレートMAXが100%になるとNGになります。



NOTE

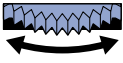
性能テスト判定が「OK」になっても書き込み不良が起きないことを保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

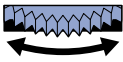
HINT

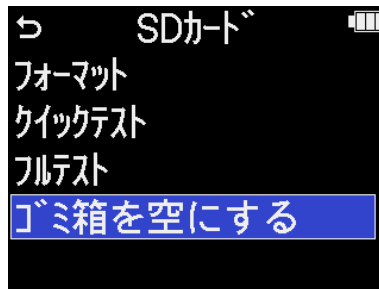
テストの途中、（ENTERキー）を押してテストを中止することができます。

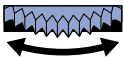
ゴミ箱（TRASHフォルダー）のファイルを削除する

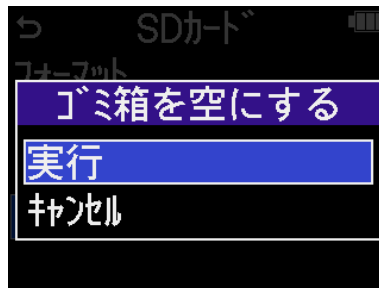
ゴミ箱に移動したファイルを削除してゴミ箱を空にし、SDカードの空き容量を増やすことができます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SDカード」を選択して、（ENTERキー）を押す
SDカード画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ゴミ箱を空にする」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す



ゴミ箱内のファイルがすべて削除されます。

NOTE

この操作は取り消すことができません。慎重に行ってください。

タイムコードを使う

タイムコードについて

ATOMOS社／Timecode Systems社のUltraSync BLUEを使用することで、H6studioにSMPTEタイムコードを入力できます。

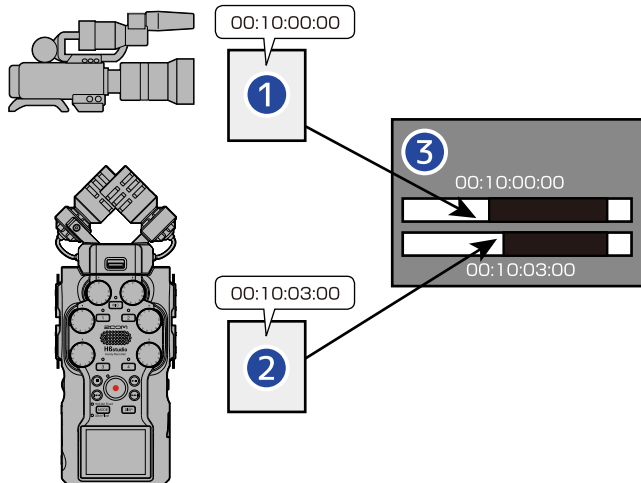
タイムコードとは、映像や音声を記録するとき、そのデータに書き込まれる時間情報です。ビデオ編集や周辺機器の制御、映像と音声の同期などの目的に使用します。

NOTE

- オーディオインターフェース動作時（→[オーディオインターフェースとして使用する](#)）はATOMOS社／Timecode Systems社のUltraSync BLUEを使用できません。
- H6studioは「ZOOM Handy Control & Sync」とUltraSync BLUEを同時に接続することはできません。

タイムコードを使用した編集

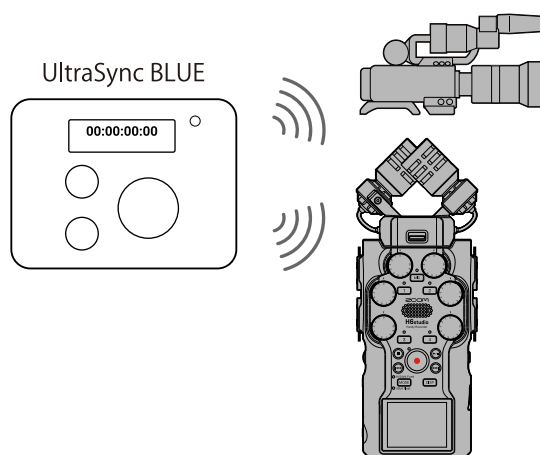
映像データ、音声データ共にタイムコードが記録されていると、ノンリニア編集ソフトウェアで編集する際に、時間軸上の配置とお互いの同期が容易になります。



- ① タイムコードが記録された映像ファイル
- ② タイムコードが記録された音声ファイル
- ③ ノンリニア編集ソフトウェア

タイムコードを入力する

ATOMOS社／Timecode Systems社のUltraSync BLUEでタイムコードを発信し、H6studioとビデオカメラの両方でタイムコードを受信することによって、音声データと映像データにそれぞれタイムコードを記録します。タイムコードはBluetooth経由で送受信されます。

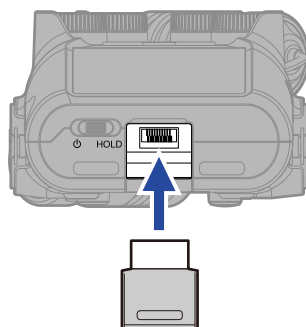


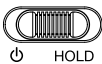
UltraSync BLUEと接続する

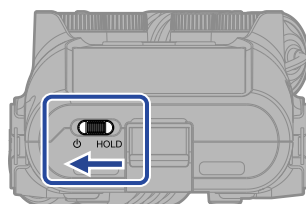
H6studioをUltraSync BLUEに接続すると、UltraSync BLUEからタイムコードを受信し、録音ファイルに記録します。

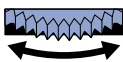
UltraSync BLUEを接続するには、専用無線アダプター（BTA-1 など）をH6studioに接続し、UltraSync BLUEとH6studioをペアリングする必要があります。

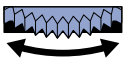
1. H6studioの電源をOFFにした状態で底面のREMOTE端子のカバーを外し、専用無線アダプター（BTA-1 など）を接続する

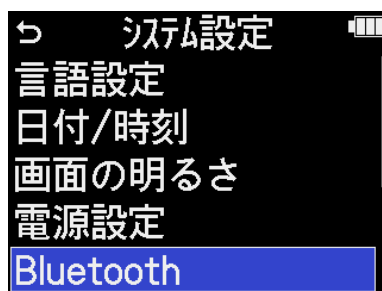


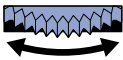
2. ディスプレイに表示が出るまで、（電源／HOLDスイッチ）を「」側（INPUT 1/INPUT 3端子側）にスライドして、電源を入れる

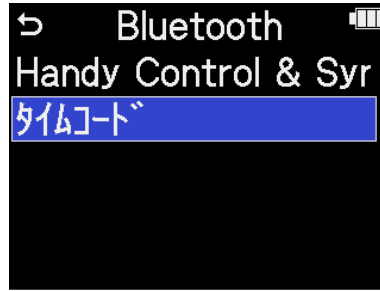


3. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

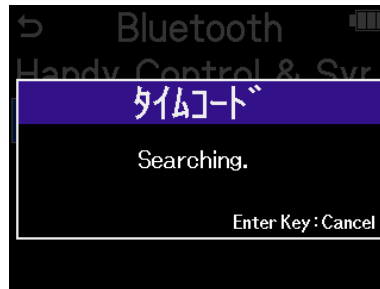
4. （セレクトダイヤル）で「Bluetooth」を選択して、（ENTERキー）を押す



5.  (セレクトダイヤル) で「タイムコード」を選択して、 (ENTERキー) を押す

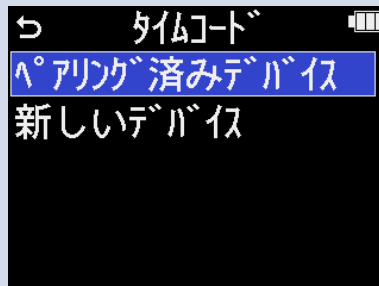


「Searching...」と表示され、接続機器の検索を開始します。



NOTE

H6studioとUltraSync BLUEを接続したことがある場合は、以下の画面が表示されますので、どちらかを選択します。



設定値	説明
ペアリング済みデバイス	前回接続したUltraSync BLUEと接続する場合に選択します。 この場合手順6のUltraSync BLUE側の操作は不要となり、UltraSync BLUEと接続されます。
新しいデバイス	前回接続したものと異なるUltraSync BLUEと接続する場合に選択します。 新しいデバイスを選択すると、ペアリング済みデバイスの情報は消去されます。手順6に進んでください。

HINT

 (ENTERキー) を押すことで、検索を中断することができます。

6. UltraSync BLUEを操作して、接続機器としてH6studioを選択するペアリングを開始します。

ペアリングが完了すると、H6studioのディスプレイに「タイムコード機器と接続しました」と表示されます。

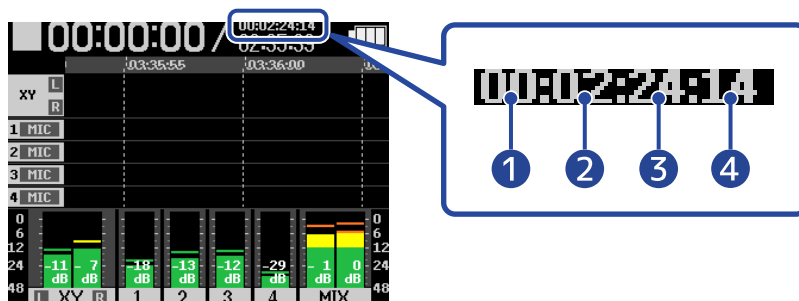


HINT

- 接続機器の選択方法については、UltraSync BLUEの取扱説明書を参照してください。
- 通信を安定させるには、H6studioとUltraSync BLUEをできるだけ近づけてください。
- 録音中にUltraSync BLUEとの通信が遮断された場合、以降の録音ではタイムコード情報は記録されません。
- 前回UltraSync BLUEと通信していた場合は、手順2の後、前回通信していたUltraSync BLUEと自動的に接続します。

タイムコード情報を確認する

UltraSync BLUEからタイムコード受信している間は、[ホーム画面](#)でタイムコード情報を確認できます。タイムコードは[ホーム画面](#)の録音可能時間表示の上に「時、分、秒、フレーム」で表示されます。



- ① 時
- ② 分
- ③ 秒
- ④ フレーム

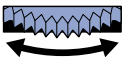
UltraSync BLUEと接続を解除する

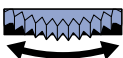
H6studioからBTA-1を外すと、H6studioとUltraSync BLUEとの接続を解除し、タイムコードの記録を停止します。接続を解除した場合も、ペアリング情報の記録は残ります。

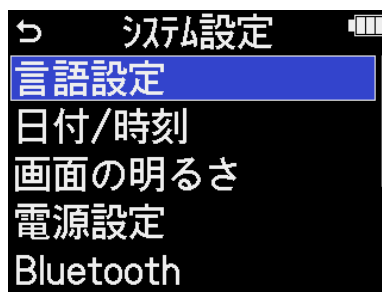
各種設定を行う

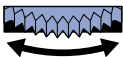
表示言語を設定する

H6studioの画面で表示される言語を変更することができます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「言語設定」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で表示したい言語を選択して、（ENTERキー）を押す

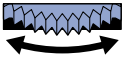


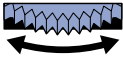
HINT

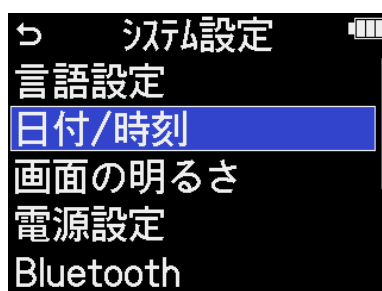
ご購入後や出荷時の状態に戻した後にはじめて電源をONにした場合は、ガイド音の設定後にこの画面が自動的に表示されます。

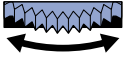
日時を設定する

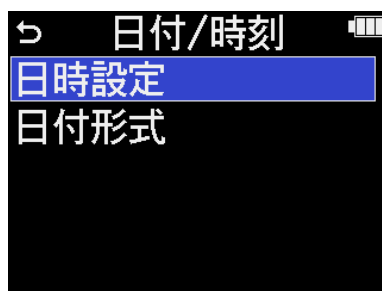
録音ファイルに記録される日時を設定します。

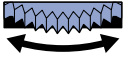
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「日付／時刻」を選択して、（ENTERキー）を押す

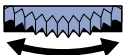


3. （セレクトダイヤル）で「日時設定」を選択して、（ENTERキー）を押す



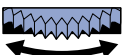
4. （セレクトダイヤル）で設定したい項目を選択して、（ENTERキー）を押す



5.  (セレクトダイヤル) で数値を変更して、 (ENTERキー) を押す



6. 手順4、5を繰り返して、日時を設定する

7. すべての項目を設定したら、 (セレクトダイヤル) で **OK** を選択して、 (ENTERキー) を押す

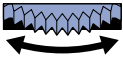


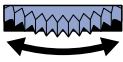
HINT

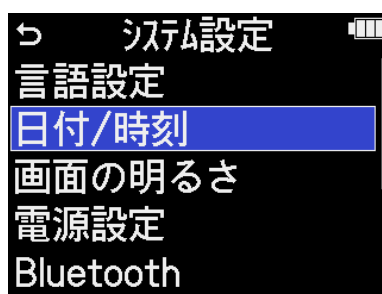
ご購入後や出荷時の状態に戻した後にはじめて電源をONにした場合は、日付形式の設定後にこの画面が自動的に表示されます。

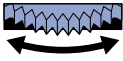
日付形式を設定する

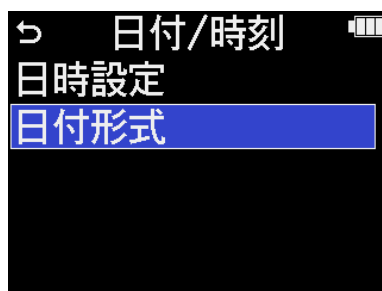
録音ファイルに記録される日付形式を変更します。

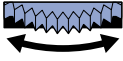
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「日付／時刻」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「日付形式」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）で日付形式を選択して、（ENTERキー）を押す
設定される日付形式の具体例が、現在の日付設定で画面右下に表示されます。



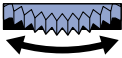
設定値	説明
YYMMDD	年、月、日の順で表示します。
MMDDYY	月、日、年の順で表示します。
DDMMYY	日、月、年の順で表示します。

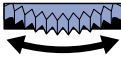
HINT

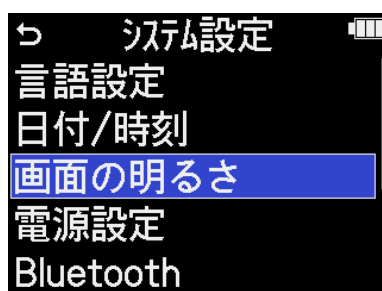
ご購入後や出荷時の状態に戻した後にはじめて電源をONにした場合は、表示言語の設定後にこの画面が自動的に表示されます。

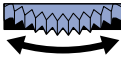
ディスプレイの明るさを設定する

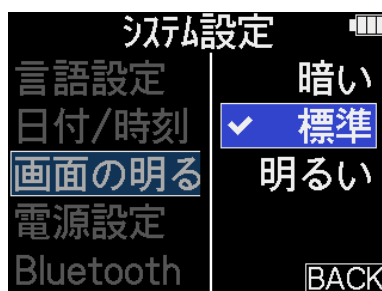
ディスプレイの表示が薄い場合や濃すぎて見づらい場合は、明るさ（輝度）を調節します。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「画面の明るさ」を選択して、（ENTERキー）を押す



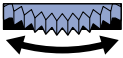
3. （セレクトダイヤル）でディスプレイの輝度を設定して、（ENTERキー）を押す

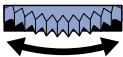


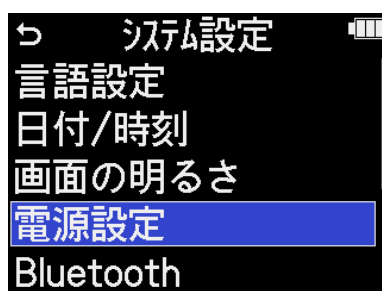
設定値	説明
暗い	ディスプレイがより暗く点灯します。
標準	標準の明るさでディスプレイが点灯します。
明るい	ディスプレイがより明るく点灯します。

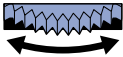
電池の種類を選択する

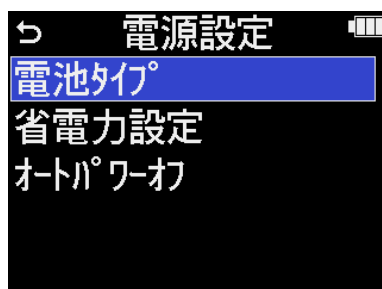
ディスプレイに電池残量を正確に表示するために、H6studioで使用する電池の種類を正しく選択します。

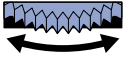
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

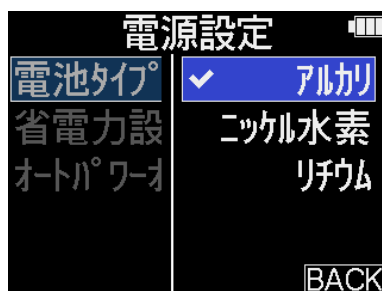
2. （セレクトダイヤル）で「電源設定」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「電池タイプ」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）で電池の種類を選択して、（ENTERキー）を押す



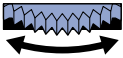
設定値	説明
アルカリ	アルカリ乾電池
ニッケル水素	ニッケル水素蓄電池
リチウム	リチウム乾電池

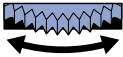
HINT

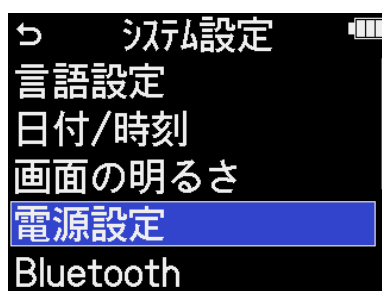
ご購入後や出荷時の状態に戻した後にはじめて電源をONにした場合は、日時設定後に電池の種類の設定が表示されます。

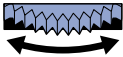
ディスプレイの省電力設定をする

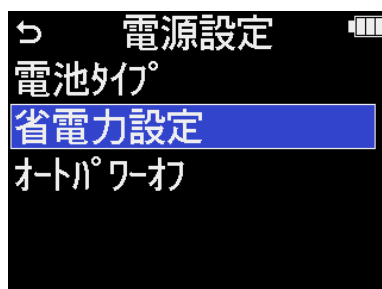
省電力のため、一定時間何も操作をしないとディスプレイのバックライトが暗くなるように設定できます。

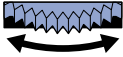
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

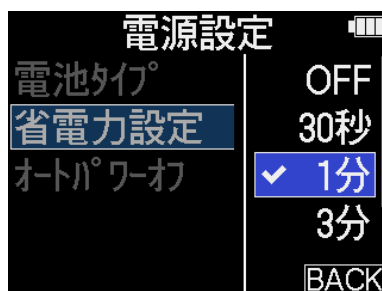
2. （セレクトダイヤル）で「電源設定」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「省電力設定」を選択して、（ENTERキー）を押す



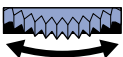
4. （セレクトダイヤル）で項目を選択して、（ENTERキー）を押す

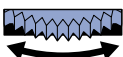


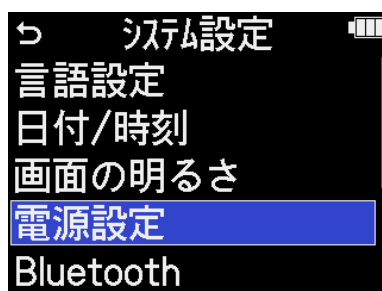
設定値	説明
OFF	ディスプレイのバックライトは常に明るく点灯します。
30秒、1分、3分、5分	無操作のまま設定した時間が経過すると、ディスプレイのバックライトが暗くなります。

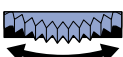
電源を自動でOFFする時間を設定する

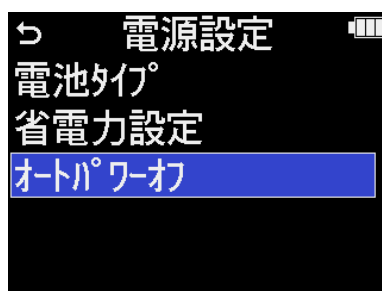
H6studioは操作をしない状態で一定時間が経過すると自動的に電源が切れるよう設定できます。
常に電源をONにしたい場合は、オートパワーオフの設定をOFFにしてください。

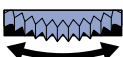
1. ホーム画面、で  (セレクトダイヤル) で  「SYSTEM」を選択して、 (ENTERキー) を押す
システム設定画面が表示されます。

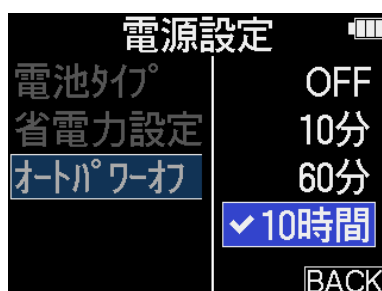
2.  (セレクトダイヤル) で「電源設定」を選択して、 (ENTERキー) を押す



3.  (セレクトダイヤル) で「オートパワーオフ」を選択して、 (ENTERキー) を押す



4.  (セレクトダイヤル) で電源が切れるまでの時間を選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
OFF	電源が自動的に切れません。
10分、60分、10時間	操作をしない状態で設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

NOTE

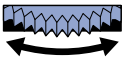
以下の場合、オートパワーオフの設定に関わらず自動的に電源は切れません。

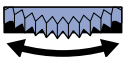
- 録音／再生中
- H6studioをオーディオインターフェースとして使用中
- H6studioのファイル転送機能を使用中
- カードテストの実行中
- ファームウェアアップデートの実行中

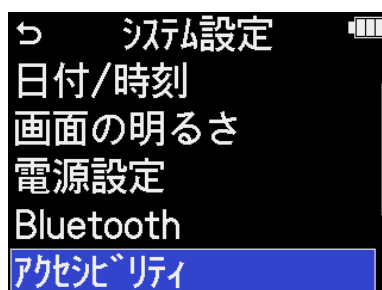
ガイド音（アクセシビリティ）

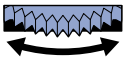
ガイド音を設定する（アクセシビリティ）

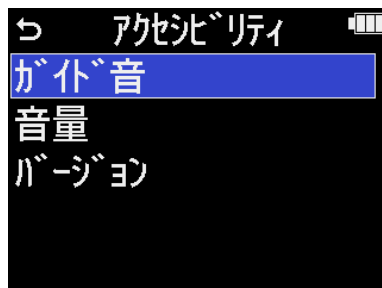
ディスプレイで選択中の設定項目名を音声で読み上げたり、エラーメッセージや録音開始／停止、音量変更などを知らせるビープ音を鳴らすことができます。

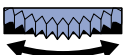
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

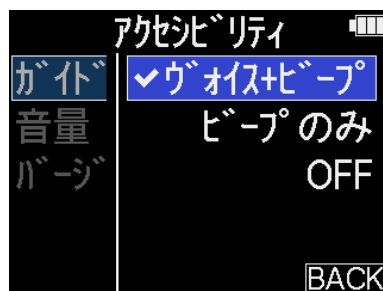
2. （セレクトダイヤル）で「アクセシビリティ」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「ガイド音」を選択して、（ENTERキー）を押す



4.  (セレクトダイヤル) で設定項目を選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
ヴォイス+ビープ	インストールした言語で設定項目を音声で読み上げ、エラーメッセージや録音開始／停止、音量変更などを知らせるビープ音を鳴らします。お買い上げ時は英語がインストールされていますが、お好みの言語をインストールして読み上げることができます。(→ ガイド音をインストールする)
ビープのみ	エラーメッセージや録音開始／停止、音量変更などを知らせるビープ音を鳴らします。音声読み上げは行いません。
OFF	ガイド音をOFFにします。

NOTE

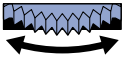
- 読み上げ音声やビープ音の音量を調節することもできます。(→[ガイド音の音量を設定する](#))
- ガイド音として使用している言語やバージョンは、バージョン画面で確認できます。(→[ガイド音の情報を確認する](#))

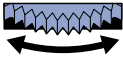
HINT

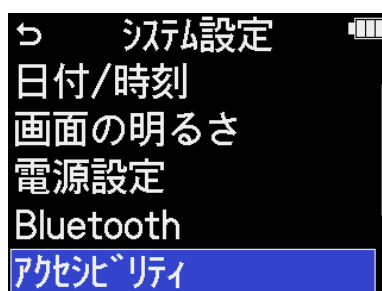
- ご購入後はじめて電源をONにした場合は、この画面が自動的に表示されます。
- [ホーム画面](#)で  (ENTERキー) を長押しすることで、ガイド音を即座にON/OFFすることもできます。(→[ガイド音をショートカット操作でON/OFFする](#))

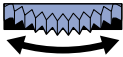
ガイド音の音量を設定する

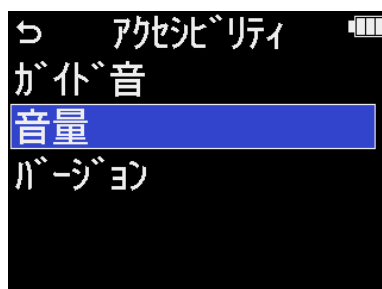
読み上げ音声やピープ音の音量を調節できます。

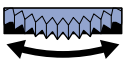
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

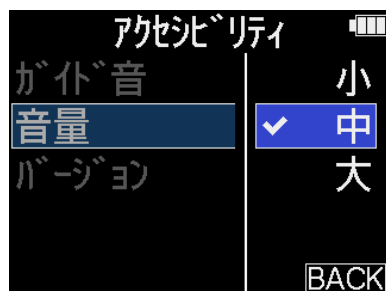
2. （セレクトダイヤル）で「アクセシビリティ」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「音量」を選択して、（ENTERキー）を押す

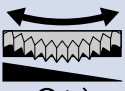


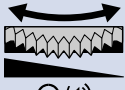
4.  (セレクトダイヤル) で音量を選択して、 (ENTERキー) を押す



音量は小／中／大から選択できます。

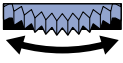
NOTE

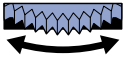
ここで決めた音量は最終的に  (VOLUMEダイヤル) で調節されたものが反映されて出力されます。

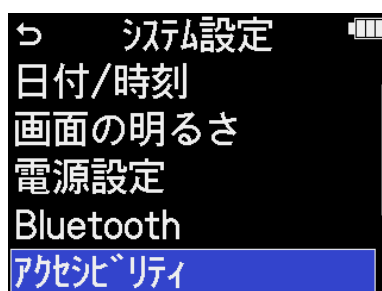
す。  (VOLUMEダイヤル) で調整した音量も考慮して設定してください。

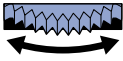
ガイド音の情報を確認する

アクセシビリティのガイド音として使用している言語やバージョンを確認することができます。

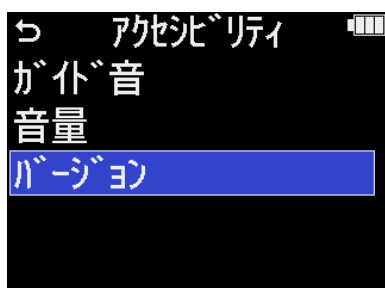
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「アクセシビリティ」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「バージョン」を選択して、（ENTERキー）を押す

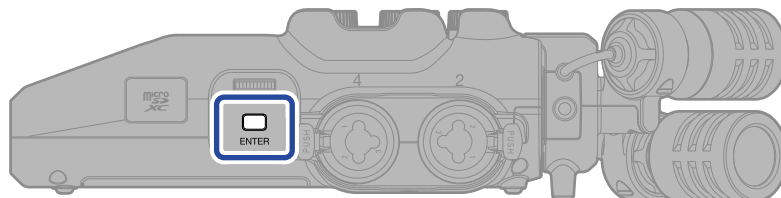
バージョン画面が表示され、アクセシビリティのガイド音として使用している言語やバージョンを確認することができます。



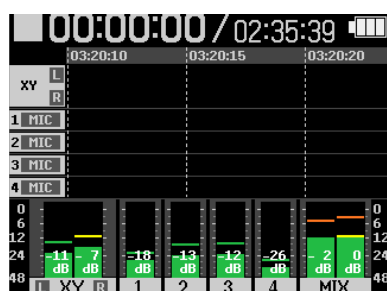
ガイド音をショートカット操作でON/OFFする

使用場面に応じて、ガイド音を即座にON/OFFできる機能です。

1. ホーム画面で、 (ENTERキー) を長押しする



ガイド音がONまたはOFFになります。



ホーム画面



切り替えを知らせるメッセージを表示します（ガイド音でも通知します）。

ガイド音をインストールする

お買い上げ時はガイド音の言語が英語になっております。

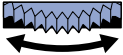
ガイド音をインストールすることで、言語の変更、アップデートを行うことができます。

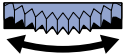
ガイド音のインストールに必要な最新のアクセシビリティインストール用ファイルは ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/h6studio) からダウンロードできます。

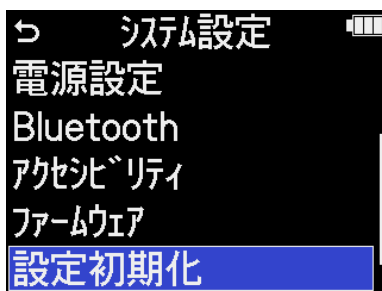
H6studio のダウンロードページにある「H6studio アクセシビリティ・インストールガイド」に従ってください。

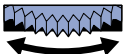
工場出荷時の状態に戻す

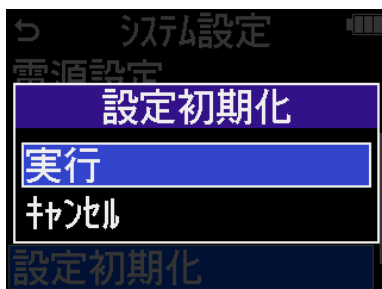
H6studioの設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「設定初期化」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「実行」を選択して、（ENTERキー）を押す



H6studioが工場出荷時の状態となり電源がOFFになります。

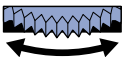
NOTE

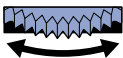
設定初期化を実行すると、すべての設定が工場出荷時の設定に書き換えられます。この操作は慎重に行ってください。

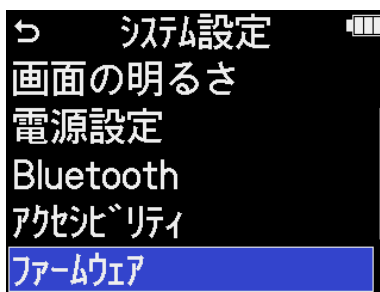
ファームウェアを管理する

ファームウェアのバージョンを確認する

H6studioのファームウェアのバージョンを確認することができます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「ファームウェア」を選択して、（ENTERキー）を押す



ファームウェアのバージョンが表示されます。



ファームウェアをアップデートする

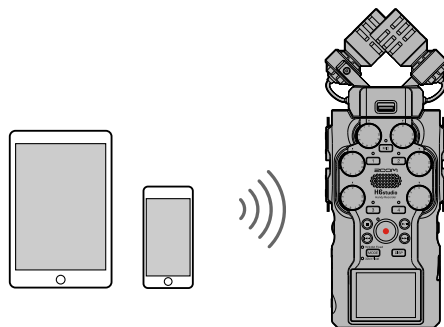
H6studioのファームウェアを、最新のバージョンにアップデートできます。

最新のファームウェアアップデート用ファイルは ZOOMのWeb サイト (zoomcorp.com/help/h6studio) からダウンロードできます。

H6studioのダウンロードページにある「H6studio ファームウェア・アップデートガイド」に従ってください。

スマートフォン／タブレットからH6studioを操作する

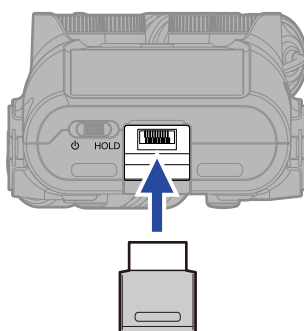
専用無線アダプター（BTA-1 など）を接続すると、専用のコントローラーアプリケーション「ZOOM Handy Control & Sync」を使用して、スマートフォン／タブレットからH6studioをワイヤレスで操作できます。

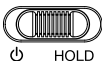


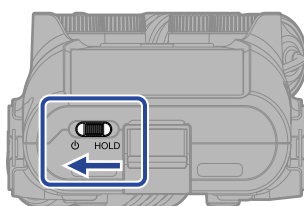
NOTE

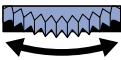
- あらかじめ専用アプリ「ZOOM Handy Control & Sync」をスマートフォン／タブレットにインストールしておく必要があります。専用アプリ「ZOOM Handy Control & Sync」はApp Storeからダウンロードできます。アプリでの設定や操作の方法については、専用アプリ「ZOOM Handy Control & Sync」の取扱説明書を参照してください。
- オーディオインターフェース動作時（→[オーディオインターフェースとして使用する](#)）はスマートフォン／タブレットからH6studioをワイヤレスで操作できません。
- H6studioは「ZOOM Handy Control & Sync」とUltraSync BLUEを同時に接続することはできません。

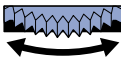
1. H6studioの電源をOFFにした状態で底面のREMOTE端子のカバーを外し、専用無線アダプター（BTA-1 など）を接続する

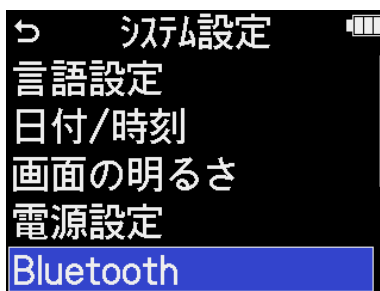


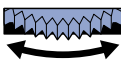
2. ディスプレイに表示が出るまで、（電源／HOLDスイッチ）を「」側（INPUT 1/INPUT 3端子側）にスライドして、電源を入れる

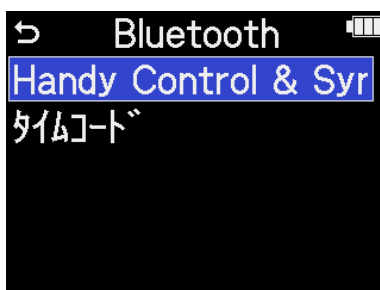


3. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で「SYSTEM」を選択して、 (ENTERキー) を押す
システム設定画面が表示されます。

4.  (セレクトダイヤル) で「Bluetooth」を選択して、 (ENTERキー) を押す



5.  (セレクトダイヤル) で「Handy Control & Sync」を選択して、 (ENTERキー) を押す



「Searching...」と表示され、接続機器の検索を開始します。



HINT



(ENTERキー) を押すことで、検索を中断することができます。

6. スマートフォン／タブレットで専用アプリ「ZOOM Handy Control & Sync」を起動し、アプリで接続操作を行う
接続が完了すると、「Handy Control & Syncと接続しました」と表示されます。



アプリでの設定や操作の方法については、専用アプリ「ZOOM Handy Control & Sync」の取扱説明書を参照してください。

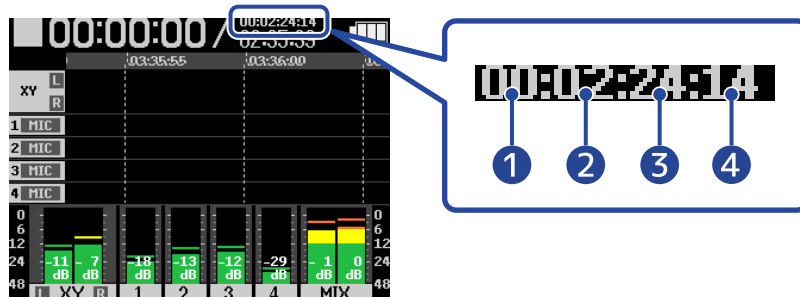
HINT

前回ZOOM Handy Control & Syncと接続していた場合は、手順2の後、自動的に接続機器の検索を開始します。

タイムコード情報を確認する

スマートフォン/タブレットからタイムコード受信している間は、[ホーム画面](#)でタイムコード情報を確認できます。

タイムコードは[ホーム画面](#)の録音可能時間表示の上に「時、分、秒、フレーム」で表示されます。



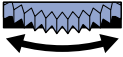
- ① 時
- ② 分
- ③ 秒
- ④ フレーム

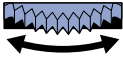
スマートフォン／タブレットと接続を解除する

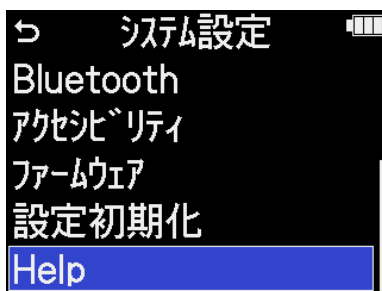
スマートフォン／タブレットでアプリを終了することで、接続解除を行うことができます。
H6studioからBTA-1を外すことで、H6studioと「ZOOM Handy Control & Sync」との接続を解除することもできます。

H6studioの最新情報を確認する

H6studioのディスプレイ上に、製品に関するヘルプの2次元コードを表示することができます。

1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「SYSTEM」を選択して、（ENTERキー）を押す
システム設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で「Help」を選択して、（ENTERキー）を押す



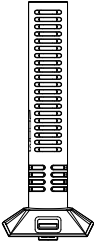
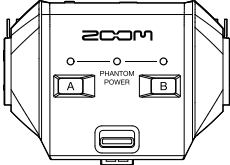
3. Help画面上に表示された2次元コードをスマートフォン／タブレットなどで読み取る



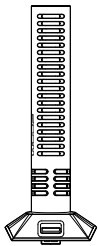
zoomcorp.com/help/h6studio

オプションマイクカプセルを使用する

H6studioはシーンに応じて付属のマイクを別売りのマイクカプセルへ交換することができます。
オプションのマイクカプセル使用時には基本的に付属のマイクカプセル使用時と表示・操作に変更はありませんが、マイクカプセルごとに固有の設定を変更することができます。
H6studioに対応しているオプションのマイクカプセルは以下の通りです。

マイクカプセル		説明
	SSH-6e Shotgun Mic Capsule	32-bit float録音に対応したMid-Sideステレオショットガンマイク
	EXH-6e External Input	32-bit float録音に対応した2-ch XLR/TRSインプット

SSH-6eを使用する



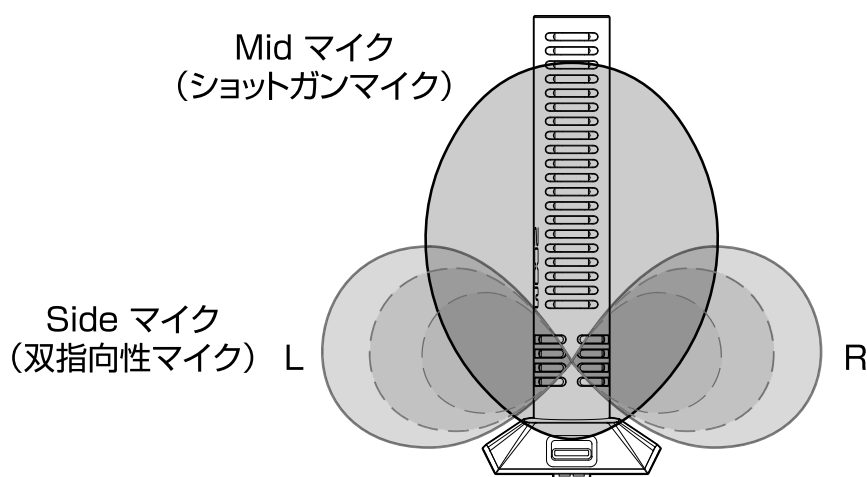
SSH-6eはセンターの音を拾う超指向性のショットガンマイク（Mid）と、左右の音を拾う双指向性マイク（Side）を組み合わせたMSステレオマイクカプセルです。MSサイドレベルを調節することで、左右の音の広がりを自在に変えることができます。

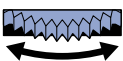
NOTE
SSH-6eの詳細については、SSH-6eのマニュアルを参照してください。
SSH-6eのマニュアルはZOOMのWebサイト（zoomcorp.com/help/ssh-6e）からダウンロードできます。

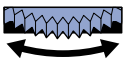
SSH-6eのモードを設定する

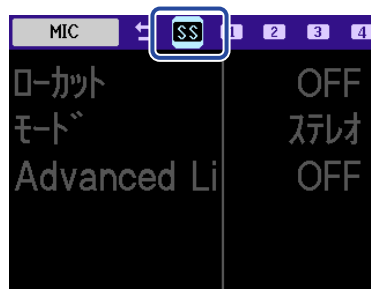
SSH-6eを使用するモードを設定します。

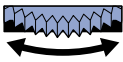
モードを設定することでSSH-6eは超指向性モノラルから、通常は別のマイクを準備する必要があるステレオまで、幅広い録音スタイルに対応できます。



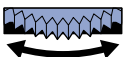
1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

2.  (セレクトダイヤル) で  「MIC」を選択して、 (ENTERキー) を押す



3.  (セレクトダイヤル) で「モード」を選択して、 (ENTERキー) を押す



4.  (セレクトダイヤル) で使用するモードを選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
モノ	SideマイクをOFFにし、モノラルショットガンマイクとして使用します。狙った音のみを録りたいシチュエーションに適しています。
ステレオ	MidマイクとSideマイクを使用して、指向性を持ちつつ左右の広がりを残すステレオショットガンマイクとして使用します。周囲の環境音も合わせて録りたいシチュエーションに適しています。
MS Raw	ステレオファイルのLchにMidマイクの信号、RchにSideマイクの信号を録音します。録音後のポストプロダクションにてサイドレベルを変更する場合に便利な機能です。

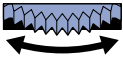
HINT

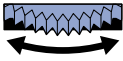
Mid、SideのバランスはMIC GAINノブで調節してください。

左側のMIC GAINノブでMid、右側のMIC GAINノブでSideを調節できます。

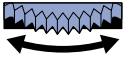
SSH-6eのノイズを軽減する（低域カット）

低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。

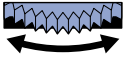
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で  「MIC」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「ローカット」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）でカットする周波数を選択して、（ENTERキー）を押す

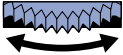


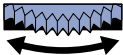
ローカットはOFF／80 Hz／160 Hz／240 Hzの内から選択して設定できます。

SSH-6eのAdvanced Limiterを設定する

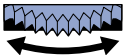
MICトラックに対してリミッターのON/OFFができます。

H6studioでは最大レベルを先読みすることで歪まないように最適化されたリミッターを設定できます。

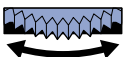
1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

2.  (セレクトダイヤル) で  「MIC」を選択して、 (ENTERキー) を押す

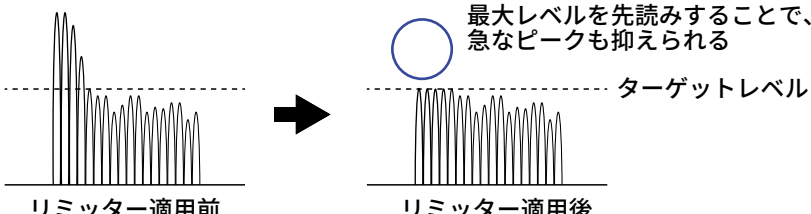


3.  (セレクトダイヤル) で「Advanced Limiter」を選択して、 (ENTERキー) を押す



4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す

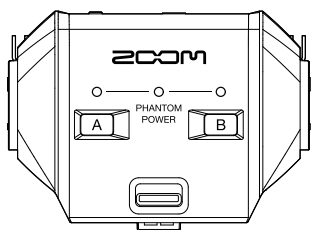


設定値	説明
OFF	リミッターがかかりません。
ON	リミッターがかかります。 最大レベルを先読みすることで、歪まないように最適化されたリミッターです。 レシオは∞:1となり、内部的なヘッドマージンが増加します。 

NOTE

サンプルレートが192 kHzのときは、リミッターは使用できません。 (→[サンプルレートを設定する](#))

EXH-6eを使用する

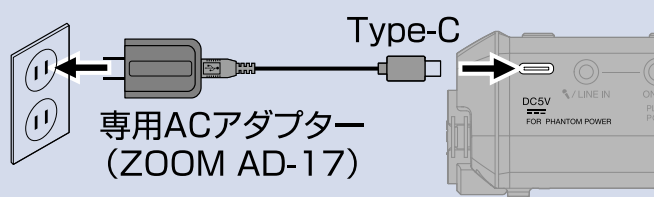


EXH-6eは2チャンネル分の外部入力をプラスするXLR/TRSコンボ・カプセルです。ダイナミックマイクやラインレベルの楽器、ミキサー、音楽プレイヤーなどの信号を入力できます。ファンタム電源の供給に対応しているため、コンデンサーマイクの使用も可能です。

また、プラグインパワーに対応したステレオミニ端子のMIC/LINE入力端子も搭載しています。

NOTE

- コンデンサーマイクなどのファンタム電源を必要とする機器を接続する場合は、外部電源を使用してください。



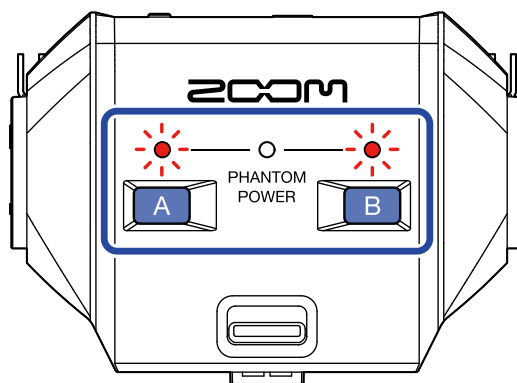
- MIC/LINE端子にプラグインパワー方式のマイクを接続するときは、プラグインパワーON/OFFスイッチをONにしてください。
- その他、EXH-6eの詳細についてはEXH-6eのマニュアルを参照してください。
EXH-6eのマニュアルはZOOMのWebサイト (zoomcorp.com/help/exh-6e) からダウンロードできます。

EXH-6eの入力を有効にする

EXH-6eのINPUT AまたはINPUT Bの入力を有効にします。

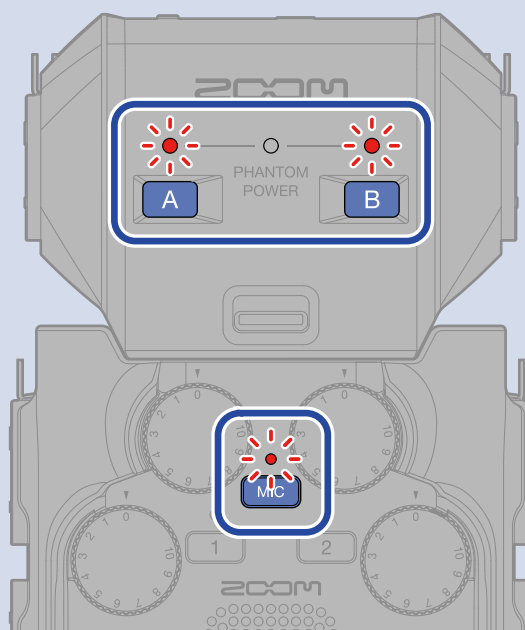
1. INPUT A、INPUT Bキーを押す

INPUT A、INPUT Bのステータスインジケーターが点灯し、その入力端子が有効になります。



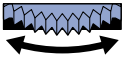
NOTE

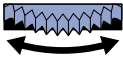
EXH-6eの入力音を録音するには、H6studio本体のマイクカプセルトラックを有効にする必要があります。H6studio本体のマイクカプセルトラックのインジケーターが点灯していることを確認してください。



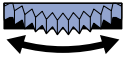
EXH-6eのステレオリンクを設定する

EXH-6eの入力をステレオリンクすることにより、入力信号をステレオ音声として扱うことができます。

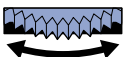
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で  「MIC」を選択して、（ENTERキー）を押す

MIC		1	2	3	4
□-カット A		EX			
□-カット B		OFF			
A&B リンク		ステレオ			
Advanced Li		OFF			
A&B ゲイン		OFF			

3. （セレクトダイヤル）で「A&B リンク」を選択して、（ENTERキー）を押す

MIC		
□-カット A		OFF
□-カット B		OFF
A&B リンク		ステレオ
Advanced Li		OFF
A&B ゲイン		OFF

4.  (セレクトダイヤル) で設定したい項目を選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
OFF	入力信号をモノラル音声として扱います。
ステレオ	EXH-6eの2つの入力信号をステレオ音声として扱います。 INPUT AがLチャンネル、INPUT BがRチャンネルとなります。
MS	EXH-6eの2つの入力信号をMS方式で収音したステレオ音声として扱います。 INPUT AをMid、INPUT BをSideとしてMS処理した音声を録音します。
MS Raw	EXH-6eの2つの入力信号をMS方式で収音したステレオ音声として扱います。 MS処理前のMidの音声、Sideの音声を、それぞれステレオファイルのLch、Rchに録音します。 録音後のポストプロダクションにてサイドレベルを変更する場合に便利な設定です。

HINT

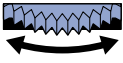
Mid、SideのバランスはMIC GAINノブで調節してください。

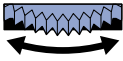
左側のMIC GAINノブでMid (INPUT A)、右側のMIC GAINノブでSide (INPUT B) を調節できます。

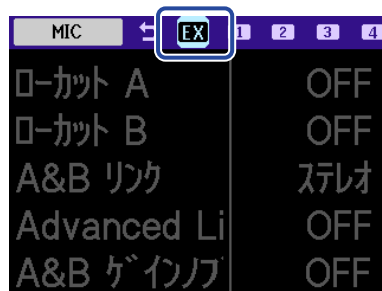
その際は、A & BゲインノブリンクをOFFにしてください。(→[EXH-6eのA&B ゲインノブリンクを設定する](#))

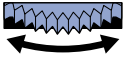
EXH-6eのノイズを軽減する（低域カット）

低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。

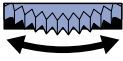
1. ホーム画面で、（セレクトダイヤル）で  「INPUT」を選択して、（ENTERキー）を押す
入力設定画面が表示されます。

2. （セレクトダイヤル）で  「MIC」を選択して、（ENTERキー）を押す



3. （セレクトダイヤル）で「ローカット A」または「ローカット B」を選択して、（ENTERキー）を押す



4. （セレクトダイヤル）でカットする周波数を選択して、（ENTERキー）を押す

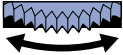


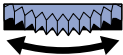
ローカットはOFF／80 Hz／160 Hz／240 Hzの内から選択して設定できます。

EXH-6eのAdvanced Limiterを設定する

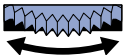
MICトラックに対してリミッターのON/OFFができます。

H6studioでは最大レベルを先読みすることで歪まないように最適化されたリミッターを設定できます。

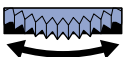
1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

2.  (セレクトダイヤル) で  「MIC」を選択して、 (ENTERキー) を押す

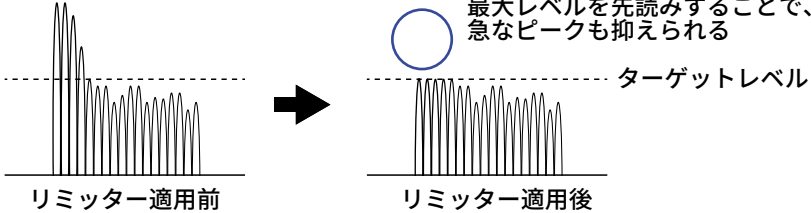
MIC		1	2	3	4
□-カット A		OFF			
□-カット B		OFF			
A&B リンク		ステレオ			
Advanced Li		OFF			
A&B ゲイン		OFF			

3.  (セレクトダイヤル) で「Advanced Limiter」を選択して、 (ENTERキー) を押す

MIC		
□-カット A		OFF
□-カット B		OFF
A&B リンク		ステレオ
Advanced Li		OFF
A&B ゲイン		OFF

4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
OFF	リミッターがかかりません。
ON	リミッターがかかります。 最大レベルを先読みすることで、歪まないように最適化されたリミッターです。 レシオは∞:1となり、内部的なヘッドマージンが増加します。 

NOTE

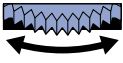
サンプルレートが192 kHzのときは、リミッターは使用できません。 (→[サンプルレートを設定する](#))

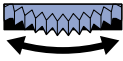
HINT

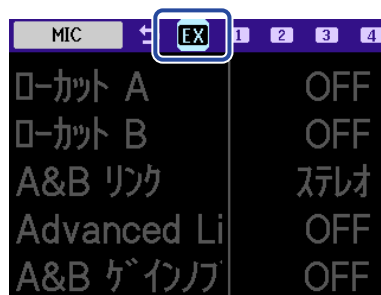
ステレオリンク設定がOFFの場合、Advanced Limiterの設定はINPUT AとINPUT Bで個別に設定できます。
(→[EXH-6eのステレオリンクを設定する](#))

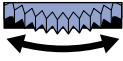
EXH-6eのA&B ゲインノブリンクを設定する

INPUT AとINPUT Bのゲインをリンクするかどうかを設定できます。

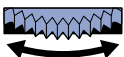
1. ホーム画面で、 (セレクトダイヤル) で  「INPUT」を選択して、 (ENTERキー) を押す
入力設定画面が表示されます。

2.  (セレクトダイヤル) で  「MIC」を選択して、 (ENTERキー) を押す



3.  (セレクトダイヤル) で「A&B ゲインノブリンク」を選択して、 (ENTERキー) を押す



4.  (セレクトダイヤル) で「ON」または「OFF」を選択して、 (ENTERキー) を押す



設定値	説明
OFF	INPUT AとINPUT Bのゲインをリンクしません。 左側のMIC GAINノブでINPUT Aのゲイン、右側のMIC GAINノブでINPUT Bのゲインを調節します。
ON	INPUT AとINPUT Bのゲインをリンクします。 左側のMIC GAINノブで設定したゲインがINPUT AとINPUT Bの両方に適用されます。

故障かな？と思う前に

H6studioの動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

録音／再生のトラブル

音が出ない、もしくは非常に小さい

- マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。
- ヘッドフォンの音量やライン出力レベルが下がっていないか確認してください。（→[入力音をモニターする](#)）
- MIC/LINE IN端子に接続したマイクがプラグインパワー対応マイクの場合は、プラグインパワーの供給が必要です。（→[MIC/LINE IN端子にラベリアマイクなどを接続する](#)）
- H6studioの入力の設定を確認してください。（→[録音するトラックを有効にする](#)、[マイクカプセルの入力をモノラルに変更する](#)、[ステレオリンクを設定する](#)）
- ファンタム電源の設定を確認してください。（→[ファンタム電源を設定する](#)）
- 入力音量の設定を確認してください。（→[入力ゲインと全体の音量を調整する](#)）
- 再生中のミキサーの設定を確認してください。（→[各トラックの音量バランスを調節する](#)）
- ヘッドフォンやライン出力のケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ヘッドフォンやケーブルを交換してください。
- 接続機器をINPUT 1/2/3/4やMIC/LINE IN端子に接続するケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ケーブルを交換してください。

モニター音が歪む

- （VOLUMEダイヤル）で出力音量を調節してください。
VOLUME
- 入力音量の設定を調節してください。（→[入力レベルを設定する（マイク/ライン）](#)）

「MIC INPUT OVERLOAD!」、「INPUT 1（2/3/4）OVERLOAD!」と表示される

- 入力される音声が大きすぎます。マイクと音源の距離を離してください。
- 風によって大きなノイズが入力されることがあります。屋外で録音する場合や話者の口に近付けて録音する場合などマイクに直接風が当たる場合は、ノイズを軽減する低域カット設定をおすすめします。（→[ノイズを軽減する（低域カット）](#)）

録音できない

- RECインジケーターが赤く点灯していることを確認してください。（→[録音する](#)）
- microSD カードに空き容量があることを確認してください。録音可能時間は、録音待機中の画面で確認できます。（→[ホーム画面](#)）
- カードスロットにmicroSD カードが正しくセットされていることを確認してください。（→[microSDカードをセットする](#)）
- 入力が「OFF」になっていないか確認してください。（→[録音するトラックを有効にする](#)）
- 入力音量の設定を確認してください。（→[入力ゲインと全体の音量を調整する](#)）

録音した音声途切れる

- 本体のカードテスト機能を使って、テストに合格したカードを使用してください。
- 動作確認済みmicroSDカードの使用をお勧めします。ZOOM のWebサイト(zoomcorp.com/help/h6studio)で確認してください。

録音したファイルが壊れている

- 録音中に電源遮断などの問題が発生した場合でも、一定時間ごとにファイルが自動保存されているため、microSDカードをH6studioに読み込ませ、該当ファイルを再生することにより、正常なファイルとして復帰させることができます。

日時情報がリセットされる

- 長期間ACアダプターや電池から電源が供給されない状態が続いて、日時保持用の電源を消費しきった場合、本体に記憶した情報がリセットされます。
電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、再度設定してください。（→[日時を設定する](#)）

操作ができない

- （電源／HOLDスイッチ）が「HOLD」側にスライドされていないことを確認してください。

その他のトラブル

USB端子をパソコンまたはスマートフォン／タブレットに接続しても認識されない

- データ転送に対応したUSBケーブルを使用してください。
- H6studioをパソコンまたはスマートフォン／タブレットに認識させるためには、H6studio側で動作モードを選択する必要があります。（→[オーディオインターフェースとして使用する](#)、[パソコンなどにファイルを転送する](#)）
- 使用しているパソコンまたはスマートフォン／タブレットとアプリケーションが32-bit float形式に対応していることを確認してください。
- パソコンの「サウンド」の設定でH6studioが選択できなくても、32-bit float形式に対応しているアプリケーションの「オーディオ」または「入出力」デバイスとしてH6studioを選択することで32-bit floatのオーディオインターフェースとして使用できます。
- Windowsで32-bit float形式を使用するには、ドライバが必要です。ドライバはZOOMのWEBサイト（zoomcorp.com/help/h6studio）からダウンロードできます。

電池の持続時間が短い

以下の設定を行うことで、電池持続時間を長くできる場合があります。

- 使用する電池の種類を適切に設定する。（→[電池の種類を選択する](#)）
- 使用しない入力をOFFにする。（→[録音するトラックを有効にする](#)）
- 一定時間操作をしないとディスプレイが暗くなるように設定する。（→[ディスプレイの省電力設定をする](#)）
- ディスプレイの明るさを暗くする。（→[ディスプレイの明るさを設定する](#)）
- 録音ファイルのサンプルレートを下げる。（→[サンプルレートを設定する](#)）
- ヘッドフォン端子、LINE OUT端子に接続されている不要なケーブルを外す。
- 一般的な特性として、消費電力が大きい設定の場合、ニッケル水素蓄電池（大容量を推奨）、リチウム乾電池の方がアルカリ電池よりも長時間使用できます。

アクセシビリティのアップデートを促される

- 最新のアクセシビリティインストール用ファイルを用いてアップデートを行ってください。（→[ガイド音をインストールする](#)）

H6studioメタデータ一覧

WAVファイルのBEXTチャンクに埋め込まれるメタデータ

タグ	説明	備考
zSPEED=	フレームレート	
zTAKE=	テイク番号	
zUBITS=	ユーザービット	
zSCENE=	シーン名	システム設定>日付/時刻
zTAPE=		
zCIRCLED=		
zTRKn=	トラック名	
zNOTE=		

WAVファイルのiXMLチャンクに埋め込まれるメタデータ

○ = YES × = NO

iXMLマスタートグ	iXMLサブタグ	記録	読み出し	備考
<PROJECT>		○	×	
<SCENE>		○	○	システム設定>日付/時刻
<TAKE>		○	×	
<TAPE>		○	×	
<CIRCLED>		○	×	
<WILD TRACK>		×	×	
<FALSE START>		×	×	
<NO GOOD>		×	×	
<FILE UID>		○	×	
<UBITS>		○	×	
<NOTE>		○	×	
<BEXT>		×	×	
<USER>		×	×	

iXMLマスタートグ	iXMLサブタグ	記録	読み出し	備考
<SPEED>				
<SPEED>	<NOTE>	○	×	
<SPEED>	<MASTER_SPEED>	○	×	
<SPEED>	<CURRENT_SPEED>	○	×	
<SPEED>	<TIMECODE_RATE>	○	×	
<SPEED>	<TIMECODE_FLAG>	○	×	
<SPEED>	<FILE_SAMPLE_RATE>	○	○	録音設定>サンプルレート
<SPEED>	<AUDIO_BIT_DEPTH>	○	×	
<SPEED>	<DIGITIZER_SAMPLE_RATE>	○	×	録音設定>サンプルレート
<SPEED>	<TIMESTAMP_SAMPLES_SINCE_MIDNIGHT_HI>	○	×	
<SPEED>	<TIMESTAMP_SAMPLES_SINCE_MIDNIGHT_LO>	○	×	
<SPEED>	<TIMESTAMP_SAMPLE_RATE>	○	×	録音設定>サンプルレート

iXMLマスタートグ	iXMLサブタグ	記録	読み出し	備考
<SYNC_POINT_LIST>				
<SYNC_POINT>	<SYNC_POINT_TYPE>	×	×	
<SYNC_POINT>	<SYNC_POINT_FUNCTION>	×	×	
<SYNC_POINT>	<SYNC_POINT_COMMENT>	×	×	
<SYNC_POINT>	<SYNC_POINT_LOW>	×	×	
<SYNC_POINT>	<SYNC_POINT_HIGH>	×	×	
<SYNC_POINT>	<SYNC_POINT_EVENT_DURATION>	×	×	

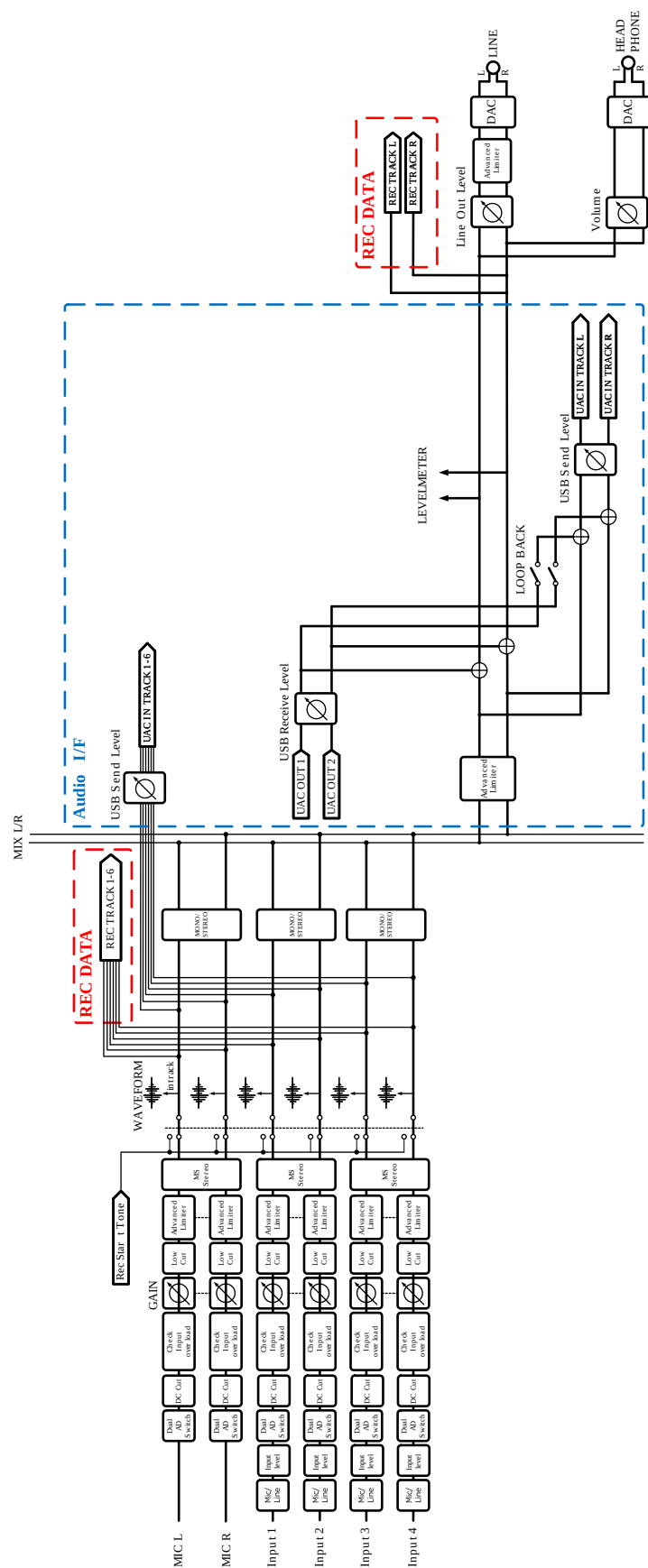
iXMLマスタートグ	iXMLサブタグ	記録	読み出し	備考
<HISTORY>				
<HISTORY>	<ORIGINAL_FILENAME>	○	×	
<HISTORY>	<PARENT_FILENAME>	×	×	
<HISTORY>	<PARENT_UID>	×	×	

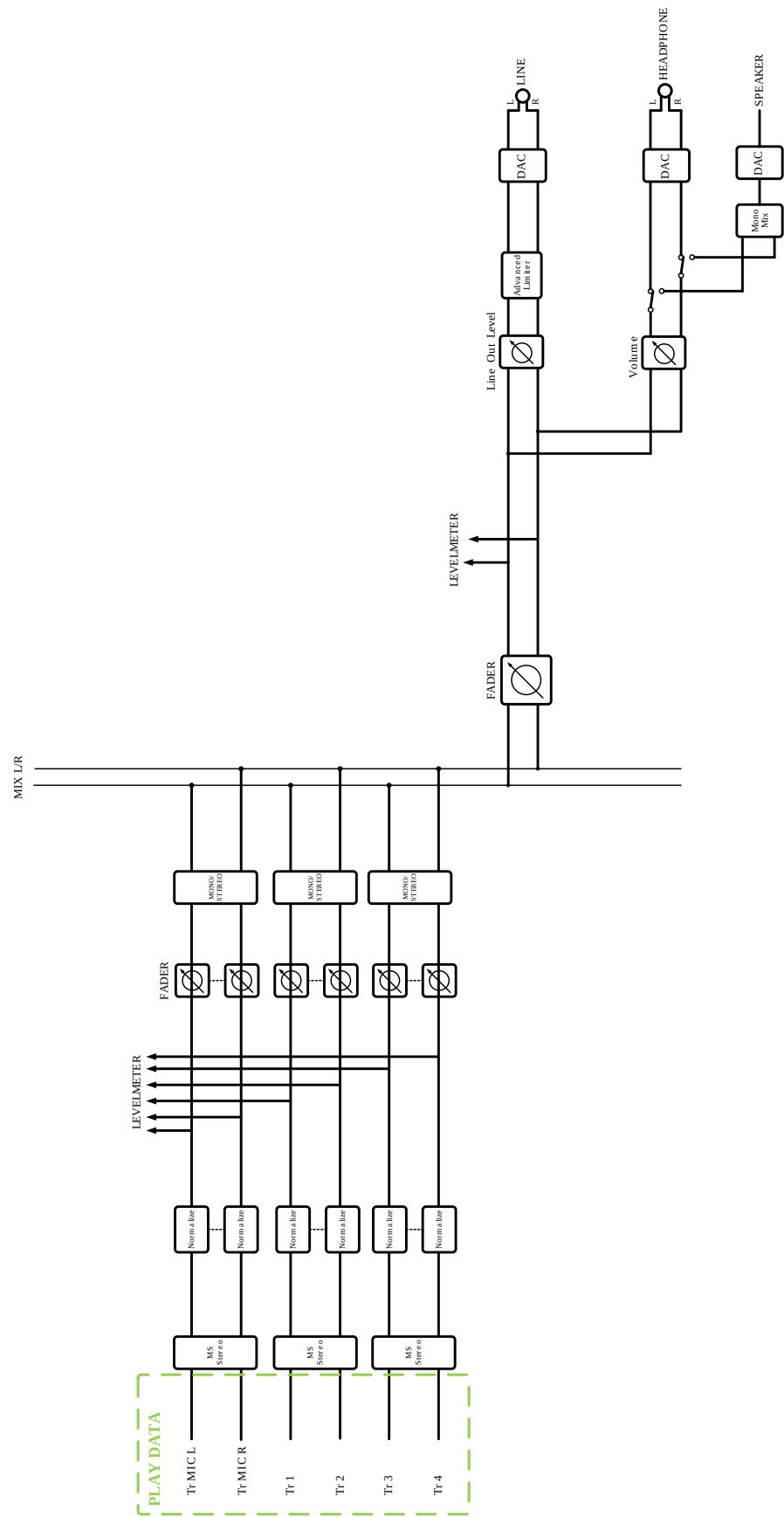
iXMLマスタートグ	iXMLサブタグ	記録	読み出し	備考
<FILE_SET>				
<FILE_SET>	<TOTAL_FILES>	○	×	
<FILE_SET>	<FAMILY_UID>	○	×	
<FILE_SET>	<FAMILY_NAME>	×	×	
<FILE_SET>	<FILE_SET_START_TIME_HI>	×	×	
<FILE_SET>	<FILE_SET_START_TIME_LO>	×	×	
<FILE_SET>	<FILE_SET_INDEX>	○	×	

iXMLマスタータグ		iXMLサブタグ	記録	読み出し	備考
<TRACK_LIST>					
<TRACK_LIST>	<TRACK_COUNT>		○	×	
<TRACK>	<CHANNEL_INDEX>		○	×	
<TRACK>	<INTERLEAVE_INDEX>		○	×	
<TRACK>	<NAME>		○	×	
<TRACK>	<FUNCTION>		×	×	

ミキサーブロックダイアグラム

録音／録音待機時





仕様

入出力チャンネル数	入力	マイクカプセル	1
		MIC/LINE（モノラル）	4
	出力	LINE OUT	1
		ヘッドフォン	1
		内蔵スピーカー（モノラル）	1
入力	XYマイク：XYH-5s	90°XYステレオ方式	
		指向性	単一指向性
		感度	-41 dB/1 Pa 1 kHz
		最大入力音圧	140 dB SPL
	🔌/LINE IN：XYH-5s	コネクタ	ステレオミニジャック×1
		入力ゲイン	-∞～+60 dB
		入力インピーダンス	2 kΩ以上
	MIC/LINE（モノラル）	コネクタ	XLR/TRS コンボジャック×4（XLR：2 番 HOT、TRS：TIP HOT）
		入力ゲイン	-∞～+60 dB
		入力インピーダンス	MIC：3 kΩ 以上 LINE：3 kΩ 以上
		最大入力レベル	MIC：+4 dBu LINE：+24 dBu
		ファンタム電源	+48 V
		入力換算雑音	-127 dBu以下（IHF-A）@ 150 Ω input
出力	LINE OUT	コネクタ	ステレオミニジャック×1
		最大出力レベル	+1 dBu
		出力インピーダンス	110 Ω以下
	ヘッドフォン	コネクタ	ステレオミニジャック×1
		最大出力レベル	20 mW + 20 mW（32 Ω負荷時）
		出力インピーダンス	10 Ω以下
	内蔵スピーカー	タイプ	20 mm × 30 mm 楕円型ダイナミックス ピーカー
		実用最大出力	250 mW
レコーダー		最大同時録音トラック数	8
		最大同時再生トラック数	6

		録音フォーマット	WAV 44.1/48/96/192 kHz 16-bit/24-bit/32-bit float mono/stereo BWFおよびiXMLフォーマット対応
		記録メディア	microSDHCメモリーカード microSDXCメモリーカード 動作確認済みmicroSDカードはZOOMのWebサイト(zoomcorp.com/help/h6studio)で確認してください。
表示			2.00インチ フルカラー LCD (320 x 240 ドット)
USB	コネクタ		USB Type-C ※データ転送に対応したUSB ケーブルを使用してください。USB バスパワー動作対応。
	オーディオインターフェース		USB2.0 High Speed
		入出力数	6in2out (Multi) 2in2out (Stereo)
		サンプリング周波数	44.1/48/96 kHz (AIF Only) 44.1/48 kHz (AIF + REC)
		ビット深度	24-bit /32-bit float
	ファイル転送		USB2.0 High Speed
REMOTE			専用無線アダプター (ZOOM BTA-1)
電源			単三電池4本動作 (アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池) AC アダプター (ZOOM AD-17) : DC 5 V/1 A ※USB バスパワー動作対応
連続使用時の電池持続時間の目安 ※値はあくまで目安です。 ※電池持続時間は当社試験法によるものです。 使用条件により大きく変わります。		2トラック (XYH-5s) 録音、48 kHz/32-bit float、ファンタム電源OFF、ヘッドフォンなし、LINE OUTなし、REMOTEなし、省電力設定ON、画面の明るさ (標準)	アルカリ乾電池：約15時間 ニッケル水素蓄電池 (1900 mAh) : 約12時間 リチウム乾電池：約26時間
		6トラック (XYH-5s、INPUT 1/2/3/4) 録音、48 kHz/32-bit float、ファンタム電源OFF、ヘッドフォンあり (33 Ω負荷)、LINE OUTなし、REMOTEなし、省電力設定ON、画面の明るさ (標準)	アルカリ乾電池：約4.5時間 ニッケル水素蓄電池 (1900 mAh) : 約5時間 リチウム乾電池：約11時間

	6トラック (XYH-5s、INPUT 1/2/3/4) 録音、192 kHz/32-bit float、ファントム電源ON (INPUT 1/2/3/4)、ヘッドフォンあり (33 Ω負荷)、LINE OUTあり (10 kΩ負荷)、REMOTEあり (BTA-1)、省電力設定ON、画面の明るさ (明るい)	アルカリ乾電池：約2時間 ニッケル水素蓄電池 (1900 mAh)：約3時間 リチウム乾電池：約6.5時間
消費電力		最大 5 W
外形寸法		83.0 mm (W) × 221.0 mm (D) × 54.5 mm (H)
質量 (電池含む)		477 g

※ 0 dBu = 0.775 Vrms



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3

zoomcorp.com